# 糸満市地域福祉にかかわる市民意識調査

# 調査結果報告書

令和５年３月

糸満市

# ＝＝＝　目　　次　＝＝＝


**Ⅰ　調査概要** ..... **1**

(1)アンケート調査実施の目的 ..... 1
(2)実施主体 ..... 1
(3)調査対象者と配布件数 ..... 1
(4)調査期間 ..... 1
(5)調査方法及び回収数 ..... 1

**Ⅱ　市民意識調査結果** ..... **3**

１．あなた自身のことについて ..... 3
(1)年齢 ..... 3
(2)性別 ..... 4
(3)居住地 ..... 4
(4)家族構成 ..... 5
(5)同居家族（複数回答） ..... 6
(6)住宅の形態 ..... 7
(7)課税世帯・非課税世帯 ..... 9
(8)居住年数 ..... 9
(9)出身地 ..... 10
(10)今後の居住意向 ..... 11
２．糸満市の住みやすさについて ..... 12
(1)地域環境の評価 ..... 12
３．日常生活における地域との関わりについて ..... 25
(1)隣近所の人とのつきあいの程度 ..... 25
(2)近所づきあいについての考え方（複数回答） ..... 29
(3)日常生活での孤独感 ..... 32
(4)自治会への加入状況 ..... 34
(4-1)自治会に加入していない理由（複数回答） ..... 37
(5)悩みや不安についての相談先（複数回答） ..... 39
(5-1)誰にも相談できない理由（複数回答） ..... 39
(6)生活や福祉に関する相談のための窓口 ..... 40
(6-1)オンラインで相談できる窓口の利用意向 ..... 40
(7)日常生活での不安（複数回答） ..... 41
(8)日常生活の中で手伝ってほしいと思っていること（複数回答） ..... 42
(9)日常生活の中で手伝ってもよいと思うもの（複数回答） ..... 44
４．地域活動やボランティア活動についての考え方 ..... 46
(1)地域活動やボランティア活動への参加状況 ..... 46
(1-1)地域活動やボランティア活動に参加していない理由（複数回答） ..... 48

(2)地域活動やボランティア活動への参加意向 ..... 49
(3)地域住民の支え合いの必要性 ..... 50
(3-1)地域住民の支え合いの必要はないと思う理由 ..... 51
(4)地域の支え合いに期待すること（複数回答） ..... 52
５．糸満市の福祉のあり方について ..... 54
(1)希望する福祉情報の入手方法（複数回答） ..... 54
(2)重点を置くべき地域福祉の施策（複数回答） ..... 56
６．自治連絡員、糸満市社会福祉協議会、民生委員・児童委員などについて ..... 58
(1)自治連絡員、糸満市社会福祉協議会、民生委員・児童委員などの周知度 ..... 58
(2)自治連絡員の把握状況 ..... 59
(3)民生委員・児童委員の把握状況 ..... 59
(4)社会福祉協議会へ期待すること（複数回答） ..... 60
７．その他 ..... 61
(1)成年後見制度の周知度 ..... 61
(2)将来の身の回りの管理への不安 ..... 62
(3)自身への成年後見制度の利用意向 ..... 62
(3-1)成年後見制度を利用したいと思わない理由（複数回答） ..... 63
(4)ヤングケアラーの周知度 ..... 63
(5)ヤングケアラーへの対応（複数回答） ..... 64
(6)保護司の周知度 ..... 64
(7)「誰一人取り残さない（ＳＤＧｓ）社会の実現が大切」という意見について ..... 65
(8)引きこもり、不登校の方の年齢 ..... 65
(9)引きこもっている、不登校の方の外出状況 ..... 66
(10)引きこもり、不登校の期間 ..... 66
**Ⅲ　資料編** ..... **67**
１．単純集計表 ..... 67
２．糸満市 地域福祉に関する市民意識調査　調査票 ..... 80

# Ⅰ　調査概要

## (1)アンケート調査実施の目的

地域福祉計画の策定にあたり、市民の福祉に関する意識や地域福祉への参加状況、地域福祉に期待することなどを把握する町民アンケート調査を実施しました。

## (2)実施主体

糸満市　福祉部　社会福祉課　福祉総務係

## (3)調査対象者と配布件数

市内にお住いの 20 歳以上の方 4,000 人

## (4)調査期間

令和４年 11 月 15 日から令和５年１月６日

## (5)調査方法及び回収数

調査方法：郵送による配布・回収とＷｅｂ調査

回 収 数：1,344 件（199 件）

回 収 率：33.6％（5.0％）

※（　）内はＷｅｂ回収

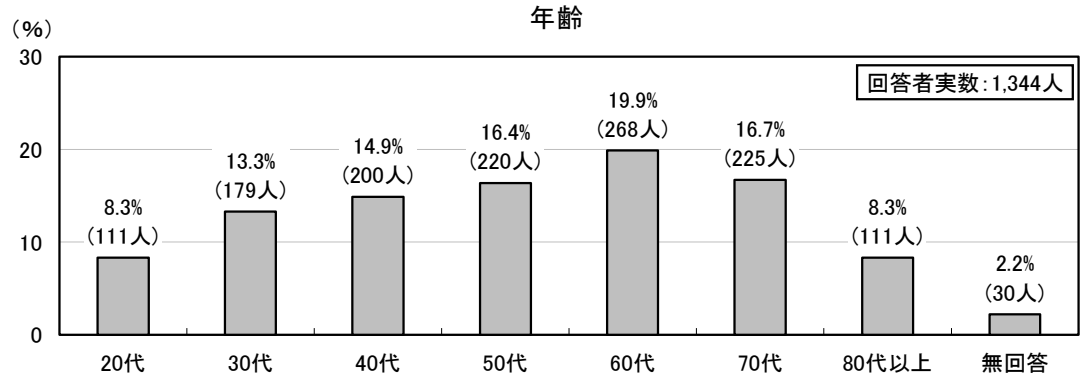
# Ⅱ　市民意識調査結果

## １．あなた自身のことについて

### (1) 年齢

問１：あなたの年齢(令和４年11月１日現在)についてお伺いします。(１つに○)

回答者の年齢は、「60 代」が 19.9%と最も高いほか、「70 代」が 16.7%であり、「80 代以上」も合わせると 60 代以上が 44.9%を占めています。これに「50 代」の 16.4%を加えると、50 代以上が 61.3%で６割を占めます。



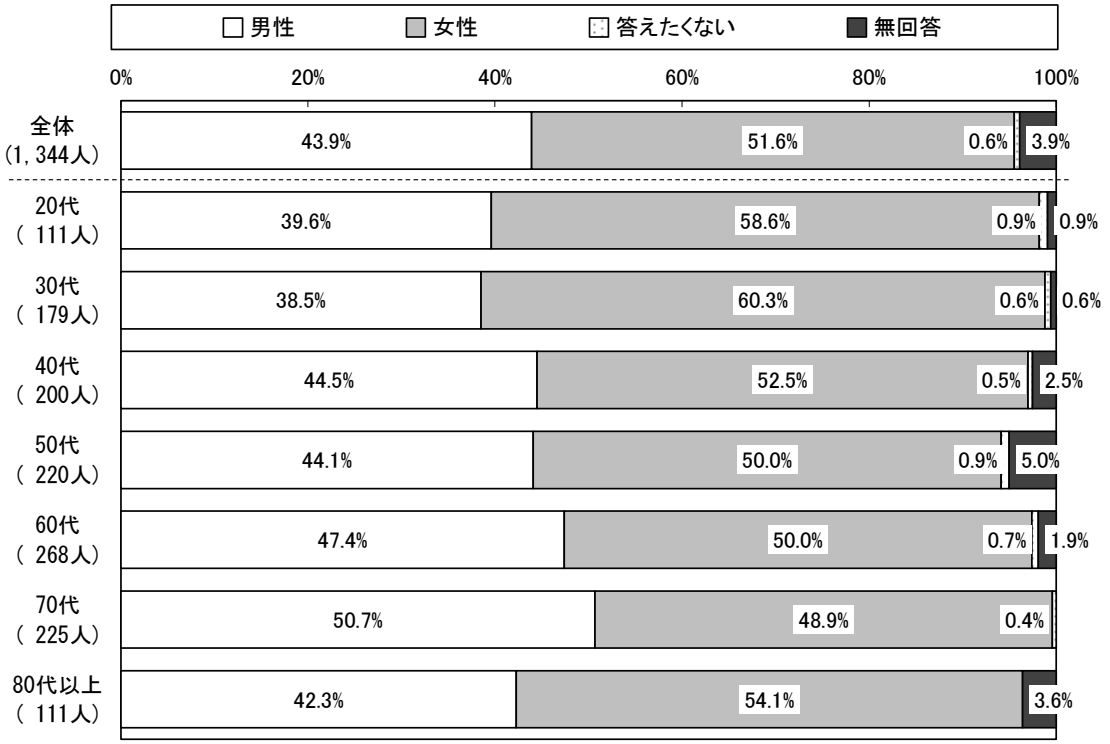
## (2)性別

問２：あなたの性別についてお伺いします。（１つに○）

回答者の性別は、「男性」が 43.9%、「女性」が 51.6%であり、女性の方がやや多くなっています。

年代別にみると、「70 代」では「男性」の割合が「女性」を上回りますが、そのほかの年代では「女性」の割合が高く、中でも「20 代」と「30 代」では「男性」が４割であるのに対し、「女性」は６割となっています。

性別（全体・年代別）

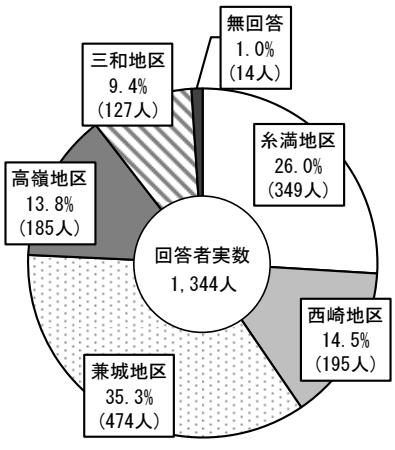



## (3)居住地

問３：あなたの、お住まいの地域は、どちらになりますか。（１つに○）

回答者の現在住んでいる地域(地区)は、「兼城地区」が 35.3%と高く、次いで「糸満地区」が 26.0%となっています。

居住地



## (4) 家族構成

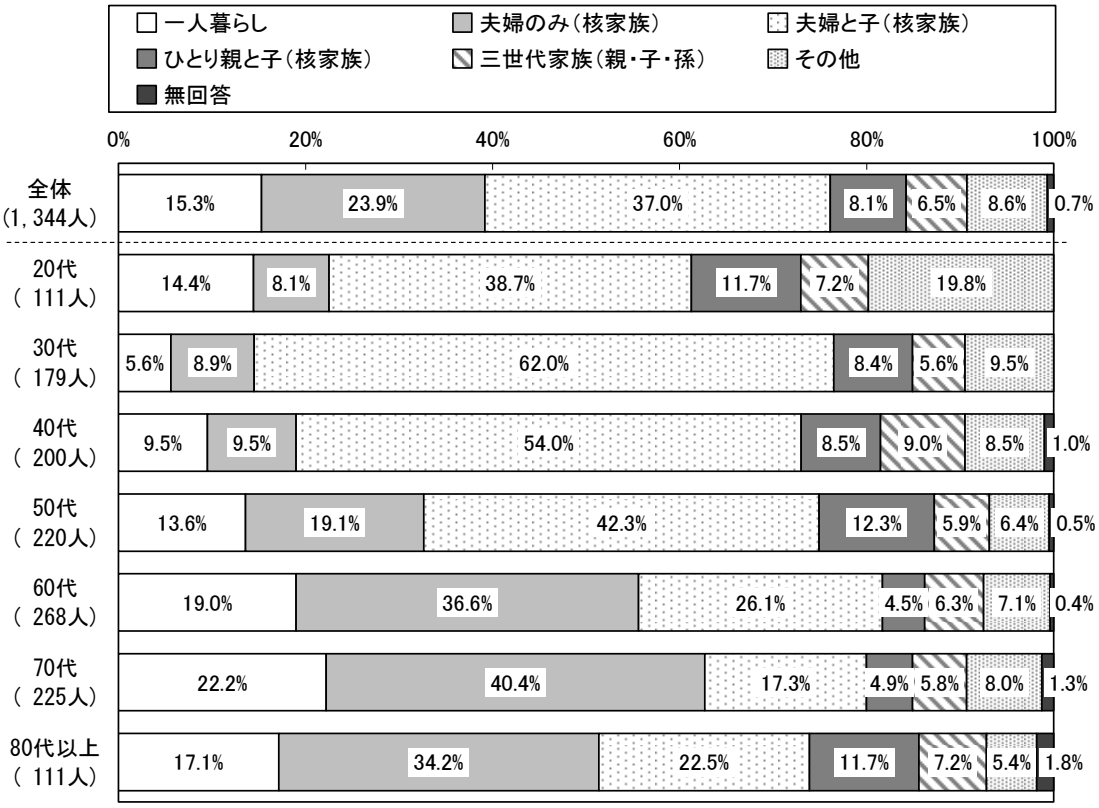
問４：あなたの、家族構成についてお伺いします。（１つに○）

家族構成は、「夫婦と子(核家族)」が 37.0%で最も高いです。次いで「夫婦のみ(核家族)」が 23.9%、「一人暮らし」が 15.3%となっています。

年代別にみると、「夫婦と子(核家族)」は 50 代までが高く、特に「30 代」は 62.0%あります。「一人暮らし」は、「30 代」は 5.6%ですが、年齢が高くなると割合も高くなる傾向にあり、「70 代」では 22.2%となっています。

「夫婦のみ(核家族)」は、50 代までは 20%未満ですが、「60 代」では 36.6%、「70 代」では 40.4%、「80 代以上」では 34.2%と高くなります。

家族構成（全体・年代別）



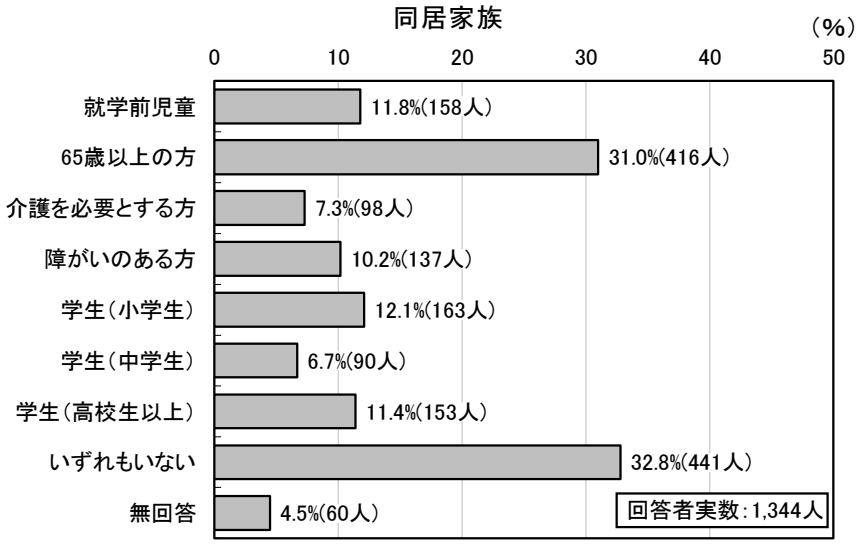
## (5)同居家族（複数回答）

問５：あなた自身、または同居している家族に、次のような方はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

同居している家族は、「いずれもいない」が 32.8%、「65 歳以上の方」が 31.0%と同程度で高いです。

また、「学生(小学生)」(12.1%)、「就学前児童」(11.8%)、「学生(高校生以上)」(11.4%)がそれぞれ 10%程度あります。

また、「障がいのある方」は 10.2%、「介護を必要とする方」は 7.3%となっています。




地区別にみると、「いずれもいない」の割合は「西崎地区」が最も高く 36.9%、次いで「兼城地区」が 34.8%となっています。

「65 歳以上の方」のいる世帯は「三和地区」が 40.9%、次に「糸満地区」が 32.4%となっています。

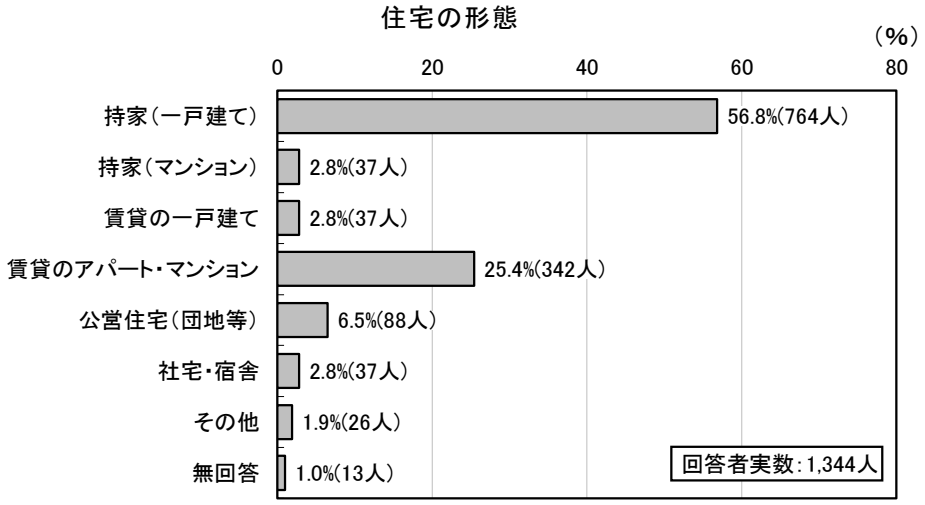
同居家族（地区別）

| | 回答者実数 | 就学前児童 | 65 歳以上の方 | 介護を必要とする方 | 障がいのある方 | 学生(小学生) | 学生(中学生) | 学生(高校生以上) | いずれもいない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 糸満地区 | 349 人 | 10.3%(36 人) | 32.4%(113 人) | 9.7%(34 人) | 12.3%(43 人) | 11.5%(40 人) | 5.2%(18 人) | 8.9%(31 人) | 33.5%(117 人) | 4.3%(15 人) |
| 西崎地区 | 195 人 | 11.8%(23 人) | 28.7%(56 人) | 6.2%(12 人) | 8.2%(16 人) | 9.7%(19 人) | 7.7%(15 人) | 12.3%(24 人) | 36.9%(72 人) | 4.1%( 8 人) |
| 兼城地区 | 474 人 | 13.3%(63 人) | 28.3%(134 人) | 4.9%(23 人) | 9.1%(43 人) | 13.1%(62 人) | 7.4%(35 人) | 12.9%(61 人) | 34.8%(165 人) | 3.4%(16 人) |
| 高嶺地区 | 185 人 | 17.3%(32 人) | 29.7%(55 人) | 7.0%(13 人) | 10.3%(19 人) | 15.1%(28 人) | 6.5%(12 人) | 10.3%(19 人) | 27.6%(51 人) | 3.8%( 7 人) |
| 三和地区 | 127 人 | 2.4%( 3 人) | 40.9%(52 人) | 9.4%(12 人) | 11.0%(14 人) | 10.2%(13 人) | 7.1%( 9 人) | 11.0%(14 人) | 26.8%(34 人) | 8.7%(11 人) |

## (6)住宅の形態

問６：あなたが、現在お住まいの住宅の形態はどれに該当しますか。（１つに○）

住宅の形態は、「持家(一戸建て)」が 56.8%で最も高く、次いで「賃貸のアパート・マンション」が 25.4%で高いです。




年代別でみると、「持家(一戸建て)」は年代が上がると割合も上昇しており、「40 代」で半数、「60 代」で 60%を超え、「80 代以上」では 82.0%となっています。

「賃貸のアパート・マンション」は 40 代までの年代で３～４割と高く、「30 代」は 43.6%を占めています。

住宅の形態（年代別）

| | 回答者実数 | 持家(一戸建て) | 持家(マンション) | 賃貸の一戸建て | 賃貸のアパート・マンション | 公営住宅(団地等) | 社宅・宿舎 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 代 | 111 人 | 35.1%<br>(39 人) | 3.6%<br>( 4 人) | 0.9%<br>( 1 人) | 42.3%<br>(47 人) | 8.1%<br>( 9 人) | 6.3%<br>( 7 人) | 1.8%<br>( 2 人) | 1.8%<br>( 2 人) |
| 30 代 | 179 人 | 34.1%<br>(61 人) | 3.9%<br>( 7 人) | 3.4%<br>( 6 人) | 43.6%<br>(78 人) | 5.0%<br>( 9 人) | 7.3%<br>(13 人) | 1.7%<br>( 3 人) | 1.1%<br>( 2 人) |
| 40 代 | 200 人 | 49.5%<br>(99 人) | 3.0%<br>( 6 人) | 3.5%<br>( 7 人) | 33.5%<br>(67 人) | 4.5%<br>( 9 人) | 3.5%<br>( 7 人) | 2.0%<br>( 4 人) | 0.5%<br>( 1 人) |
| 50 代 | 220 人 | 52.3%<br>(115 人) | 3.6%<br>( 8 人) | 2.3%<br>( 5 人) | 28.2%<br>(62 人) | 8.6%<br>(19 人) | 3.2%<br>( 7 人) | 1.4%<br>( 3 人) | 0.5%<br>( 1 人) |
| 60 代 | 268 人 | 65.7%<br>(176 人) | 3.0%<br>( 8 人) | 3.4%<br>( 9 人) | 17.9%<br>(48 人) | 5.6%<br>(15 人) | 0.7%<br>( 2 人) | 2.6%<br>( 7 人) | 1.1%<br>( 3 人) |
| 70 代 | 225 人 | 71.6%<br>(161 人) | 1.8%<br>( 4 人) | 3.1%<br>( 7 人) | 11.1%<br>(25 人) | 8.9%<br>(20 人) | 0.4%<br>( 1 人) | 2.2%<br>( 5 人) | 0.9%<br>( 2 人) |
| 80 代以上 | 111 人 | 82.0%<br>(91 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 9.0%<br>(10 人) | 5.4%<br>( 6 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 1.8%<br>( 2 人) | 1.8%<br>( 2 人) |

地区別では、「持家(一戸建て)」は「三和地区」が 87.4%で最も高く、次いで「高嶺地区」が 61.6%となっています。

「賃貸のアパート・マンション」は「西崎地区」が 35.9%で最も高いほか、「糸満地区」、「兼城地区」も 30%前後で高いです。「三和地区」は 1.6%で低くなっています。

住宅の形態（地区別）

| | 回答者実数 | 持家(一戸建て) | 持家(マンション) | 賃貸の一戸建て | 賃貸のアパート・マンション | 公営住宅(団地等) | 社宅・宿舎 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 糸満地区 | 349 人 | 53.3%(186 人) | 1.7%( 6 人) | 4.3%(15 人) | 30.1%(105 人) | 3.4%(12 人) | 2.0%( 7 人) | 4.0%(14 人) | 1.1%( 4 人) |
| 西崎地区 | 195 人 | 41.5%(81 人) | 5.1%(10 人) | 1.5%( 3 人) | 35.9%(70 人) | 10.8%(21 人) | 4.1%( 8 人) | 0.0%( 0 人) | 1.0%( 2 人) |
| 兼城地区 | 474 人 | 55.3%(262 人) | 3.2%(15 人) | 2.1%(10 人) | 28.9%(137 人) | 4.9%(23 人) | 3.8%(18 人) | 1.3%( 6 人) | 0.6%( 3 人) |
| 高嶺地区 | 185 人 | 61.6%(114 人) | 3.2%( 6 人) | 2.7%( 5 人) | 15.1%(28 人) | 14.1%(26 人) | 0.5%( 1 人) | 1.6%( 3 人) | 1.1%( 2 人) |
| 三和地区 | 127 人 | 87.4%(111 人) | 0.0%( 0 人) | 3.1%( 4 人) | 1.6%( 2 人) | 4.7%( 6 人) | 1.6%( 2 人) | 1.6%( 2 人) | 0.0%( 0 人) |

家族構成別でみると、「持家(一戸建て)」は「三世代世帯(親・子・孫)」のが 87.4%と最も高く、続いて「夫婦のみ(核家族)」の世帯が 62.9%、「夫婦と子(核家族)」の世帯が 56.9%となっています。また、「一人暮らし」が 33.7%と最も低いです。

一方、「賃貸のアパート・マンション」は「一人暮らし」が 42.4%と最も高く、次に「ひとり親と子(核家族)」のいる世帯が 28.4%となっています。また、「三世代世帯(親・子・孫)」は、4.6%と最も低くなっています。

住宅の形態（家族構成別）

| | 回答者実数 | 持家(一戸建て) | 持家(マンション) | 賃貸の一戸建て | 賃貸のアパート・マンション | 公営住宅(団地等) | 社宅・宿舎 | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一人暮らし | 205 人 | 33.7%(69 人) | 1.0%( 2 人) | 2.4%( 5 人) | 42.4%(87 人) | 11.2%(23 人) | 5.4%(11 人) | 2.4%( 5 人) | 1.5%( 3 人) |
| 夫婦のみ(核家族) | 321 人 | 62.9%(202 人) | 3.4%(11 人) | 2.5%( 8 人) | 24.3%(78 人) | 5.3%(17 人) | 0.6%( 2 人) | 0.3%( 1 人) | 0.6%( 2 人) |
| 夫婦と子(核家族) | 497 人 | 56.9%(283 人) | 4.0%(20 人) | 3.6%(18 人) | 25.6%(127 人) | 4.2%(21 人) | 4.2%(21 人) | 0.2%( 1 人) | 1.2%( 6 人) |
| ひとり親と子(核家族) | 109 人 | 49.5%(54 人) | 0.9%( 1 人) | 1.8%( 2 人) | 28.4%(31 人) | 18.3%(20 人) | 0.0%( 0 人) | 0.0%( 0 人) | 0.9%( 1 人) |
| 三世代家族(親･子･孫) | 87 人 | 87.4%(76 人) | 0.0%( 0 人) | 1.1%( 1 人) | 4.6%( 4 人) | 4.6%( 4 人) | 0.0%( 0 人) | 2.3%( 2 人) | 0.0%( 0 人) |
| その他 | 115 人 | 65.2%(75 人) | 2.6%( 3 人) | 1.7%( 2 人) | 10.4%(12 人) | 2.6%( 3 人) | 2.6%( 3 人) | 14.8%(17 人) | 0.0%( 0 人) |

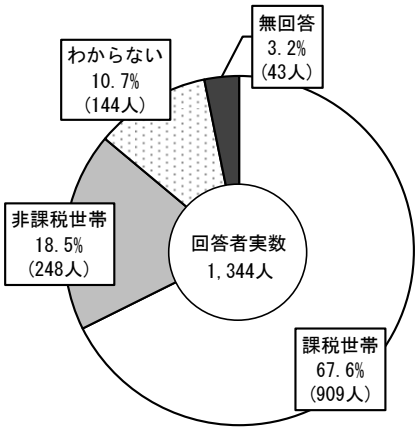
## (7)課税世帯・非課税世帯

問７：あなたの世帯は、課税世帯ですか。非課税世帯ですか。（１つに○）

課税世帯か非課税世帯かを聞いたところ、「課税世帯」は 67.6%、「非課税世帯」は 18.5%となっています。

また、「わからない」と答えた方も 10.7%います。

課税世帯・非課税世帯




## (8)居住年数

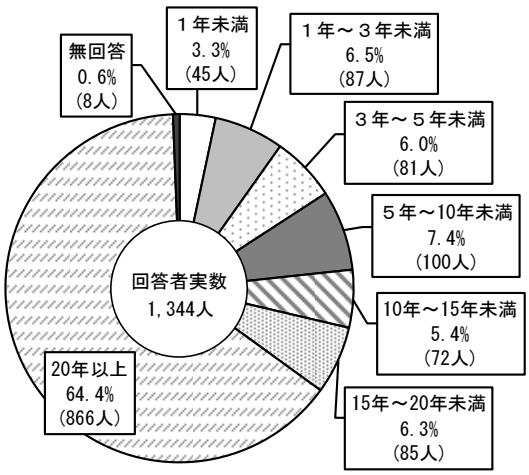
問８：あなたは、糸満市に住んで何年になりますか。（１つに○）

市内への居住年数は、「20 年以上」が 64.4%で、回答者の大半を占めています。さらに、「10 年～15 年未満」と「15 年～20 年未満」を合わせた 10 年以上住んでいる方は 76.1%となっています。

年代別にみると、「20 年以上」は年代が上がるとともに高くなる傾向にあり、40 代までは 50%以下ですが、「50 代」は 64.5%、60 代以上は 70%を超えています。

一方、「１年未満」、「１～３年未満」は年代が高いほど割合は低くなっています。

居住年数




居住年数（年代別）

| | 回答者実数 | １年未満 | １年～３年未満 | ３年～５年未満 | ５年～10年未満 | 10年～15年未満 | 15年～20年未満 | 20年以上 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20代 | 111人 | 12.6%<br>(14人) | 22.5%<br>(25人) | 9.0%<br>(10人) | 4.5%<br>(5人) | 7.2%<br>(8人) | 11.7%<br>(13人) | 31.5%<br>(35人) | 0.9%<br>(1人) |
| 30代 | 179人 | 7.8%<br>(14人) | 11.2%<br>(20人) | 15.6%<br>(28人) | 17.3%<br>(31人) | 5.0%<br>(9人) | 2.8%<br>(5人) | 39.7%<br>(71人) | 0.6%<br>(1人) |
| 40代 | 200人 | 3.0%<br>(6人) | 7.5%<br>(15人) | 6.5%<br>(13人) | 11.0%<br>(22人) | 8.0%<br>(16人) | 10.0%<br>(20人) | 53.5%<br>(107人) | 0.5%<br>(1人) |
| 50代 | 220人 | 1.4%<br>(3人) | 4.5%<br>(10人) | 5.0%<br>(11人) | 6.4%<br>(14人) | 7.7%<br>(17人) | 10.5%<br>(23人) | 64.5%<br>(142人) | 0.0%<br>(0人) |
| 60代 | 268人 | 2.2%<br>(6人) | 4.1%<br>(11人) | 3.4%<br>(9人) | 6.0%<br>(16人) | 4.5%<br>(12人) | 4.9%<br>(13人) | 74.6%<br>(200人) | 0.4%<br>(1人) |
| 70代 | 225人 | 0.9%<br>(2人) | 2.2%<br>(5人) | 3.1%<br>(7人) | 4.0%<br>(9人) | 3.6%<br>(8人) | 3.6%<br>(8人) | 81.8%<br>(184人) | 0.9%<br>(2人) |
| 80代以上 | 111人 | 0.0%<br>(0人) | 0.0%<br>(0人) | 1.8%<br>(2人) | 1.8%<br>(2人) | 1.8%<br>(2人) | 1.8%<br>(2人) | 91.0%<br>(101人) | 1.8%<br>(2人) |

地区別にみると、「20 年以上」は、「三和地区」が 80.3%で最も高いほか、「西崎地区」、「糸満地区」でも 60%台で高くなっています。

居住年数（地区別）

| | 回答者実数 | １年未満 | １年～３年未満 | ３年～５年未満 | ５年～10 年未満 | 10 年～15 年未満 | 15 年～20 年未満 | 20 年以上 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 糸満地区 | 349 人 | 2.9%（10 人） | 6.3%（22 人） | 5.4%（19 人） | 9.2%（32 人） | 4.0%（14 人） | 5.7%（20 人） | 65.6%（229 人） | 0.9%（ 3 人） |
| 西崎地区 | 195 人 | 5.1%（10 人） | 6.7%（13 人） | 4.1%（ 8 人） | 6.7%（13 人） | 2.6%（ 5 人） | 6.2%（12 人） | 68.7%（134 人） | 0.0%（ 0 人） |
| 兼城地区 | 474 人 | 4.6%（22 人） | 7.0%（33 人） | 6.5%（31 人） | 7.6%（36 人） | 6.5%（31 人） | 7.6%（36 人） | 59.5%（282 人） | 0.6%（ 3 人） |
| 高嶺地区 | 185 人 | 1.1%（ 2 人） | 8.6%（16 人） | 9.7%（18 人） | 7.0%（13 人） | 8.1%（15 人） | 5.9%（11 人） | 58.4%（108 人） | 1.1%（ 2 人） |
| 三和地区 | 127 人 | 0.0%（ 0 人） | 2.4%（ 3 人） | 3.1%（ 4 人） | 4.7%（ 6 人） | 4.7%（ 6 人） | 4.7%（ 6 人） | 80.3%（102 人） | 0.0%（ 0 人） |

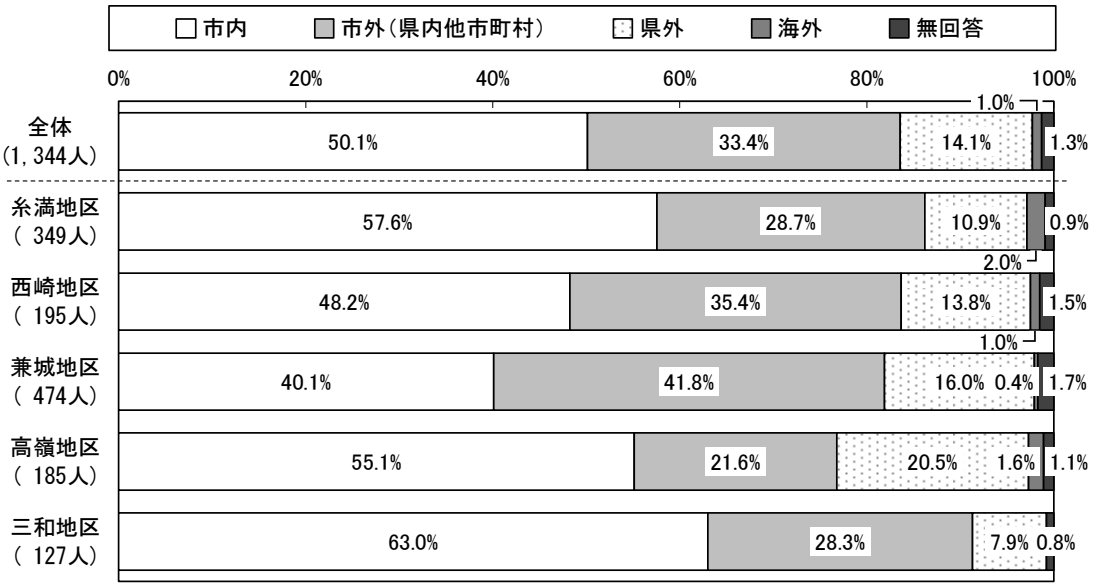
## (9)出身地

問８-1：≪問８に関連して伺います。≫あなたの出身地を教えてください。（１つに○）

出身地を聞いたところ、「市内」と答えた方が最も高く 50.1%となっています。次いで、「市外(県内他市町村)」が 33.4%で、「県外」の 14.1%、「海外」の 1.0%を合わせると市外出身者が 48.5%を占めます。

地区別にみると、市内出身者は「三和地区」が 63.0%で最も高く、市外出身者は「兼城地区」が最も高く 58.2%となっています。

出身地（全体・地区別）



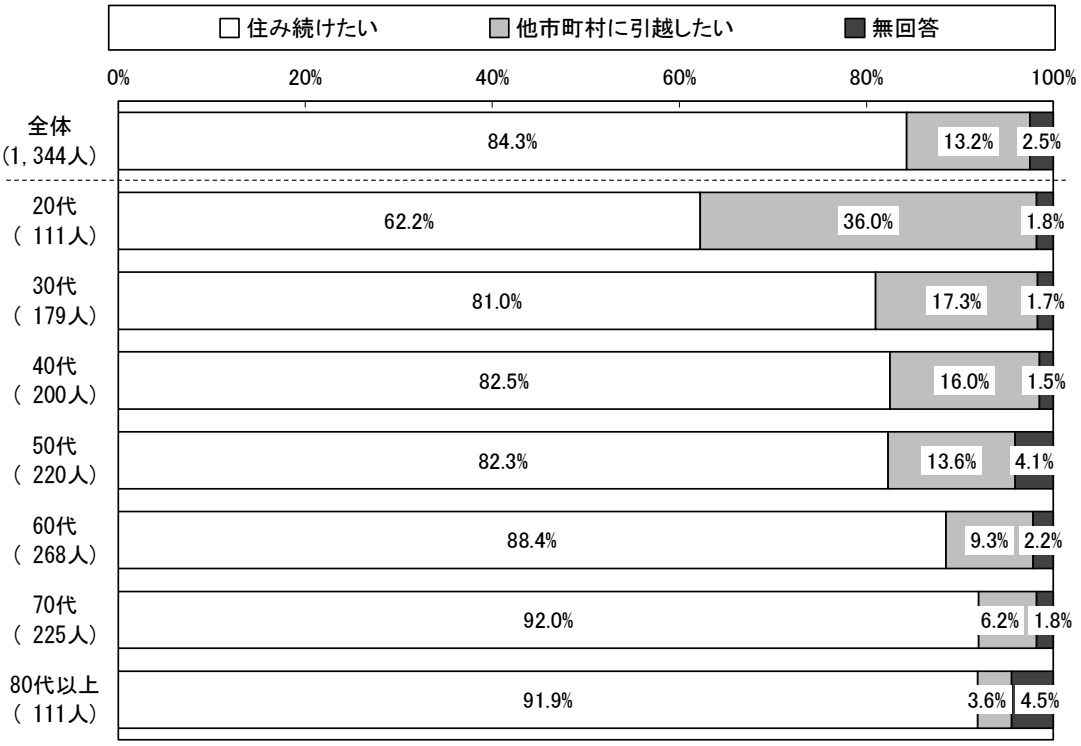
## (10) 今後の居住意向

問８-2：≪問８に関連して伺います。≫糸満市に今後も住み続けたいですか。（１つに○）

市内での今後の居住意向を尋ねると、「住み続けたい」が 84.3%で最も高く、「他市町村に引っ越したい」は 13.2%でした。

年代別にみると、「住み続けたい」は年代が上がると上昇し、「20 代」では 62.2%、「30 代」から「60 代」では 80%台、「70 代」と「80 代以上」では 90%を超えています。

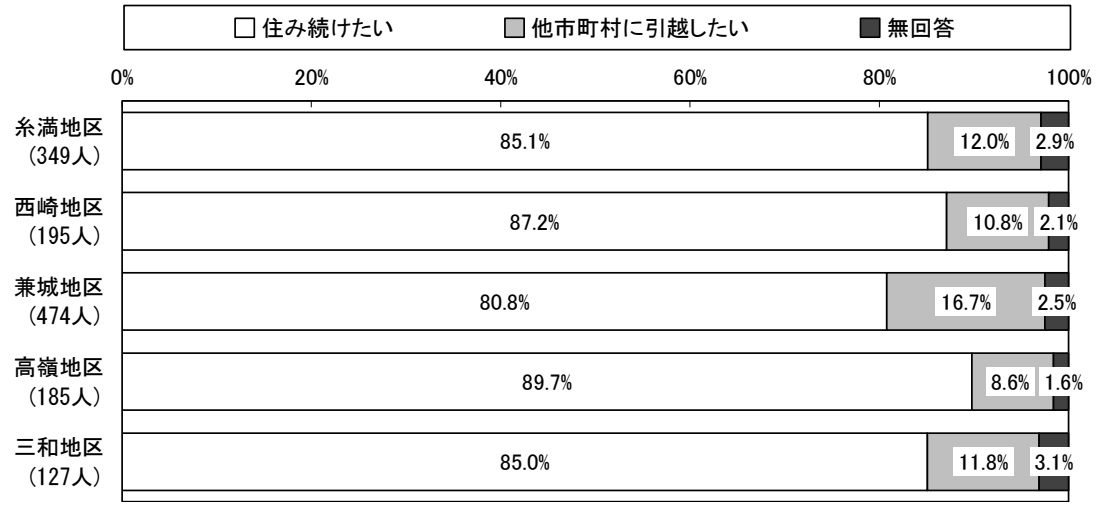
今後の居住意向（全体・年代別）




地区別でみると、「住み続けたい」は、各地区とも 80%台となっていますが、中でも「高嶺地区」が 89.7%と約９割で最も高く、「兼城地区」の 80.8%が最も低いです。

一方、「他市町村に引っ越したい」は「高嶺地区」が 8.6%と最も低く、そのほかの地区は 10%台となっています。

今後の居住意向（地区別）



## ２．糸満市の住みやすさについて

### (1) 地域環境の評価

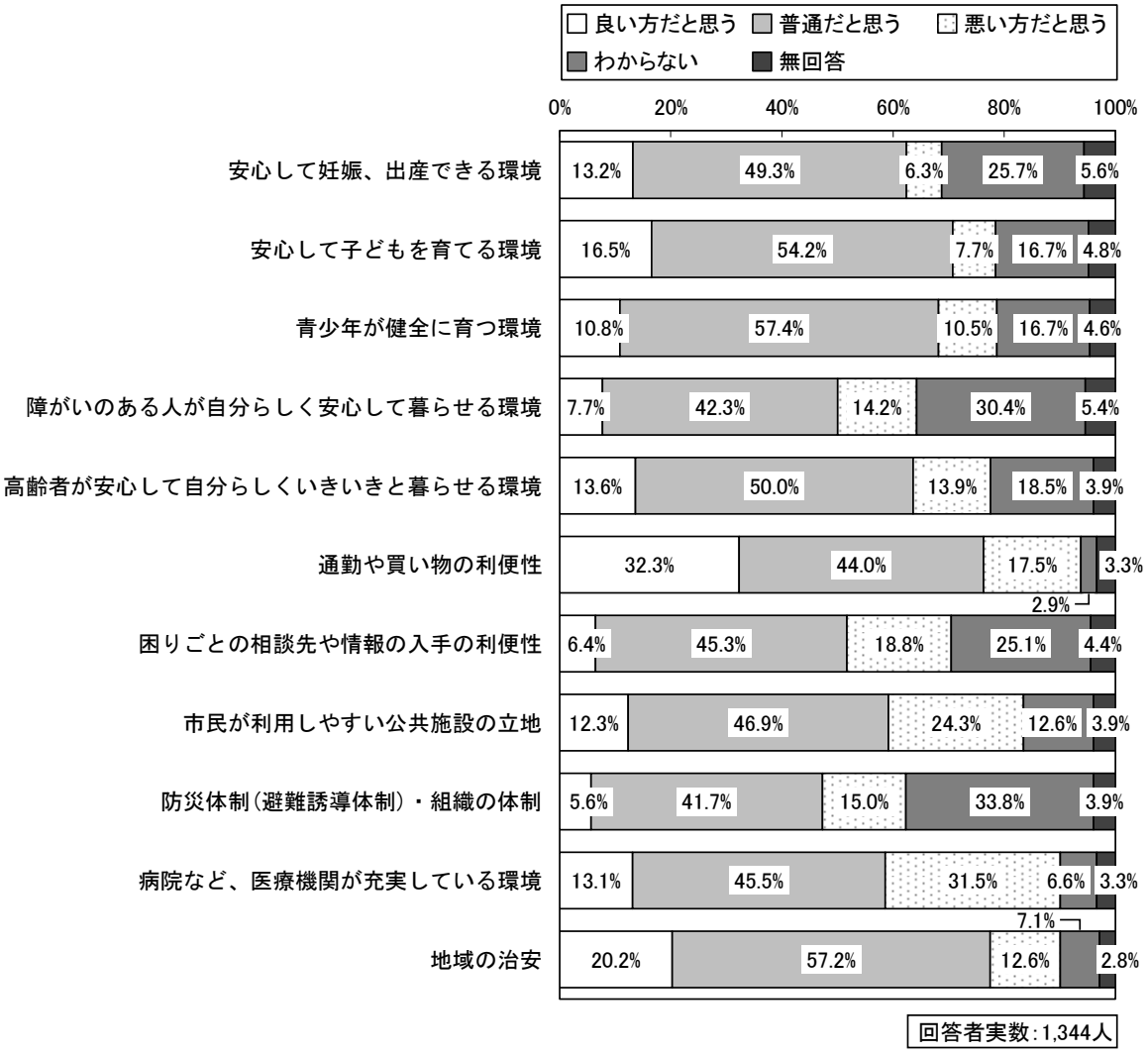
問９：あなたは、糸満市の地域環境について、どのように感じていますか。（各項目あてはまる番号１つに○）

**◆まとめ**

市の地域環境について聞いたところ、「良い方だと思う」が最も高いのは、「通勤や買い物の利便性」の 32.3%であり、次いで「地域の治安」の 20.2%となっています。また「良い方だと思う」が低いのは「防災体制（避難誘導体制）・組織の体制」の 5.6%、「困りごとの相談先や情報の入手の利便性」の 6.4%、「障がいのある人が自分らしく安心して暮らせる環境」の 7.7%です。

「悪い方だと思う」が多いのは、「病院など、医療機関が充実している環境」の 31.5%、「市民が利用しやすい公共施設の立地」の 24.3%、「困りごとの相談先や情報の入手の利便性」の 18.8%の順となっています。

地域環境の評価（まとめ）



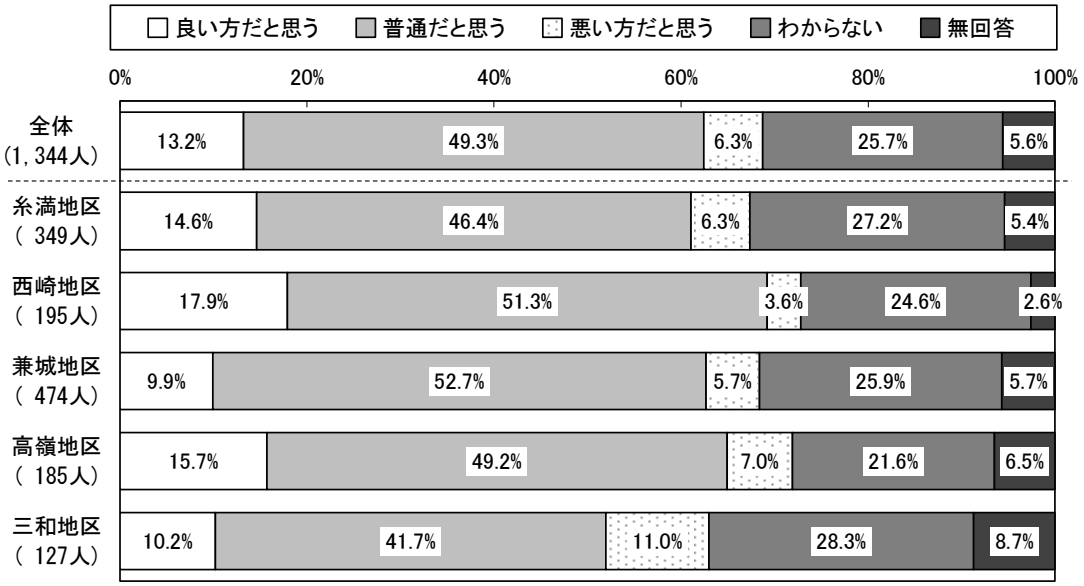
### ①安心して妊娠、出産できる環境

安心して妊娠・出産できる環境への評価は、「普通だと思う」が 49.3%と最も高く、次に「わからない」が 25.7%、「良い方だと思う」が 13.2%です。

地区別にみると、「良い方だと思う」は「西崎地区」が 17.9%と最も高く、次に「高嶺地区」が 15.7%となっています。

一方、「悪い方だと思う」は「三和地区」が 11.0%と最も高く、「西崎地区」は 3.6%と低くなっています。

安心して妊娠、出産できる環境（全体・地区別）




同居家族別にみると、「普通だと思う」は「学生(中学生)」、「学生(高校生以上)」のいる世帯が 60%を超え高くなっています。

「良い方だと思う」は「就学前児童」と「学生(小学生)」のいる世帯が 20%台で高くなっていますが、「悪い方だと思う」も「学生(小学生)」のいる世帯が 12.3%と他の世帯より高い割合です。

安心して妊娠、出産できる環境（同居家族別）

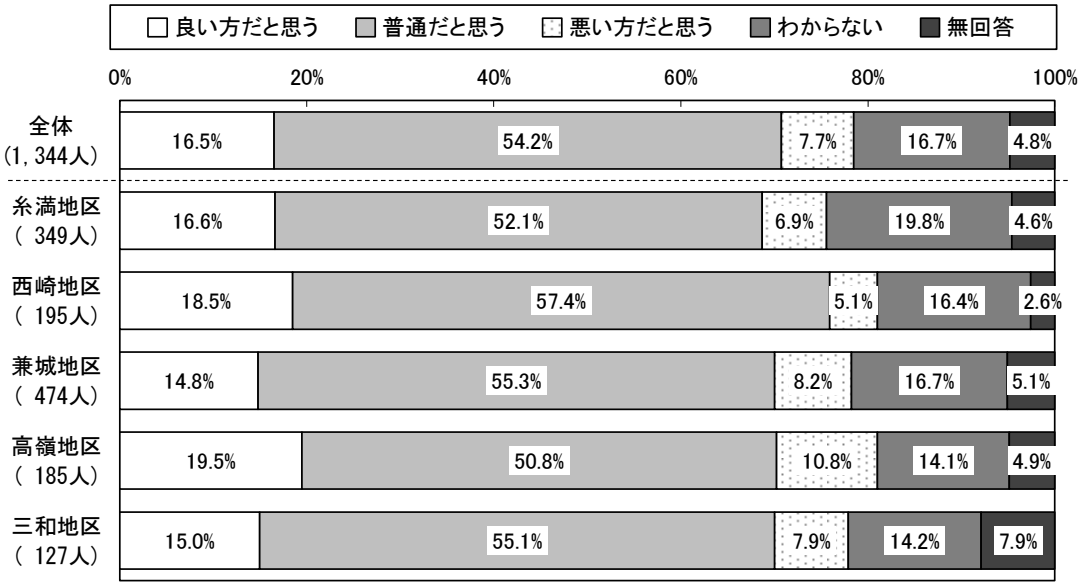
| | 回答者実数 | 良い方だと思う | 普通だと思う | 悪い方だと思う | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 25.9% (41 人) | 58.9% (93 人) | 8.2% (13 人) | 6.3% (10 人) | 0.6% ( 1 人) |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 11.1% (46 人) | 51.2% (213 人) | 3.8% (16 人) | 27.9% (116 人) | 6.0% (25 人) |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 8.2% ( 8 人) | 45.9% (45 人) | 6.1% ( 6 人) | 30.6% (30 人) | 9.2% ( 9 人) |
| 障がいのある方 | 137 人 | 11.7% (16 人) | 42.3% (58 人) | 7.3% (10 人) | 35.0% (48 人) | 3.6% ( 5 人) |
| 学生(小学生) | 163 人 | 22.7% (37 人) | 54.6% (89 人) | 12.3% (20 人) | 9.2% (15 人) | 1.2% ( 2 人) |
| 学生(中学生) | 90 人 | 17.8% (16 人) | 60.0% (54 人) | 4.4% ( 4 人) | 16.7% (15 人) | 1.1% ( 1 人) |
| 学生(高校生以上) | 153 人 | 12.4% (19 人) | 60.8% (93 人) | 9.2% (14 人) | 15.7% (24 人) | 2.0% ( 3 人) |
| いずれもいない | 441 人 | 10.4% (46 人) | 44.0% (194 人) | 6.1% (27 人) | 34.5% (152 人) | 5.0% (22 人) |

### ②安心して子どもを育てる環境

安心して子どもを育てる環境への評価は、「普通だと思う」が 54.2%と最も高く、「わからない」が 16.7%、「良い方だと思う」が 16.5%となります。

地区別にみると、「良い方だと思う」は「高嶺地区」が 19.5%と最も高く、「兼城地区」が 14.8%と最も低くなります。一方、「悪い方だと思う」も「高嶺地区」が 10.8%と比較的高いです。

安心して子どもを育てる環境（全体・地区別）




同居家族別にみると、「普通だと思う」は「学生(中学生)」、「学生(高校生以上)」のいる世帯が 60%台と高くなっています。

「良い方だと思う」は「就学前児童」と「学生(小学生)」のいる世帯が 25%程度で高くなっていますが、「悪い方だと思う」も「就学前児童」と「学生(小学生)」のいる世帯が比較的高い割合となっています。

安心して子どもを育てる環境（同居家族別）

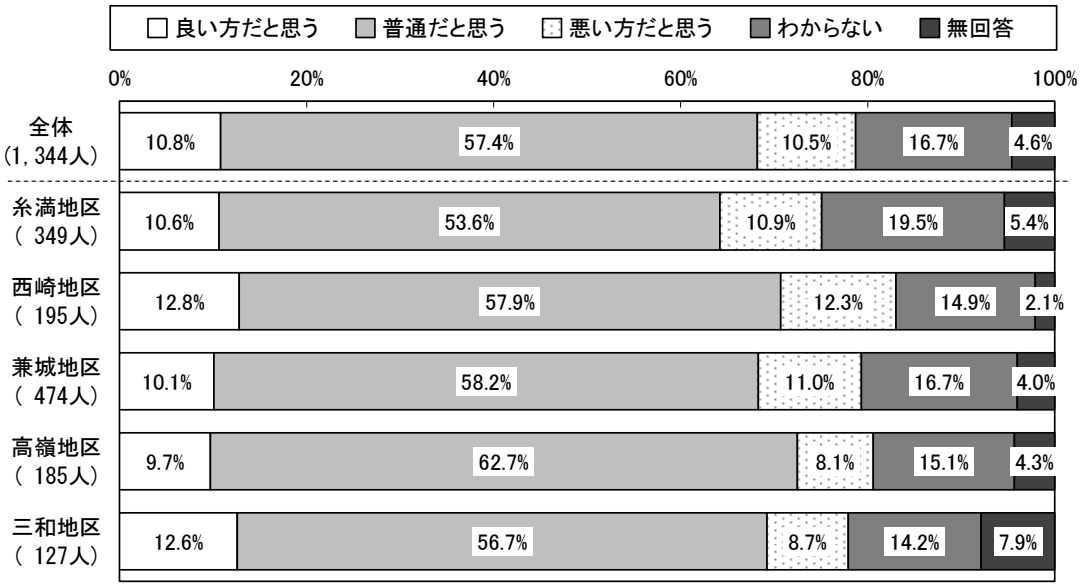
| | 回答者実数 | 良い方だと思う | 普通だと思う | 悪い方だと思う | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 25.9% (41 人) | 59.5% (94 人) | 10.8% (17 人) | 3.8% ( 6 人) | 0.0% ( 0 人) |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 13.7% (57 人) | 59.1% (246 人) | 5.5% (23 人) | 16.6% (69 人) | 5.0% (21 人) |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 8.2% ( 8 人) | 56.1% (55 人) | 7.1% ( 7 人) | 21.4% (21 人) | 7.1% ( 7 人) |
| 障がいのある方 | 137 人 | 11.7% (16 人) | 48.9% (67 人) | 10.2% (14 人) | 25.5% (35 人) | 3.6% ( 5 人) |
| 学生(小学生) | 163 人 | 24.5% (40 人) | 58.3% (95 人) | 12.3% (20 人) | 3.7% ( 6 人) | 1.2% ( 2 人) |
| 学生(中学生) | 90 人 | 22.2% (20 人) | 64.4% (58 人) | 5.6% ( 5 人) | 6.7% ( 6 人) | 1.1% ( 1 人) |
| 学生(高校生以上) | 153 人 | 15.7% (24 人) | 66.7% (102 人) | 8.5% (13 人) | 7.2% (11 人) | 2.0% ( 3 人) |
| いずれもいない | 441 人 | 14.5% (64 人) | 46.9% (207 人) | 8.2% (36 人) | 25.9% (114 人) | 4.5% (20 人) |

### ③青少年が健全に育つ環境

青少年が健全に育つ環境への評価は、「普通だと思う」が 57.4%と最も高くなります。次いで、「わからない」が 16.7%となっています。

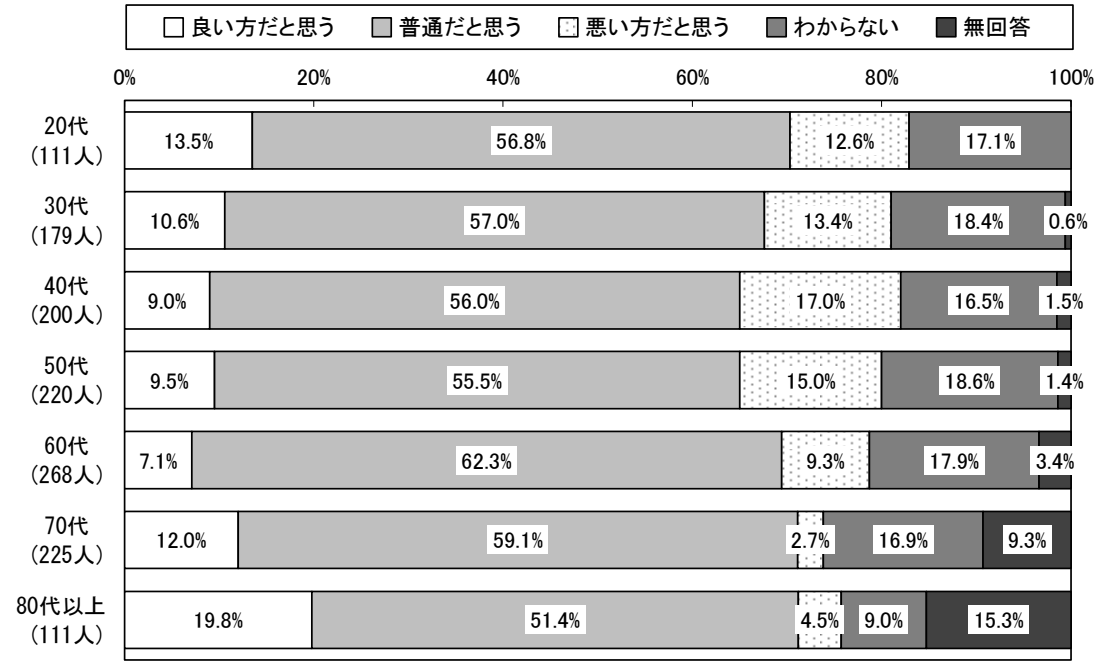
地区別にみると、「悪い方だと思う」と「良い方だと思う」の割合は、「糸満地区」、「西崎地区」、「兼城地区」では同率ですが、「高嶺地区」、「三和地区」では良いとする割合が少し高くなっています。

**青少年が健全に育つ環境（全体・地区別）**




年代別にみると、「悪い方だと思う」は「20 代」から「50 代」が 10%台と高く、60 代以降が各 10%未満の割合で低くなります。一方、「良い方だと思う」では「80 代以上」が最も高く 19.8%となっています。

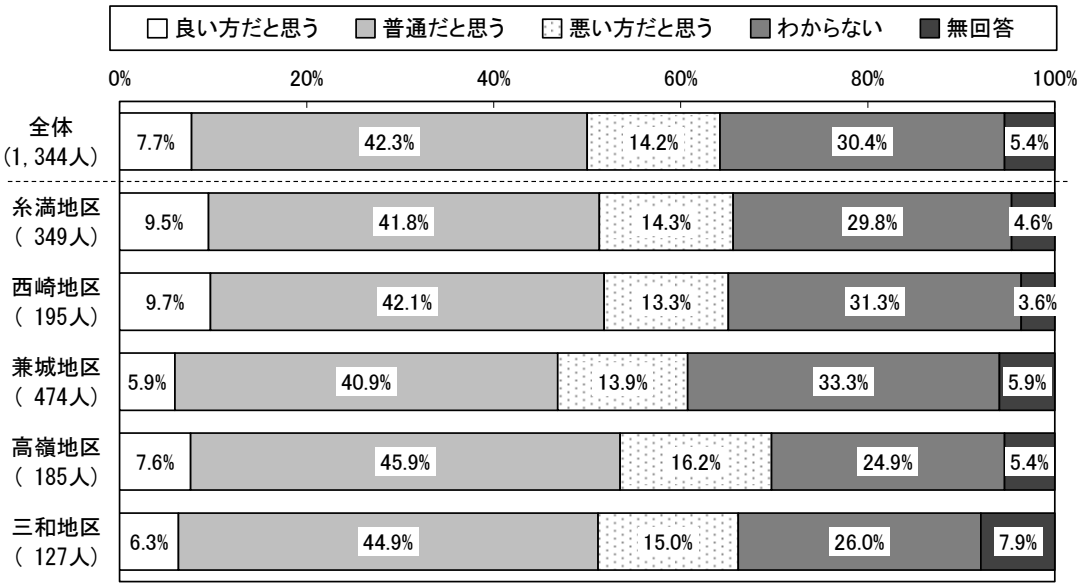
**青少年が健全に育つ環境（年代別）**



### ④障がいのある人が自分らしく安心して暮らせる環境

障がいのある人が自分らしく安心して暮らせる環境への評価は、「普通だと思う」が 42.3%と最も高く、次に「わからない」が 30.4%となります。また、「悪い方だと思う」が 14.2%、「良い方だと思う」が 7.7%で、悪いの評価が高くなります。

障がいのある人が自分らしく安心して暮らせる環境（全体・地区別）




同居家族別にみると、「悪い方だと思う」は「障がい者」のいる世帯が最も高く 25.5%となっています。そのほか、すべての世帯で「悪い方だと思う」の割合が、「良い方だと思う」の割合を上回っています。今後も障がい者にとって安心して暮らせる環境づくりを、更に進める必要性がうかがえます。

障がいのある人が自分らしく安心して暮らせる環境（同居家族別）

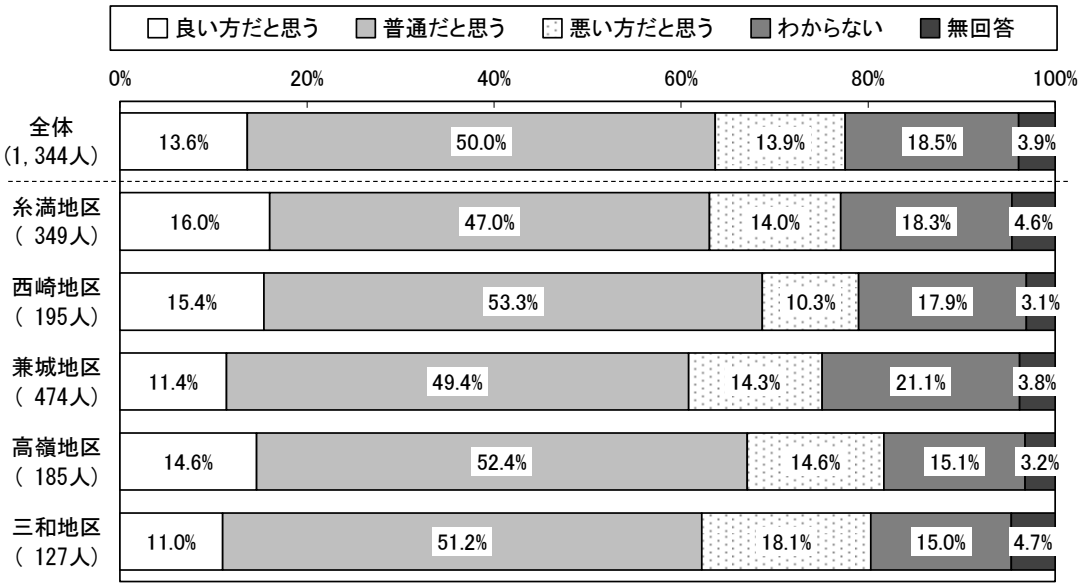
| | 回答者実数 | 良い方だと思う | 普通だと思う | 悪い方だと思う | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 9.5% (15 人) | 43.0% (68 人) | 10.8% (17 人) | 36.1% (57 人) | 0.6% ( 1 人) |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 7.2% (30 人) | 46.6% (194 人) | 14.9% (62 人) | 25.7% (107 人) | 5.5% (23 人) |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 6.1% ( 6 人) | 48.0% (47 人) | 20.4% (20 人) | 18.4% (18 人) | 7.1% ( 7 人) |
| 障がいのある方 | 137 人 | 7.3% (10 人) | 46.0% (63 人) | 25.5% (35 人) | 18.2% (25 人) | 2.9% ( 4 人) |
| 学生(小学生) | 163 人 | 8.6% (14 人) | 46.6% (76 人) | 13.5% (22 人) | 28.2% (46 人) | 3.1% ( 5 人) |
| 学生(中学生) | 90 人 | 7.8% ( 7 人) | 51.1% (46 人) | 13.3% (12 人) | 26.7% (24 人) | 1.1% ( 1 人) |
| 学生(高校生以上) | 153 人 | 5.9% ( 9 人) | 50.3% (77 人) | 11.8% (18 人) | 30.1% (46 人) | 2.0% ( 3 人) |
| いずれもいない | 441 人 | 6.8% (30 人) | 37.0% (163 人) | 14.3% (63 人) | 37.0% (163 人) | 5.0% (22 人) |

### ⑤高齢者が安心して自分らしくいきいきと暮らせる環境

高齢者が安心していきいきと暮らせる環境への評価は、「普通だと思う」が 50.0%と最も高く、次に「わからない」が 18.5%となります。また、「悪い方だと思う」が 13.9%、「良い方だと思う」が 13.6%となります。

地区別にみると、「悪い方だと思う」は「三和地区」が比較的高く、「良い方だと思う」は「糸満地区」が比較的高くなります。

高齢者が安心して自分らしくいきいきと暮らせる環境（全体・地区別）

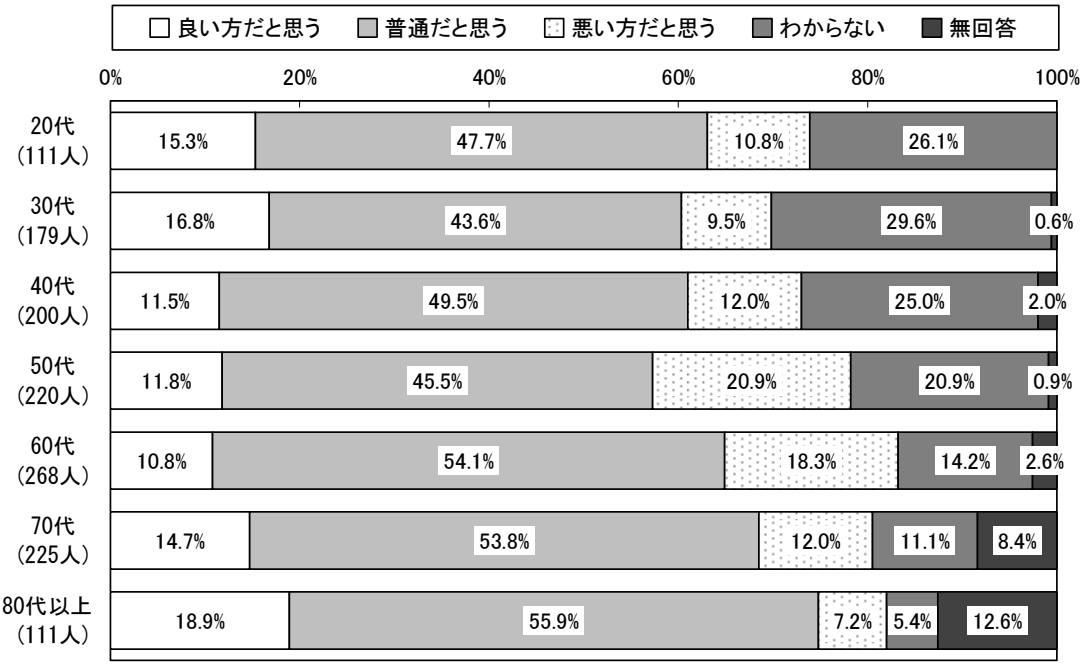


年代別にみると、「わからない」は「30 代」が 29.6%と最も高く、40 代以降年代が高いほど割合が低くなり「80 代以上」では 5.4%となります。年齢を重ねるに従い評価が明確になっていく傾向にありますが、その一方で「無回答」の割合も高くなっていきます。

また、「わからない」の割合は 40 代までの年代で高くなりますが、若い年代の人にとっては、高齢者の暮らしまで考えが及ばない人が多いと推測します。

「良い方だと思う」は「80 代以上」が 18.9%と最も高く、次に「30 代」が 16.8%となります。

高齢者が安心して自分らしくいきいきと暮らせる環境（年代別）




同居家族別みると、「悪い方だと思う」は「介護を必要とする方」のいる世帯と「障がい者」の世帯が高く、「就学前児童」のいる世帯が低くなります。

「良い方だと思う」は「学生(小学生)」と「就学前児童」のいる世帯が 20%程度と子どものいる世帯で高くなっています。

高齢者が安心して自分らしくいきいきと暮らせる環境（同居家族別）

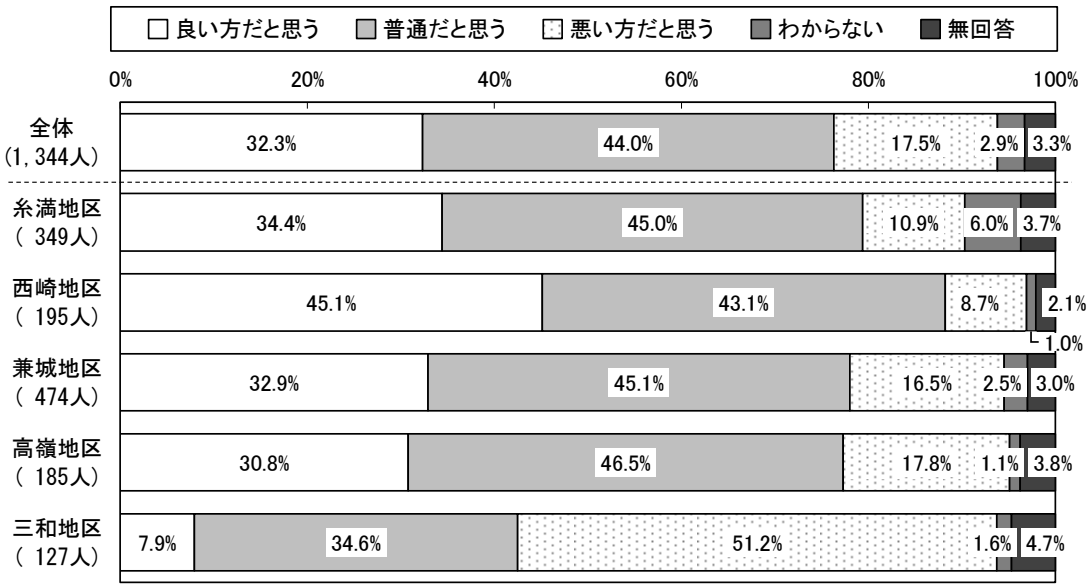
| | 回答者実数 | 良い方だと思う | 普通だと思う | 悪い方だと思う | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 18.4%（29 人） | 43.7%（69 人） | 9.5%（15 人） | 28.5%（45 人） | 0.0%（ 0 人） |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 13.2%（55 人） | 56.3%（234 人） | 12.3%（51 人） | 14.7%（61 人） | 3.6%（15 人） |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 10.2%（10 人） | 53.1%（52 人） | 22.4%（22 人） | 10.2%（10 人） | 4.1%（ 4 人） |
| 障がいのある方 | 137 人 | 10.2%（14 人） | 46.7%（64 人） | 17.5%（24 人） | 20.4%（28 人） | 5.1%（ 7 人） |
| 学生(小学生) | 163 人 | 20.2%（33 人） | 50.9%（83 人） | 10.4%（17 人） | 17.8%（29 人） | 0.6%（ 1 人） |
| 学生(中学生) | 90 人 | 13.3%（12 人） | 52.2%（47 人） | 15.6%（14 人） | 17.8%（16 人） | 1.1%（ 1 人） |
| 学生(高校生以上) | 153 人 | 13.1%（20 人） | 51.6%（79 人） | 12.4%（19 人） | 22.2%（34 人） | 0.7%（ 1 人） |
| いずれもいない | 441 人 | 12.0%（53 人） | 48.3%（213 人） | 15.9%（70 人） | 20.0%（88 人） | 3.9%（17 人） |

### ⑥通勤や買い物の利便性

通勤や買い物の利便性への評価は、「普通だと思う」が 44.0%と最も高く、次に「良い方だと思う」が 32.3%となっています。また、「悪い方だと思う」が 17.5%あります。

地区別にみると、「良い方だと思う」は「西崎地区」で 45.1%と高くなっていますが、「三和地区」では 7.9%と低く、地域差が大きいです。

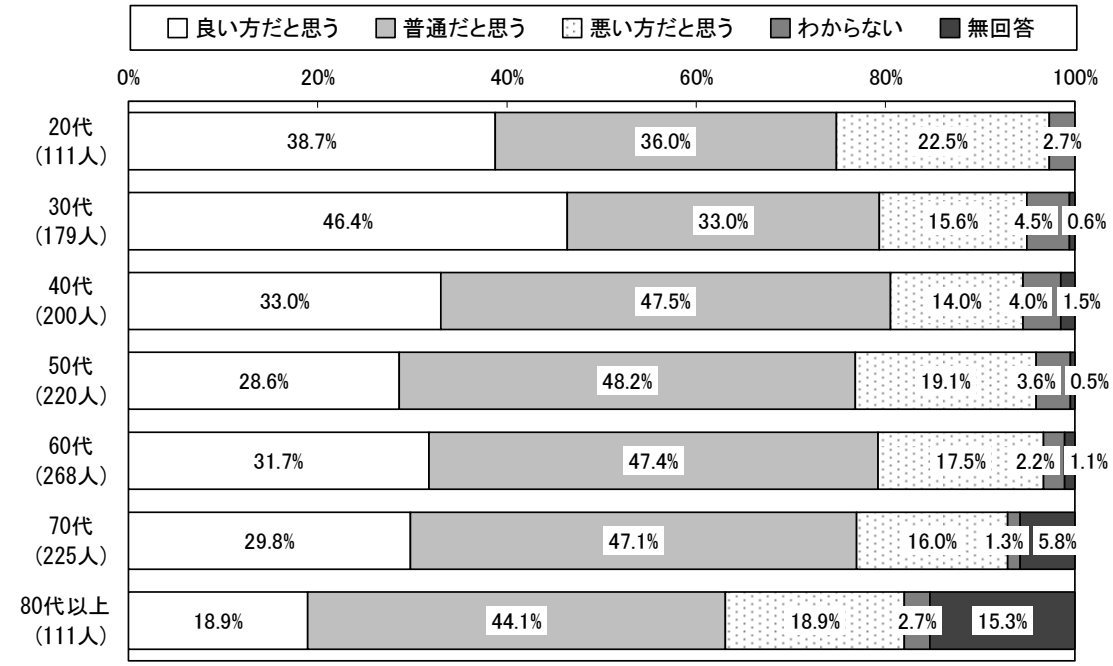
通勤や買い物の利便性（全体・地区別）




年代別にみると、「良い方だと思う」は「20 代」が 38.7%、「30 代」46.4%と高くなっており、40 代以降は割合が低くなる傾向にあります。

一方、「悪い方だと思う」は「50 代」が 19.1%と最も高くなります。

通勤や買い物の利便性（年代別）

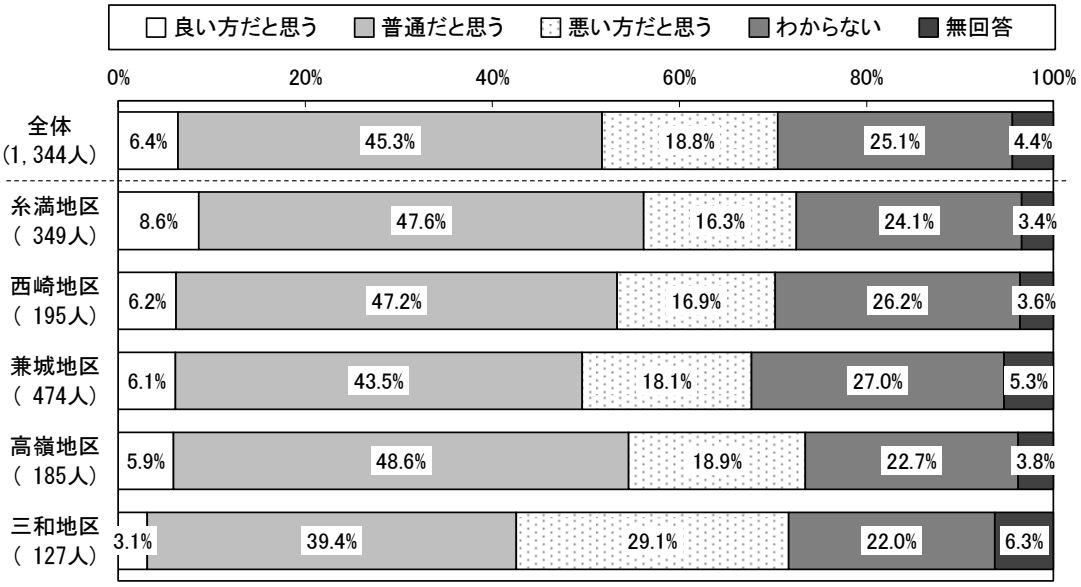


### ⑦困りごとの相談先や情報の入手の利便性

困りごとの相談や情報入手の利便性への評価は、「普通だと思う」が 45.3％と最も高く、次に「わからない」が 25.1％となります。また、「悪い方だと思う」が 18.8％、「良い方だと思う」が 6.4％となります。

地区別にみると、全ての地区で「悪い方だと思う」割合が、「良い方だと思う」割合を上回っており、中でも「三和地区」で９倍の差があります。

困りごとの相談先や情報の入手の利便性（全体・地区別）

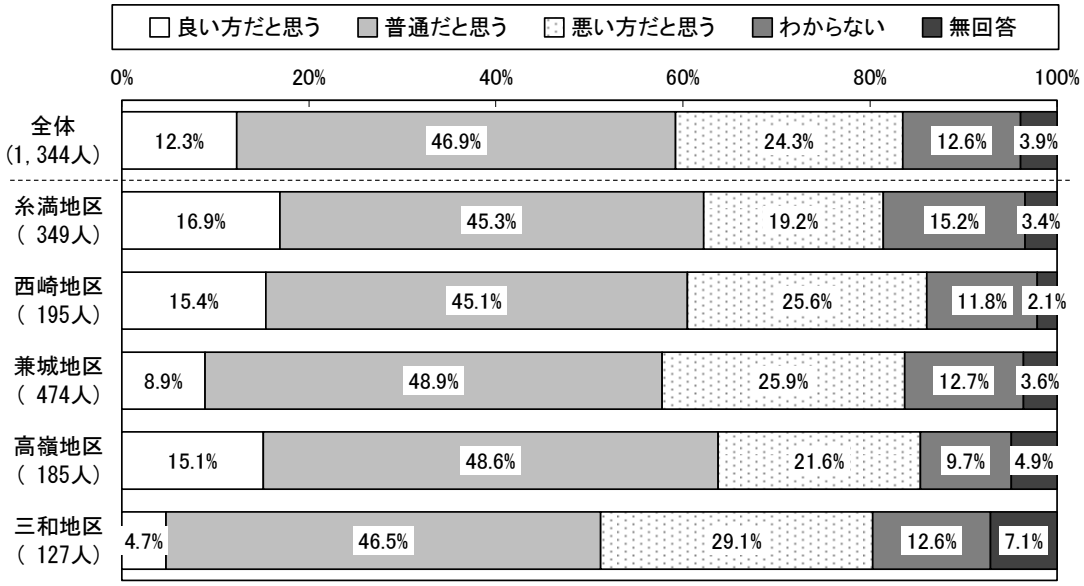


### ⑧市民が利用しやすい公共施設の立地

市民が利用しやすい公共施設の立地に対する評価は、「普通だと思う」が 46.9%と最も高く、次に「悪い方だと思う」が 24.3%となります。また、「良い方だと思う」は 12.3%です。

地区別にみると、「悪い方だと思う」が「良い方だと思う」を大きく上回っており、中でも「三和地区」で６倍の差があります。

市民が利用しやすい公共施設の立地（全体・地区別）



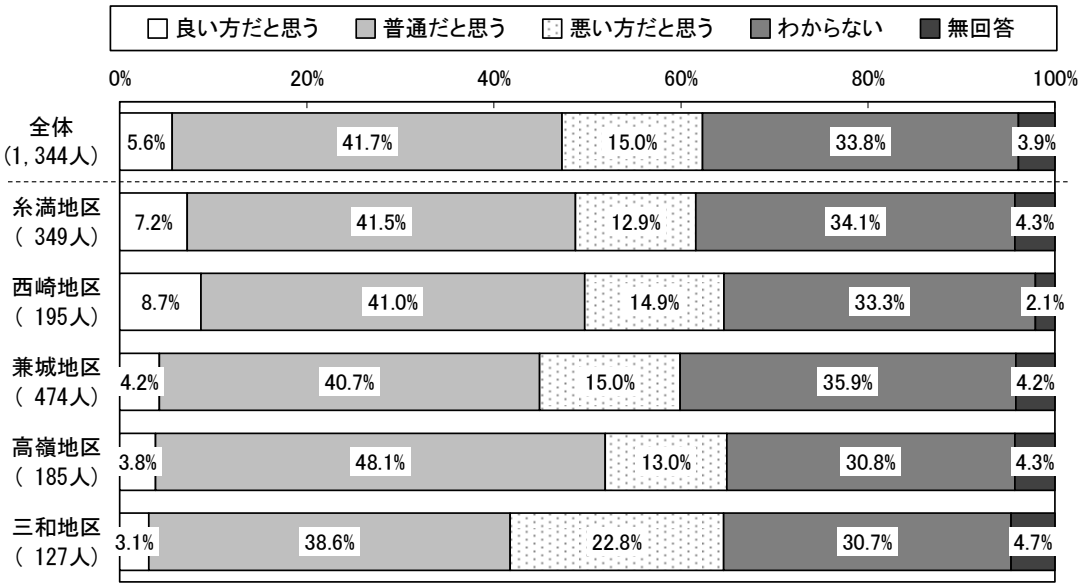
### ⑨防災体制(避難誘導体制)・組織の体制

防災体制(避難誘導体制)・組織の体制への評価は、「普通だと思う」が 41.7%と最も高く、次に「わからない」が 33.8%となります。また、「悪い方だと思う」が 15.0%、「良い方だと思う」が 5.6%となります。

地区別にみると、「わからない」は「兼城地区」、「糸満地区」が 30%台半ばで高くなっています。

「悪い方だと思う」の割合は、全ての地区で「良い方だと思う」の割合を上回っており、中でも「三和地区」で 7 倍、「兼城地区」、「高嶺地区」で約 3.5 倍の差があります。

防災体制(避難誘導体制)・組織の体制（全体・地区別）

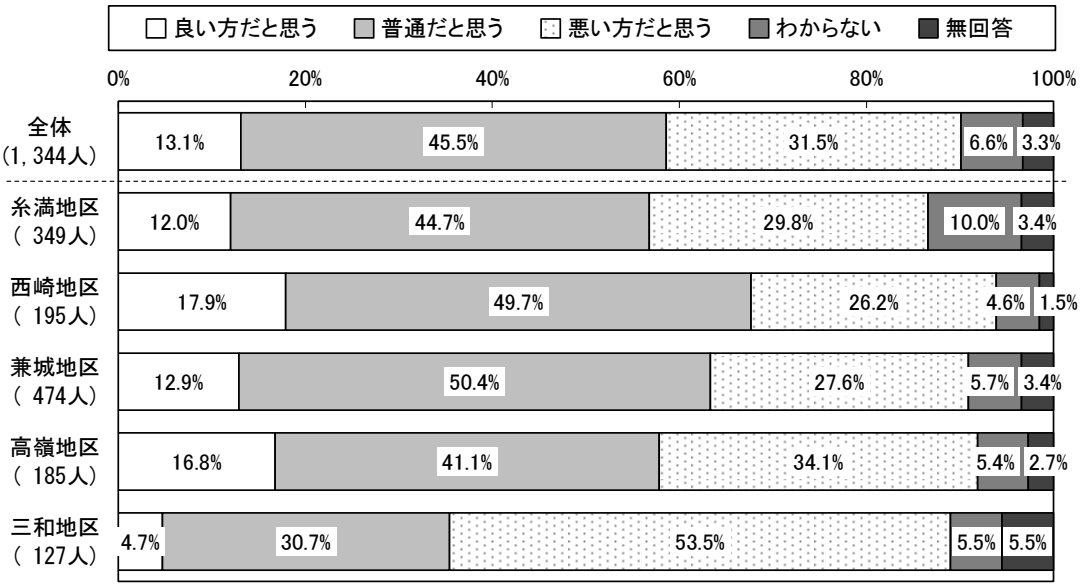


### ⑩病院など、医療機関が充実している環境

病院など、医療機関が充実している環境への評価は、「普通だと思う」が 45.5%と最も高く、次に「悪い方だと思う」が 31.5%となります。また、「良い方だと思う」が 13.1%となります。

地区別にみると、「悪い方だと思う」は「三和地区」が 53.5%と半数を超え最も高く、そのほかの地区では 20～30%台となっており、地域差が見られます。

病院など、医療機関が充実している環境（全体・地区別）




同居家族別にみると、すべての世帯で「悪い方だと思う」の割合が「良い方だと思う」の割合を上回っており、中でも「介護を必要とする方」のいる世帯では 31 ポイントの差があります。

病院など、医療機関が充実している環境（同居家族別）

| | 回答者実数 | 良い方だと思う | 普通だと思う | 悪い方だと思う | わからない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 19.6%（31 人） | 48.1%（76 人） | 25.9%（41 人） | 6.3%（10 人） | 0.0%（ 0 人） |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 10.1%（42 人） | 46.4%（193 人） | 34.9%（145 人） | 5.3%（22 人） | 3.4%（14 人） |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 9.2%（ 9 人） | 42.9%（42 人） | 40.8%（40 人） | 4.1%（ 4 人） | 3.1%（ 3 人） |
| 障がいのある方 | 137 人 | 10.9%（15 人） | 40.9%（56 人） | 32.8%（45 人） | 12.4%（17 人） | 2.9%（ 4 人） |
| 学生（小学生） | 163 人 | 16.6%（27 人） | 42.3%（69 人） | 35.6%（58 人） | 4.9%（ 8 人） | 0.6%（ 1 人） |
| 学生（中学生） | 90 人 | 7.8%（ 7 人） | 57.8%（52 人） | 27.8%（25 人） | 5.6%（ 5 人） | 1.1%（ 1 人） |
| 学生（高校生以上） | 153 人 | 13.1%（20 人） | 49.7%（76 人） | 32.0%（49 人） | 4.6%（ 7 人） | 0.7%（ 1 人） |
| いずれもいない | 441 人 | 14.7%（65 人） | 44.2%（195 人） | 30.4%（134 人） | 7.9%（35 人） | 2.7%（12 人） |

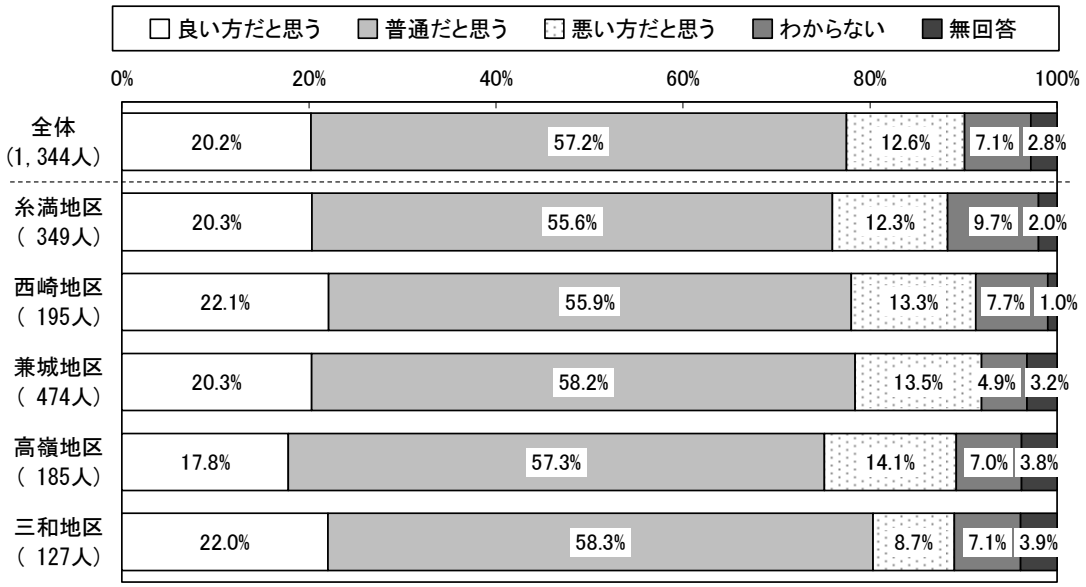
### ⑪地域の治安

地域の治安に対する評価は、「普通だと思う」が 57.2%と最も高くなります。次いで「良い方だと思う」が 20.2%、「悪い方だと思う」が 12.6%となっています。

地区別にみると、「良い方だと思う」は「高嶺地区」が他の地区に比べ 17.8%と低く、そのほかの地区は 20%台となります。

一方、「悪い方だと思う」は「高嶺地区」が 14.1%と最も高くなっています。

地域の治安（全体・地区別）



## ３．日常生活における地域との関わりについて

### (1)隣近所の人とのつきあいの程度

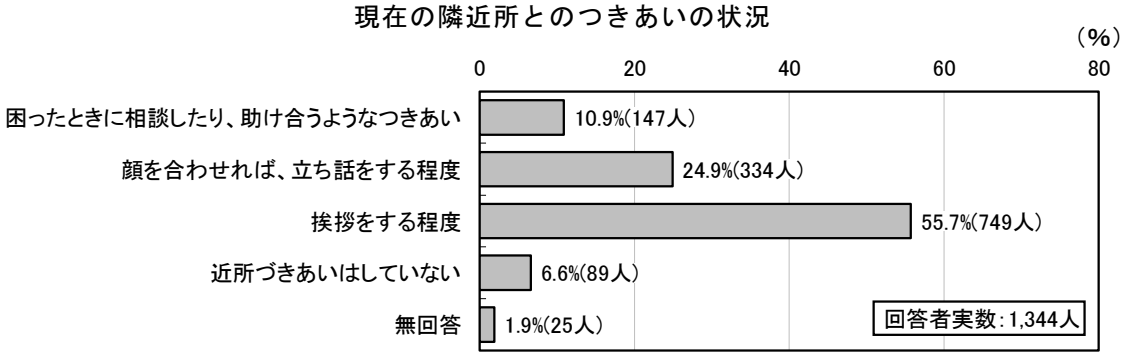
問10：(現在、今後)あなたは、日ごろ、隣近所の人とどの程度のつきあいがありますか。(１つに○)

#### ①現在の隣近所とのつきあいの状況

隣近所とのつきあいの状況は、「挨拶をする程度」が 55.7%で圧倒的に高いです。次いで「顔を合わせれば、立ち話をする程度」の 24.9%となっています。

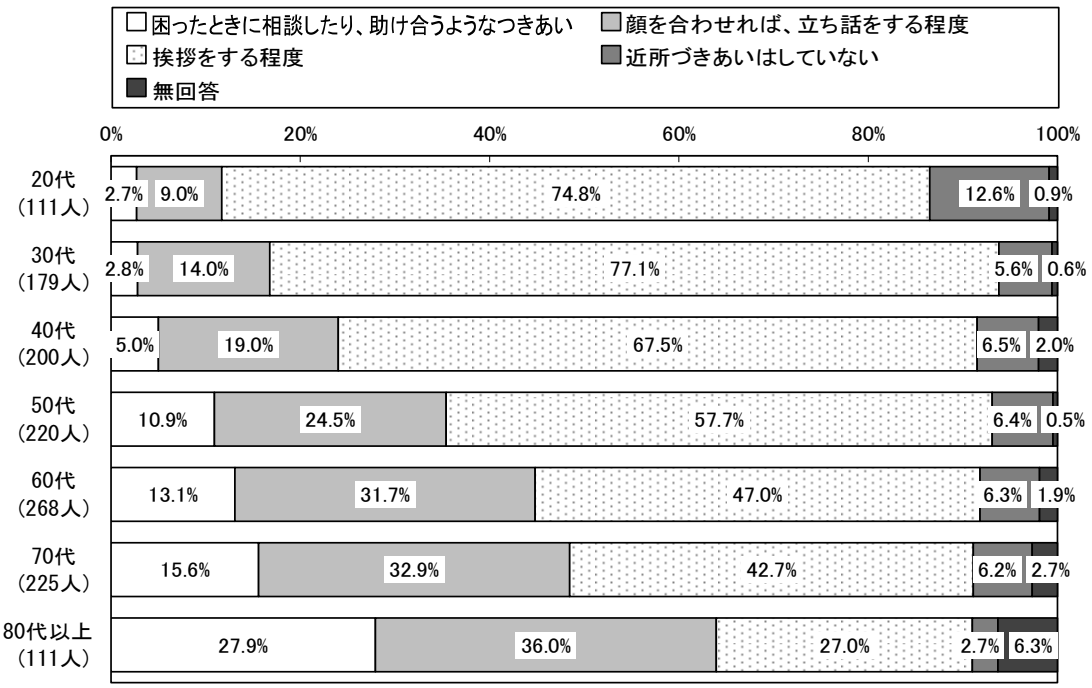
「近所づきあいはしていない」は 6.6%です。

現在の隣近所とのつきあいの状況




年代別にみると、「挨拶をする程度」は、30 代までは 70%台ですが、40 代以上ではこの割合が減少傾向にあります。反対に「顔を合わせれば、立ち話をする程度」は年齢が上がると増える傾向にあり、40 代までは 20%未満であるのに対し、「50 代」は 24.5%、60 代以上は 30%台を占めています。

現在の隣近所とのつきあいの状況（年代別）

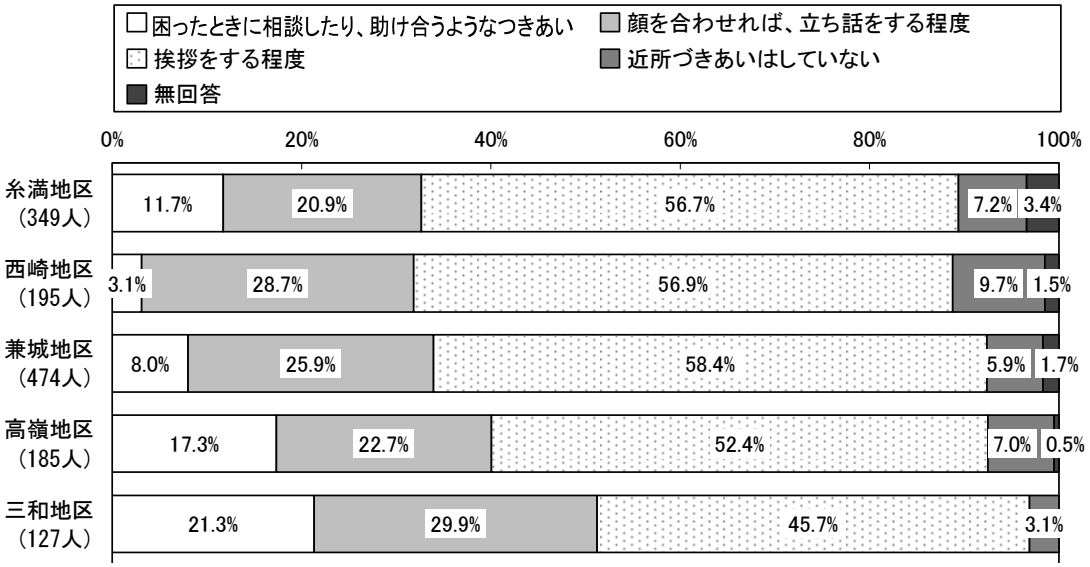


地区別にみると、「挨拶をする程度」はどの地区でも最も高いですが、「兼城地区」が 58.4％で最も高く、「三和地区」は 45.7％で最も低くなっています。

「困ったときに相談したり、助け合うようなつきあい」は「三和地区」が 21.3％と最も高くなっています。

「近所づきあいはしていない」は「西崎地区」が 9.7％で他地区よりも高くなっています。

**現在の隣近所とのつきあいの状況（地区別）**

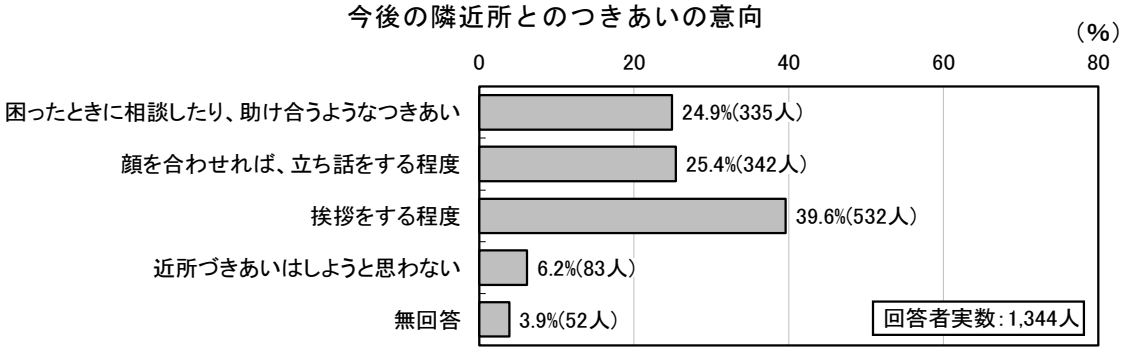


### ②今後の隣近所とのつきあいの意向

今後の隣近所とのつきあい方の意向は、「挨拶をする程度」が最も高く、39.6%となっていますが、現在のつきあい方と比べて「挨拶をする程度」は 16.1 ポイント低下しています。次いで「顔を合わせれば、立ち話をする程度」が 25.4%、「近所づきあいはしようと思わない」は 6.2%で、現在のつきあい方と比べると割合は同程度となっています。

「困ったときに相談したり、助け合うようなつきあい」は 24.9%で現在のつきあい方と比べると 14 ポイント高くなっています。。

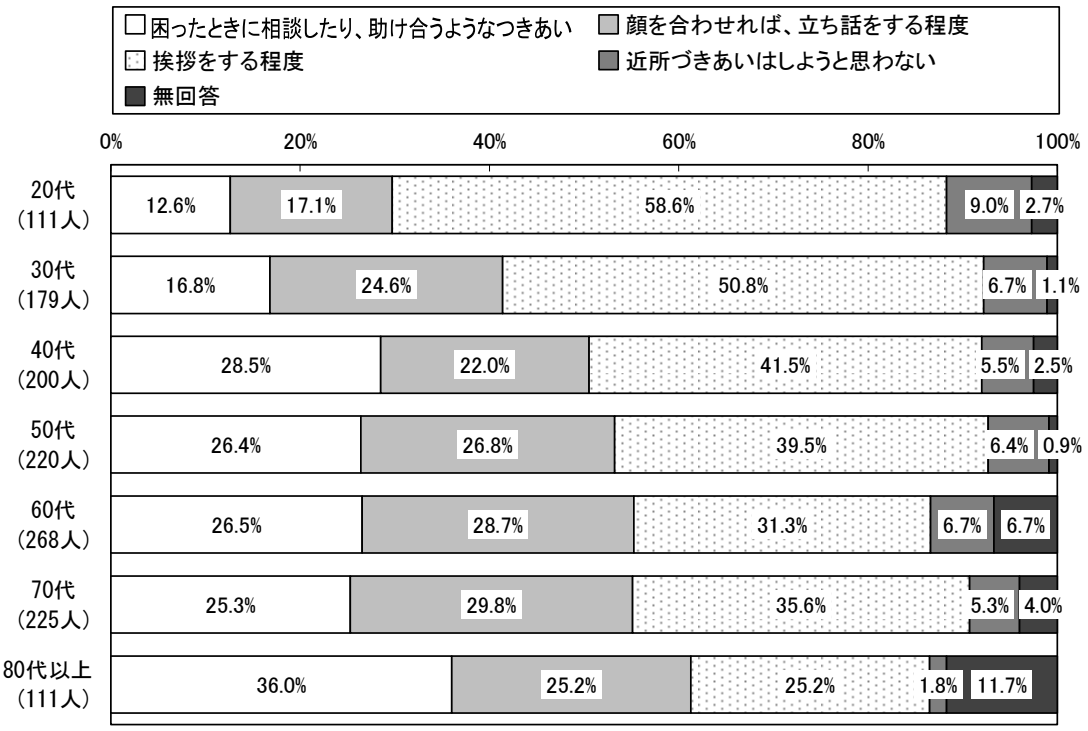
今後の隣近所とのつきあいの意向




年代別にみると、「挨拶をする程度」は年代が高いほど割合は低くなる傾向にあります。「顔を合わせれば、立ち話をする程度」は「20 代で」は 17.1%ですが、そのほかの年代では 20%台の比率となっています。

「困ったときに相談したり、助け合うようなつきあい」は、年代が高いほど割合は高くなる傾向にあり、「80 代以上」では 36.0%となっています。

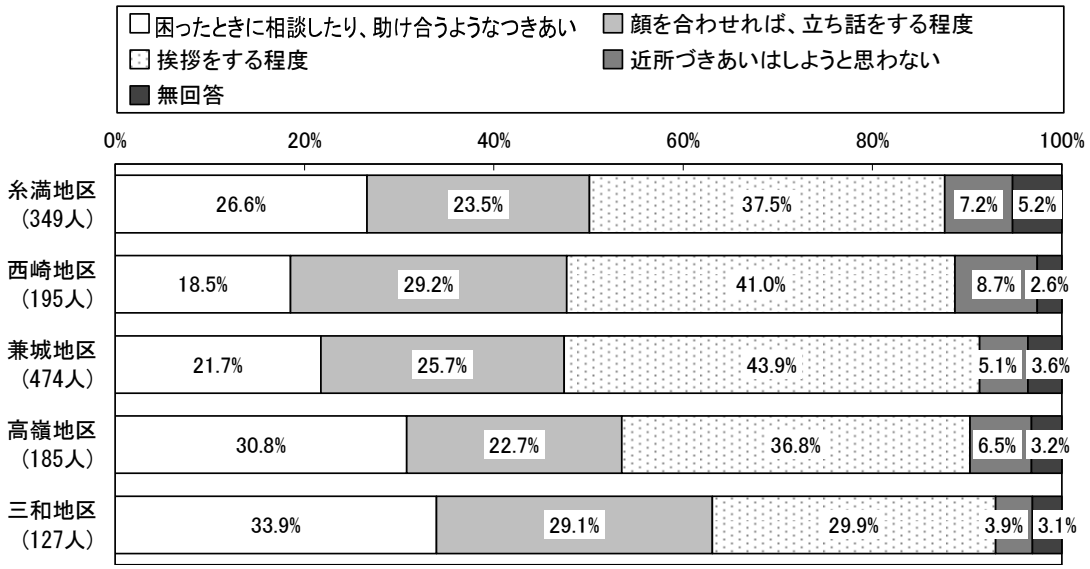
今後の隣近所とのつきあいの意向（年代別）



地区別にみると、「顔を合わせれば、立ち話をする程度」は各区とも 20％台の割合となっています。一方、「挨拶をする程度」は「兼城地区」と「西崎地区」が 40％台と高くなっています。

「困ったときに相談したり、助け合うようなつきあい」は、「三和地区」と「高嶺地区」が 30％台で高くなっています。

今後の隣近所とのつきあいの意向（地区別）



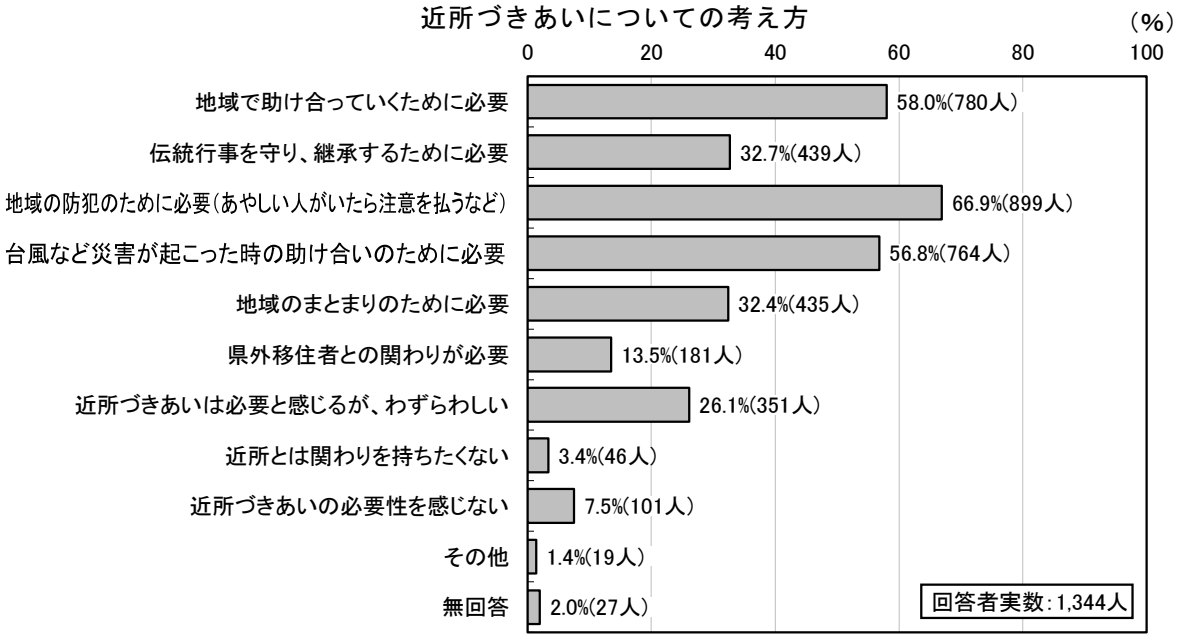
## (2)近所づきあいについての考え方（複数回答）

問11：あなたは、近所づきあいについて、どのように考えていますか。（あてはまる番号すべてに○）

近所づきあいの考え方については、「地域の防犯のために必要(あやしい人がいたら注意を払うなど)」が 66.9%と最も高く、次に「地域で助け合っていくために必要」が 58.0%、「台風など災害が起こった時の助け合いのために必要」が 56.8%と３つの考え方がそれぞれ半数以上を占め、防犯や災害に対する危機意識(危険から身を守るために必要)から、近所づきあいの必要性をあげる人が多くなっております。

続いて「伝統行事を守り、継承するために必要」が 32.7%、「地域のまとまりのために必要」が 32.4%となっております。

一方、「近所づきあいは必要と感じるが、わずらわしい」が 26.1%あるほか、「近所づきあいの必要性を感じない」が 7.6%、「近所とは関わりを持ちたくない」が 3.4%と、近所づきあいに否定的な考え方の人が、少なくとも４分の１います。



年代別にみると、「地域の防犯のために必要」は「80 代以上」が 72.1%と最も高く、「60 代」、「70 代」も次いで高くなっています。

「地域で助け合っていくために必要」は年代が高いほど割合は高くなる傾向にあり「40 代」で半数を超え、「80 代以上」で 79.3%と最も高くなります。

「台風など災害が起こった時の助け合いのために必要」については 30 代以上の年代で 50%を超えます。

「伝統行事を守り、継承するために必要」と「地域のまとまりのために必要」についても概ね年代が高いほど割合も高く、「80 代以上」で最も高くなっています。

一方、「近所づきあいは必要と感じるが、わずらわしい」は、「50 代」が 33.6%と最も高く、「80 代以上」が 15.3%と最も低くなります。

**近所づきあいについての考え方（年代別）**

| | 回答者実数 | 地域で助け合っていくために必要 | 伝統行事を守り、継承するために必要 | 地域の防犯のために必要（あやしい人がいたら注意を払うなど） | 台風など災害が起こった時の助け合いのために必要 | 地域のまとまりのために必要 | 県外移住者との関わりが必要 | 近所づきあいは必要と感じるが、わずらわしい | 近所とは関わりを持ちたくない | 近所づきあいの必要性を感じない | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 代 | 111 人 | 48.6%<br>(54 人) | 27.0%<br>(30 人) | 52.3%<br>(58 人) | 42.3%<br>(47 人) | 15.3%<br>(17 人) | 11.7%<br>(13 人) | 20.7%<br>(23 人) | 3.6%<br>( 4 人) | 13.5%<br>(15 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 0.9%<br>( 1 人) |
| 30 代 | 179 人 | 42.5%<br>(76 人) | 25.1%<br>(45 人) | 65.9%<br>(118 人) | 52.0%<br>(93 人) | 15.1%<br>(27 人) | 14.0%<br>(25 人) | 27.4%<br>(49 人) | 6.1%<br>(11 人) | 10.6%<br>(19 人) | 1.1%<br>( 2 人) | 1.7%<br>( 3 人) |
| 40 代 | 200 人 | 55.0%<br>(110 人) | 31.0%<br>(62 人) | 68.0%<br>(136 人) | 55.5%<br>(111 人) | 21.5%<br>(43 人) | 11.5%<br>(23 人) | 28.5%<br>(57 人) | 5.5%<br>(11 人) | 5.0%<br>(10 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 1.5%<br>( 3 人) |
| 50 代 | 220 人 | 58.6%<br>(129 人) | 31.4%<br>(69 人) | 67.3%<br>(148 人) | 55.9%<br>(123 人) | 30.9%<br>(68 人) | 12.7%<br>(28 人) | 33.6%<br>(74 人) | 1.4%<br>( 3 人) | 5.5%<br>(12 人) | 2.7%<br>( 6 人) | 0.9%<br>( 2 人) |
| 60 代 | 268 人 | 60.4%<br>(162 人) | 32.5%<br>(87 人) | 70.5%<br>(189 人) | 60.4%<br>(162 人) | 38.4%<br>(103 人) | 13.8%<br>(37 人) | 23.5%<br>(63 人) | 3.0%<br>( 8 人) | 6.7%<br>(18 人) | 1.9%<br>( 5 人) | 3.0%<br>( 8 人) |
| 70 代 | 225 人 | 63.1%<br>(142 人) | 36.9%<br>(83 人) | 68.4%<br>(154 人) | 62.2%<br>(140 人) | 47.1%<br>(106 人) | 12.9%<br>(29 人) | 28.0%<br>(63 人) | 2.7%<br>( 6 人) | 7.1%<br>(16 人) | 1.3%<br>( 3 人) | 2.7%<br>( 6 人) |
| 80 代以上 | 111 人 | 79.3%<br>(88 人) | 45.9%<br>(51 人) | 72.1%<br>(80 人) | 64.9%<br>(72 人) | 53.2%<br>(59 人) | 18.9%<br>(21 人) | 15.3%<br>(17 人) | 1.8%<br>( 2 人) | 7.2%<br>( 8 人) | 2.7%<br>( 3 人) | 1.8%<br>( 2 人) |

地区別にみると、「地域の防犯のために必要」は「糸満地区」が 71.3％と最も高く、そのほかの地区は 60％台となっています。

「地域で助け合っていくために必要」は「三和地区」が 69.3％と最も高く、次いで「糸満地区」と「高嶺地区」も 60％台で高いです。

「台風など災害が起こった時の助け合いのために必要」、「地域のまとまりのために必要」、「統行事を守り、継承するために必要」は、「三和地区」と「糸満地区」がほかの地区に比べて高くなっています。

一方、「近所づきあいは必要と感じるが、わずらわしい」は、「西崎地区」が 31.3％と最も高く、「三和地区」が 22.0％と最も低くなります。

**近所づきあいについての考え方（地区別）**

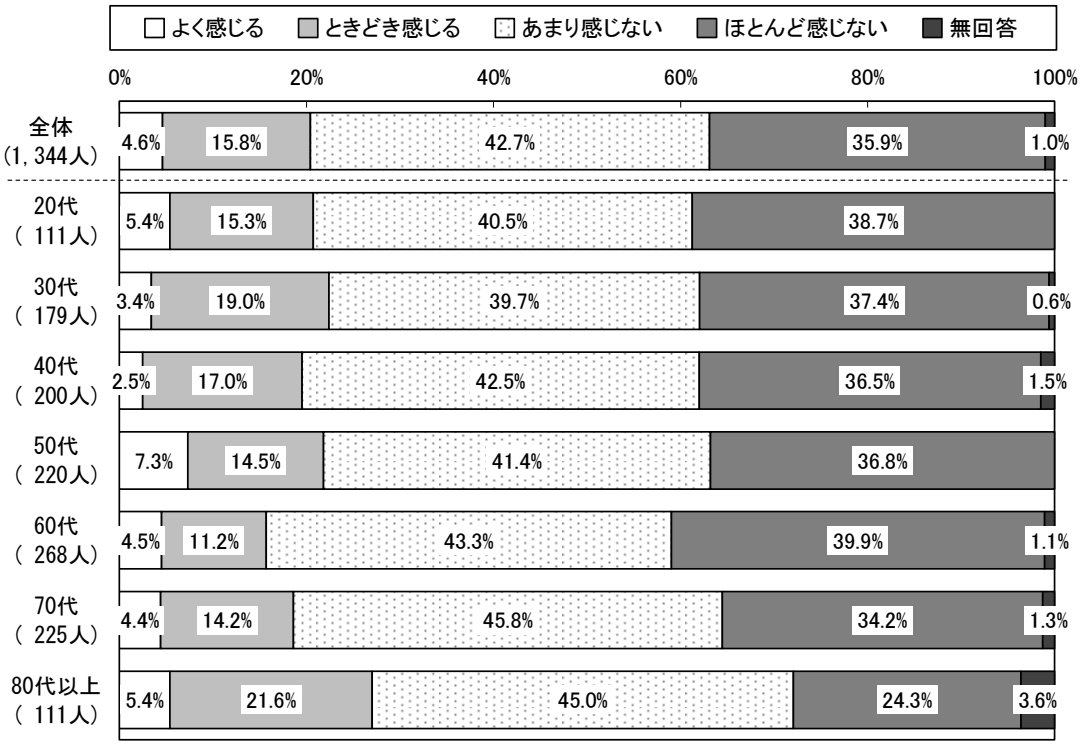
| | 回答者実数 | 地域で助け合っていくために必要 | 伝統行事を守り、継承するために必要 | 地域の防犯のために必要（あやしい人がいたら注意を払うなど） | 台風など災害が起こった時の助け合いのために必要 | 地域のまとまりのために必要 | 県外移住者との関わりが必要 | 近所づきあいは必要と感じるが、わずらわしい | 近所とは関わりを持ちたくない | 近所づきあいの必要性を感じない | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 糸満地区 | 349 人 | 61.9%<br>(216 人) | 41.5%<br>(145 人) | 71.3%<br>(249 人) | 61.0%<br>(213 人) | 35.2%<br>(123 人) | 14.3%<br>(50 人) | 24.4%<br>(85 人) | 2.3%<br>( 8 人) | 7.2%<br>(25 人) | 1.4%<br>( 5 人) | 2.3%<br>( 8 人) |
| 西崎地区 | 195 人 | 50.3%<br>(98 人) | 20.5%<br>(40 人) | 64.1%<br>(125 人) | 52.8%<br>(103 人) | 29.2%<br>(57 人) | 9.2%<br>(18 人) | 31.3%<br>(61 人) | 5.1%<br>(10 人) | 7.7%<br>(15 人) | 2.1%<br>( 4 人) | 2.1%<br>( 4 人) |
| 兼城地区 | 474 人 | 54.2%<br>(257 人) | 26.6%<br>(126 人) | 64.6%<br>(306 人) | 55.5%<br>(263 人) | 28.7%<br>(136 人) | 11.8%<br>(56 人) | 25.5%<br>(121 人) | 2.7%<br>(13 人) | 9.5%<br>(45 人) | 0.4%<br>( 2 人) | 2.3%<br>(11 人) |
| 高嶺地区 | 185 人 | 61.6%<br>(114 人) | 36.8%<br>(68 人) | 67.0%<br>(124 人) | 53.0%<br>(98 人) | 29.7%<br>(55 人) | 14.1%<br>(26 人) | 27.0%<br>(50 人) | 5.9%<br>(11 人) | 6.5%<br>(12 人) | 2.2%<br>( 4 人) | 1.1%<br>( 2 人) |
| 三和地区 | 127 人 | 69.3%<br>(88 人) | 44.1%<br>(56 人) | 67.7%<br>(86 人) | 60.6%<br>(77 人) | 45.7%<br>(58 人) | 22.8%<br>(29 人) | 22.0%<br>(28 人) | 3.1%<br>( 4 人) | 3.1%<br>( 4 人) | 2.4%<br>( 3 人) | 1.6%<br>( 2 人) |

## (3) 日常生活での孤独感

問12：日常生活をしていて、孤独感がありますか。（１つに○）

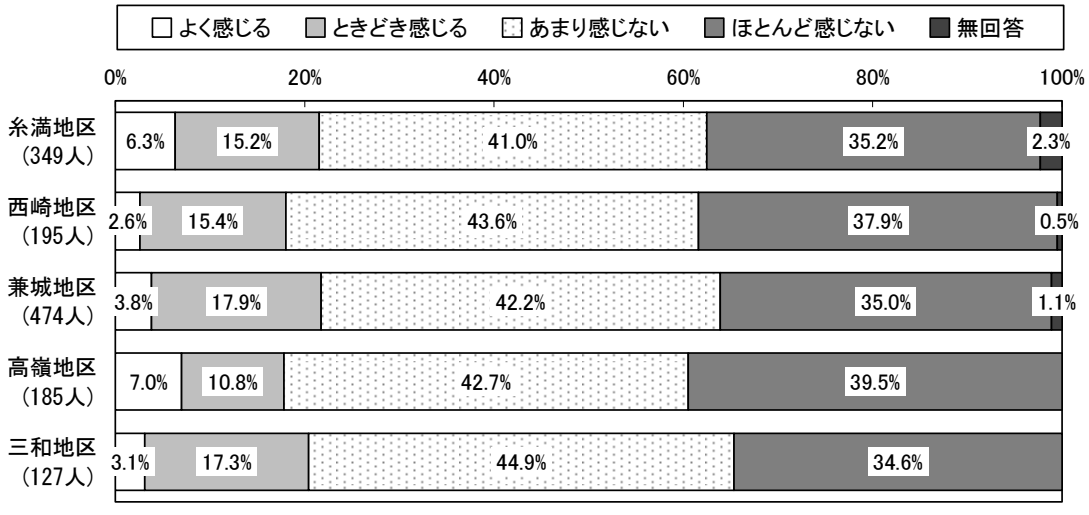
日常生活をしていて孤独感があるか聞いたところ、「よく感じる」は、4.6%、「ときどき感じる」は 15.8%でこれらを合わせると 20.4%が“孤独”を感じていることがわかります。また、“孤独”は「80 代以上」が 27.0%で最も高くなっています。

日常生活での孤独感（全体・年代別）

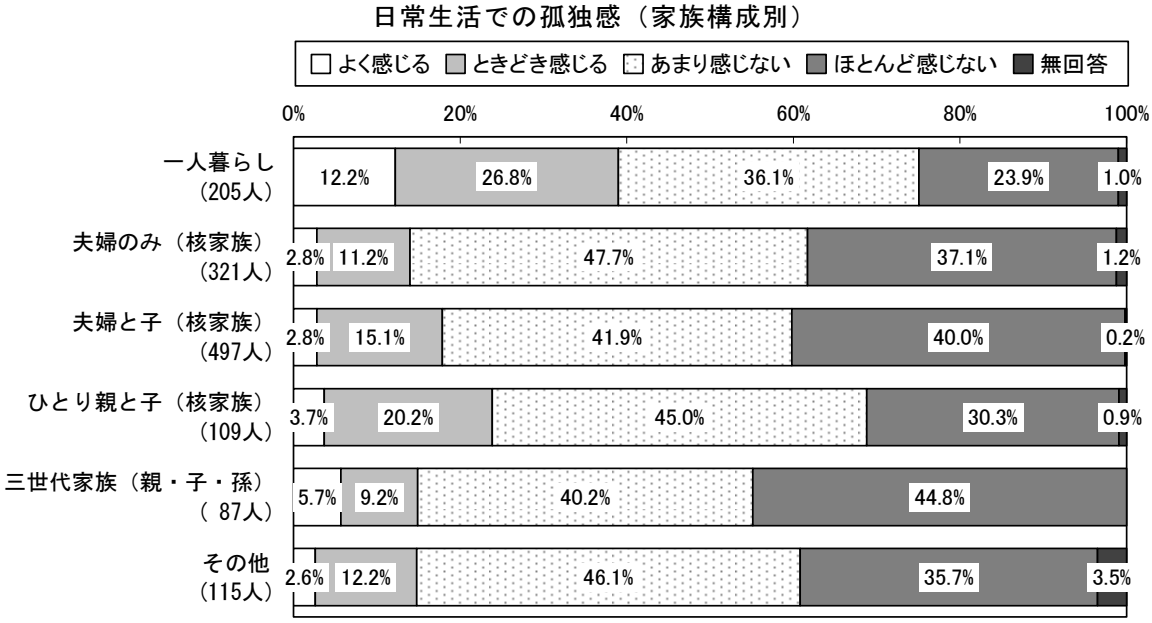



地区別に見ると、“孤独”を感じているのは「兼城地区」が 21.7%で最も高く、「高嶺地区」が 17.8%と最も低くなっています。

日常生活での孤独感（地区別）



家族構成別に見ると、“孤独”を感じているのは「一人暮らし」が 39.0％で最も高く、次いで「ひとり親と子(核家族)」が 23.9％となっています。



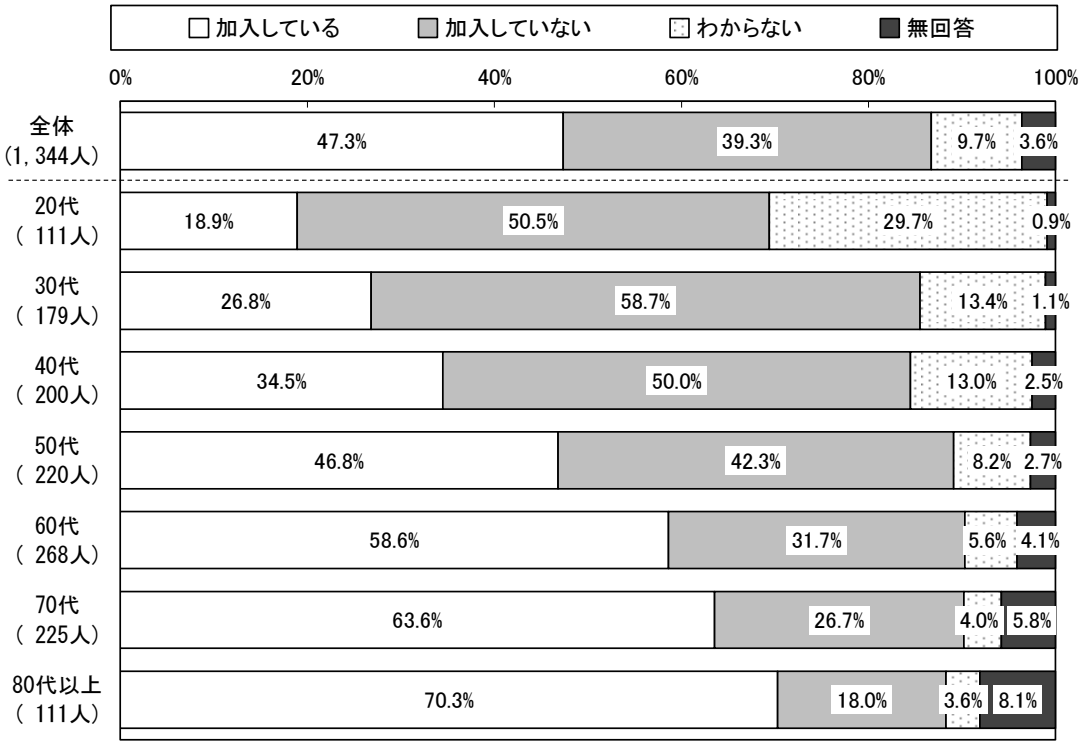
## (4) 自治会への加入状況

問13：あなたは、現在自治会に加入していますか。（１つに○）

自治会への加入については、「加入している」が 47.3%となっています。

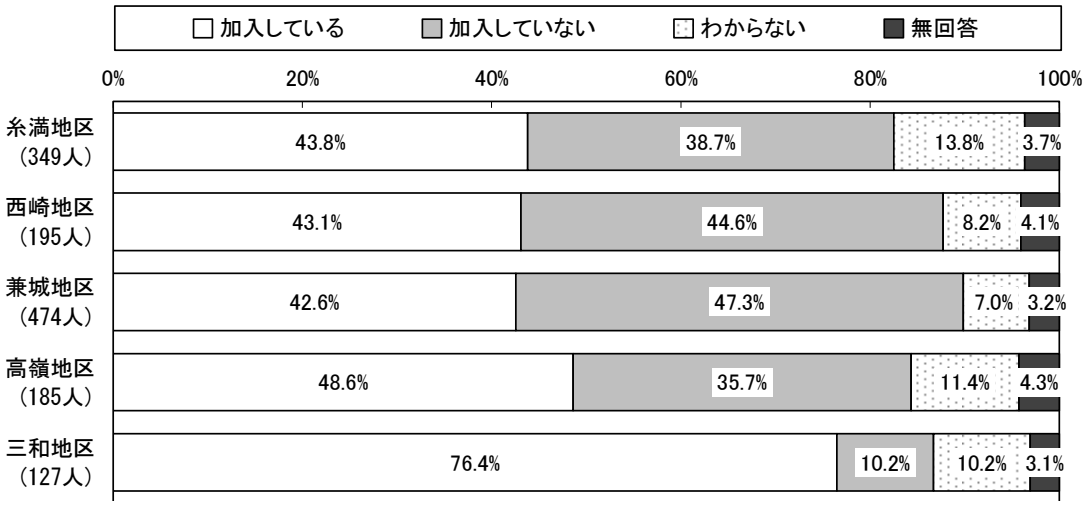
年代別にみると、「加入している」は年代があがると割合も高くなり、「20 代」が 18.9%なのに対し、「80 代以上」では 70.3%となっています。

自治会への加入状況（全体・年代別）



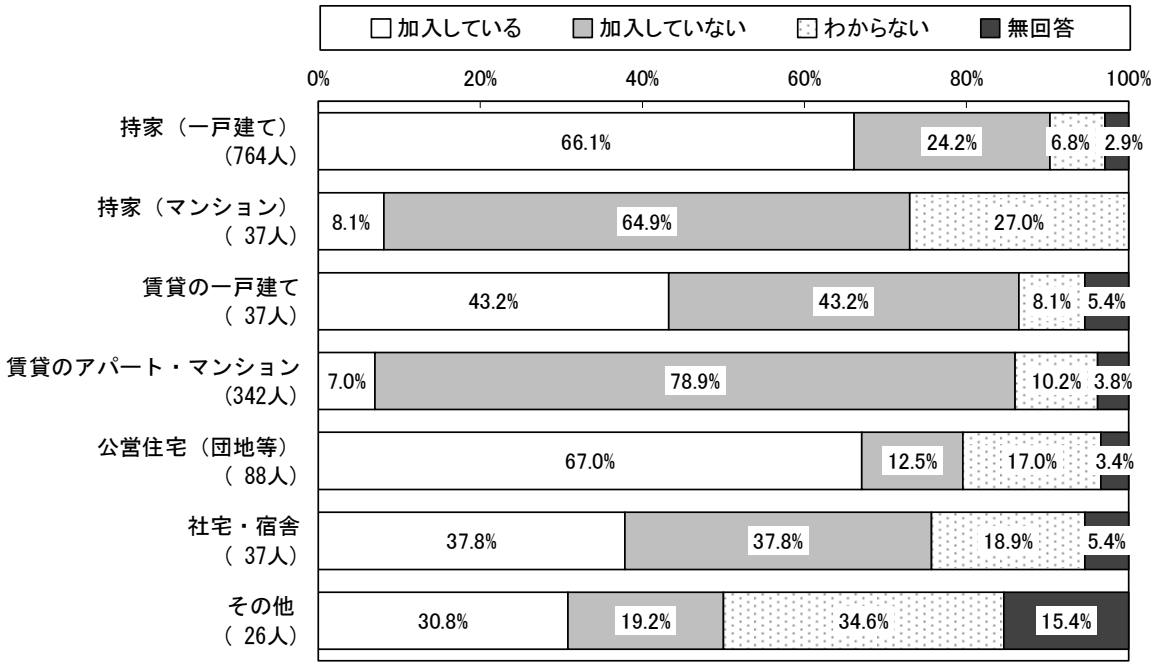

地区別にみると、「加入している」は「三和地区」が 76.4%で最も高く、そのほかの地区では 40%台となっています。

自治会への加入状況（地区別）



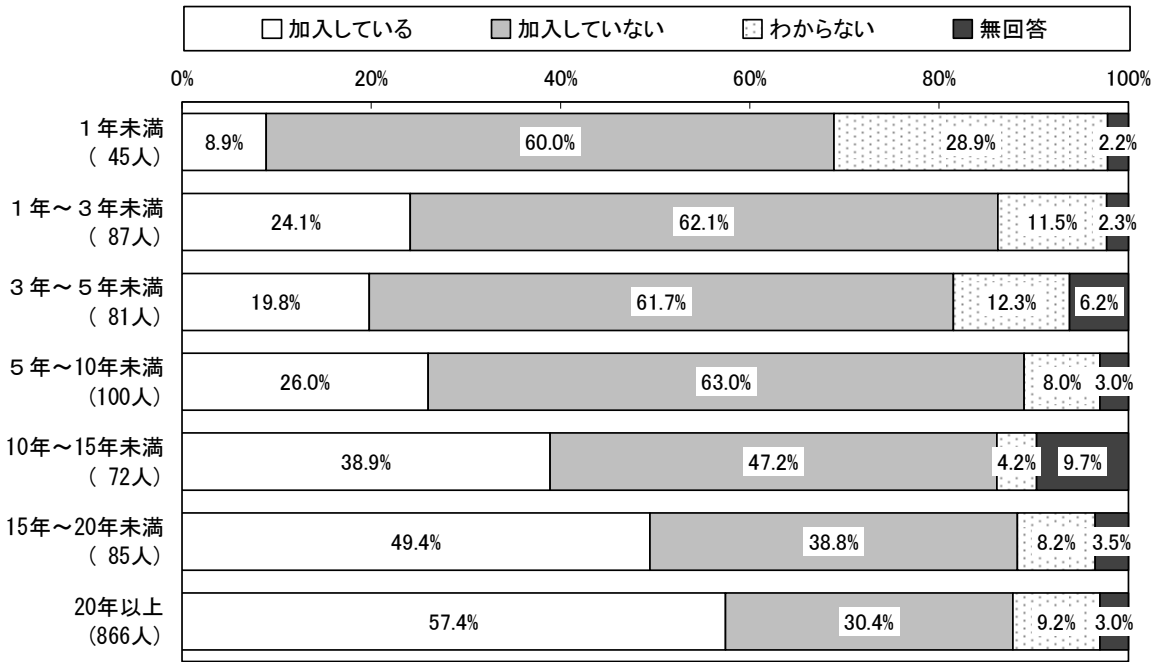
住宅の形態別にみると、「加入している」は「公営住宅(団地等)」が 67.0%で最も高く、次いで、「持家(一戸建て)」の 66.1%で高くなっています。反対に、「賃貸のアパート・マンション」では 7.0%であり、非常に低い状況です。

自治会への加入状況（住宅の形態別）



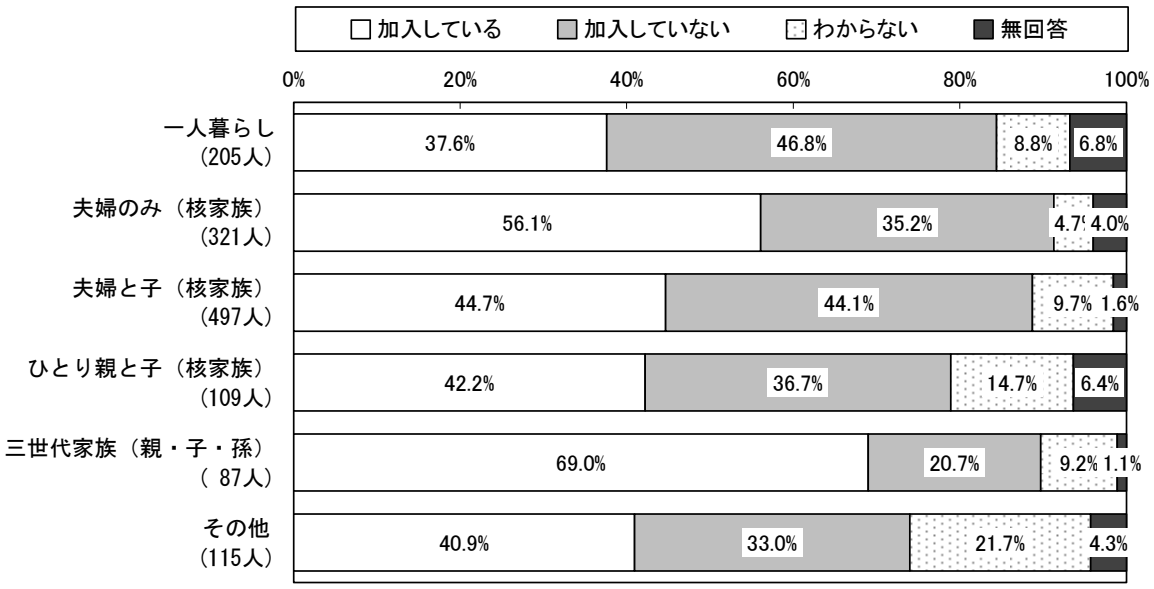

居住年数別にみると、「加入している」は居住年数が長くなるほど加入率があがる傾向にあります。居住年数「１年未満」では 8.9%で低く、反対に「20 年以上」は 57.4%と高くなっています。

自治会への加入状況（居住年数別）



家族構成別にみると、「加入している」は「三世代家族(親・子・孫)」が 69.0%、「夫婦のみ(核家族)」が 56.1%と高く、「一人暮らし」が 37.6%と低くなっています。

自治会への加入状況（家族構成別）



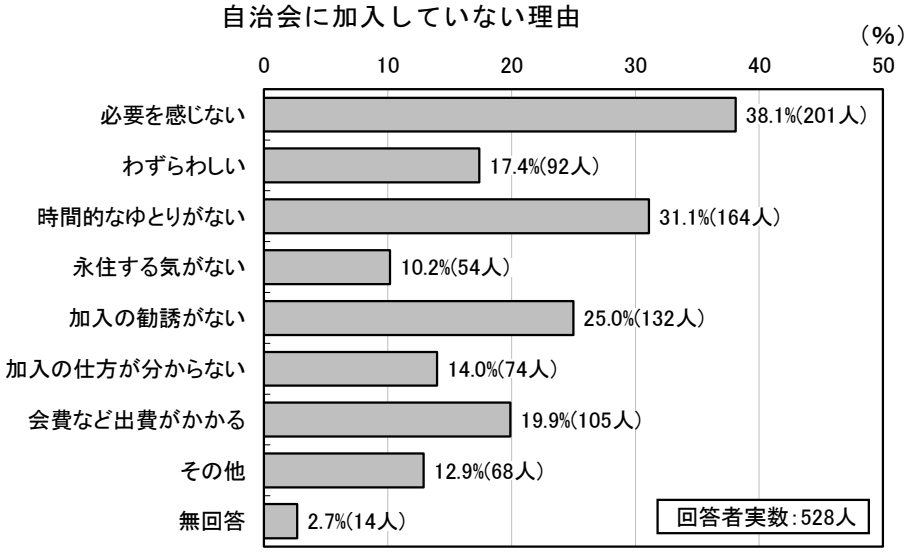
## (4-1)自治会に加入していない理由（複数回答）

問13-1：≪問13で「②加入していない」と回答した方に伺います。≫
自治会に加入していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

自治会に加入していない理由は、「必要を感じない」が 38.1％で最も高く、さらに家族構成別でみると、「ひとり親と子(核家族)」が 45.0％を占めています。

次に「時間的なゆとりがないから」が 31.1％で最も高く、家族構成別でみると「ひとり親と子(核家族)」が 45.0％を占めています。

そのほか、「加入の勧誘がない」が 25.0％、「会費など出費がかかる」が 19.9％あります。




自治会に加入していない理由（家族構成別）

| | 回答者実数 | 必要を感じない | わずらわしい | 時間的なゆとりがない | 永住する気がない | 加入の勧誘がない | 加入の仕方が分からない | 会費など出費がかかる | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一人暮らし | 96 人 | 39.6%<br>(38 人) | 18.8%<br>(18 人) | 26.0%<br>(25 人) | 10.4%<br>(10 人) | 19.8%<br>(19 人) | 17.7%<br>(17 人) | 21.9%<br>(21 人) | 7.3%<br>( 7 人) | 2.1%<br>( 2 人) |
| 夫婦のみ（核家族） | 113 人 | 41.6%<br>(47 人) | 18.6%<br>(21 人) | 23.9%<br>(27 人) | 6.2%<br>( 7 人) | 25.7%<br>(29 人) | 14.2%<br>(16 人) | 17.7%<br>(20 人) | 17.7%<br>(20 人) | 4.4%<br>( 5 人) |
| 夫婦と子（核家族） | 219 人 | 32.9%<br>(72 人) | 14.2%<br>(31 人) | 32.4%<br>(71 人) | 12.8%<br>(28 人) | 29.2%<br>(64 人) | 13.2%<br>(29 人) | 19.2%<br>(42 人) | 12.8%<br>(28 人) | 3.2%<br>( 7 人) |
| ひとり親と子（核家族） | 40 人 | 45.0%<br>(18 人) | 27.5%<br>(11 人) | 45.0%<br>(18 人) | 10.0%<br>( 4 人) | 17.5%<br>( 7 人) | 12.5%<br>( 5 人) | 30.0%<br>(12 人) | 10.0%<br>( 4 人) | 0.0%<br>( 0 人) |
| 三世代家族（親･子･孫） | 18 人 | 44.4%<br>( 8 人) | 27.8%<br>( 5 人) | 33.3%<br>( 6 人) | 5.6%<br>( 1 人) | 27.8%<br>( 5 人) | 5.6%<br>( 1 人) | 11.1%<br>( 2 人) | 22.2%<br>( 4 人) | 0.0%<br>( 0 人) |
| その他 | 38 人 | 39.5%<br>(15 人) | 13.2%<br>( 5 人) | 44.7%<br>(17 人) | 7.9%<br>( 3 人) | 21.1%<br>( 8 人) | 15.8%<br>( 6 人) | 21.1%<br>( 8 人) | 13.2%<br>( 5 人) | 0.0%<br>( 0 人) |

年代別に見ると、「必要を感じない」は「70 代」と「80 代以上」がともに 45.0%と高くなっています。

「時間的なゆとりがないから」は「50 代」が 41.9%で最も高く、60 代以降で割合は低くなる傾向にあります。

そのほか、「加入の勧誘がない」は「20 代」と「30 代」が３割を占めています。

**自治会に加入していない理由（年代別）**

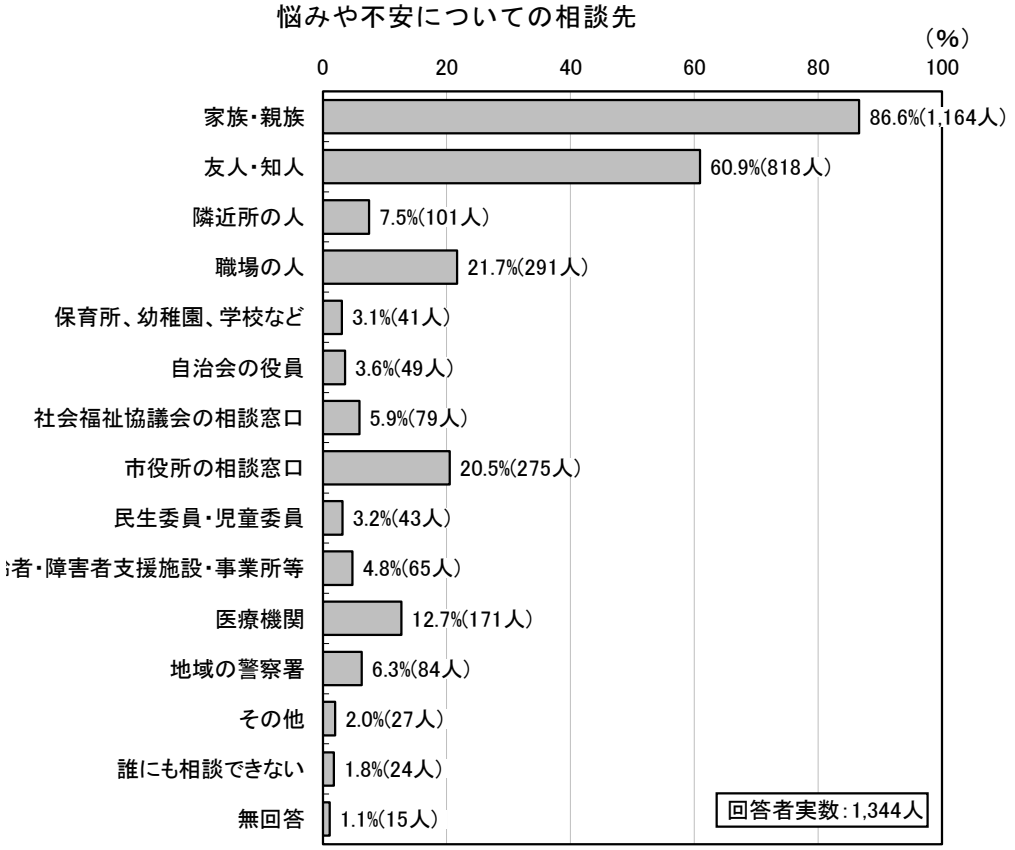
| | 回答者実数 | 必要を感じない | わずらわしい | 時間的なゆとりがない | 永住する気がない | 加入の勧誘がない | 加入の仕方が分からない | 会費など出費がかかる | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 代 | 56 人 | 42.9%<br>(24 人) | 10.7%<br>( 6 人) | 28.6%<br>(16 人) | 17.9%<br>(10 人) | 33.9%<br>(19 人) | 16.1%<br>( 9 人) | 10.7%<br>( 6 人) | 3.6%<br>( 2 人) | 5.4%<br>( 3 人) |
| 30 代 | 105 人 | 44.8%<br>(47 人) | 14.3%<br>(15 人) | 36.2%<br>(38 人) | 14.3%<br>(15 人) | 31.4%<br>(33 人) | 21.9%<br>(23 人) | 24.8%<br>(26 人) | 8.6%<br>( 9 人) | 1.0%<br>( 1 人) |
| 40 代 | 100 人 | 29.0%<br>(29 人) | 19.0%<br>(19 人) | 36.0%<br>(36 人) | 11.0%<br>(11 人) | 23.0%<br>(23 人) | 12.0%<br>(12 人) | 20.0%<br>(20 人) | 18.0%<br>(18 人) | 2.0%<br>( 2 人) |
| 50 代 | 93 人 | 31.2%<br>(29 人) | 21.5%<br>(20 人) | 41.9%<br>(39 人) | 6.5%<br>( 6 人) | 21.5%<br>(20 人) | 9.7%<br>( 9 人) | 25.8%<br>(24 人) | 14.0%<br>(13 人) | 3.2%<br>( 3 人) |
| 60 代 | 85 人 | 40.0%<br>(34 人) | 22.4%<br>(19 人) | 28.2%<br>(24 人) | 7.1%<br>( 6 人) | 27.1%<br>(23 人) | 11.8%<br>(10 人) | 21.2%<br>(18 人) | 11.8%<br>(10 人) | 0.0%<br>( 0 人) |
| 70 代 | 60 人 | 45.0%<br>(27 人) | 16.7%<br>(10 人) | 10.0%<br>( 6 人) | 8.3%<br>( 5 人) | 16.7%<br>(10 人) | 11.7%<br>( 7 人) | 11.7%<br>( 7 人) | 18.3%<br>(11 人) | 5.0%<br>( 3 人) |
| 80 代以上 | 20 人 | 45.0%<br>( 9 人) | 15.0%<br>( 3 人) | 15.0%<br>( 3 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 15.0%<br>( 3 人) | 20.0%<br>( 4 人) | 15.0%<br>( 3 人) | 20.0%<br>( 4 人) | 0.0%<br>( 0 人) |

## (5)悩みや不安についての相談先（複数回答）

問14：あなたは、悩んだり不安になった時など、誰に(どこに)相談したいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

悩みや不安についての相談先について聞いたところ、「家族・親族」が圧倒的に高く 86.6%、次に「友人・知人」が 60.9%で、大多数の人は自身の身近な人に相談したいと思っています。続いて「職場の人」が 21.7%、「市役所の相談窓口」が 20.5%となっています。

なお、「誰にも相談できない」と答えた方も少ないですがいます。




## (5-1)誰にも相談できない理由（複数回答）

問14-1：≪問14で「⑭誰にも相談できない」と回答した方に伺います。≫相談しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

前項で「誰にも相談できない」と答えた方は 24 人おり、その理由については「他人に頼らず、自分自身で解決したい」が 9 人、「相談先がわからない」が 7 人、「信頼できる人がいない」が 6 人で比較的多いです。

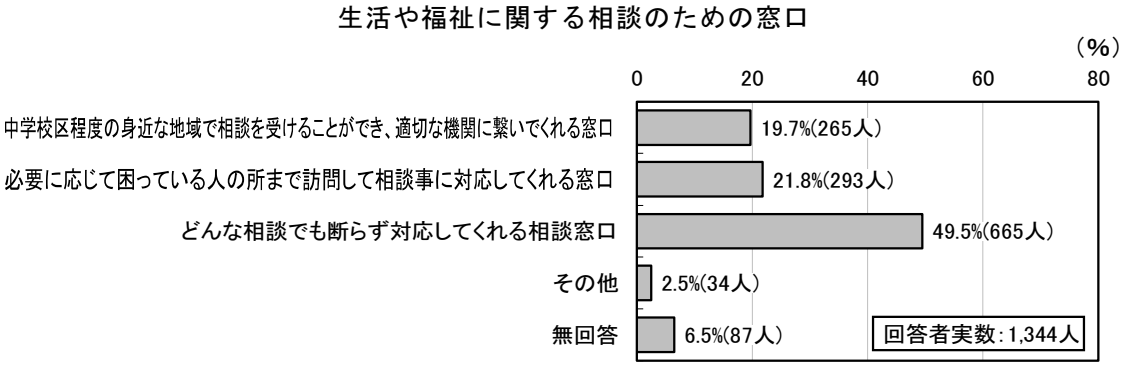
誰にも相談できない理由

| | % | 人数 |
|---|---|---|
| 他人に頼らず、自分自身で解決したい | 37.5% | ( 9 人) |
| 家族、親族が身近にいない | 8.3% | ( 2 人) |
| 信頼できる人がいない | 25.0% | ( 6 人) |
| 他人と関わりを持ちたくない | 8.3% | ( 2 人) |
| 地域の方には相談しづらい | 8.3% | ( 2 人) |
| 相談先がわからない | 29.2% | ( 7 人) |
| その他 | 8.3% | ( 2 人) |
| 無回答 | 0.0% | ( 0 人) |

## (6)生活や福祉に関する相談のための窓口

問15：生活や福祉に関する相談のために、どんな窓口があるといいと思いますか。（１つに○）

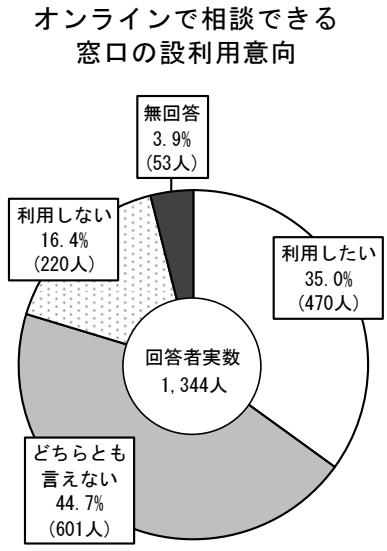
生活や福祉に関する相談のためにどんな窓口があるといいか聞いたところ、「どんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口」が最も高く 49.5%、次いで「必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口」が 21.8%、「中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口」が 19.7%となっています。




## (6-1)オンラインで相談できる窓口の利用意向

問15-1：オンラインで相談できる窓口を市が設置したら利用したいと思いますか。（１つに○）

オンラインで相談できる窓口の利用意向について聞いたところ、「どちらとも言えない」が 44.7%と最も高くなっていますが、「利用したい」が 35.0%となっており、３割半ばが利用したいと答えています。

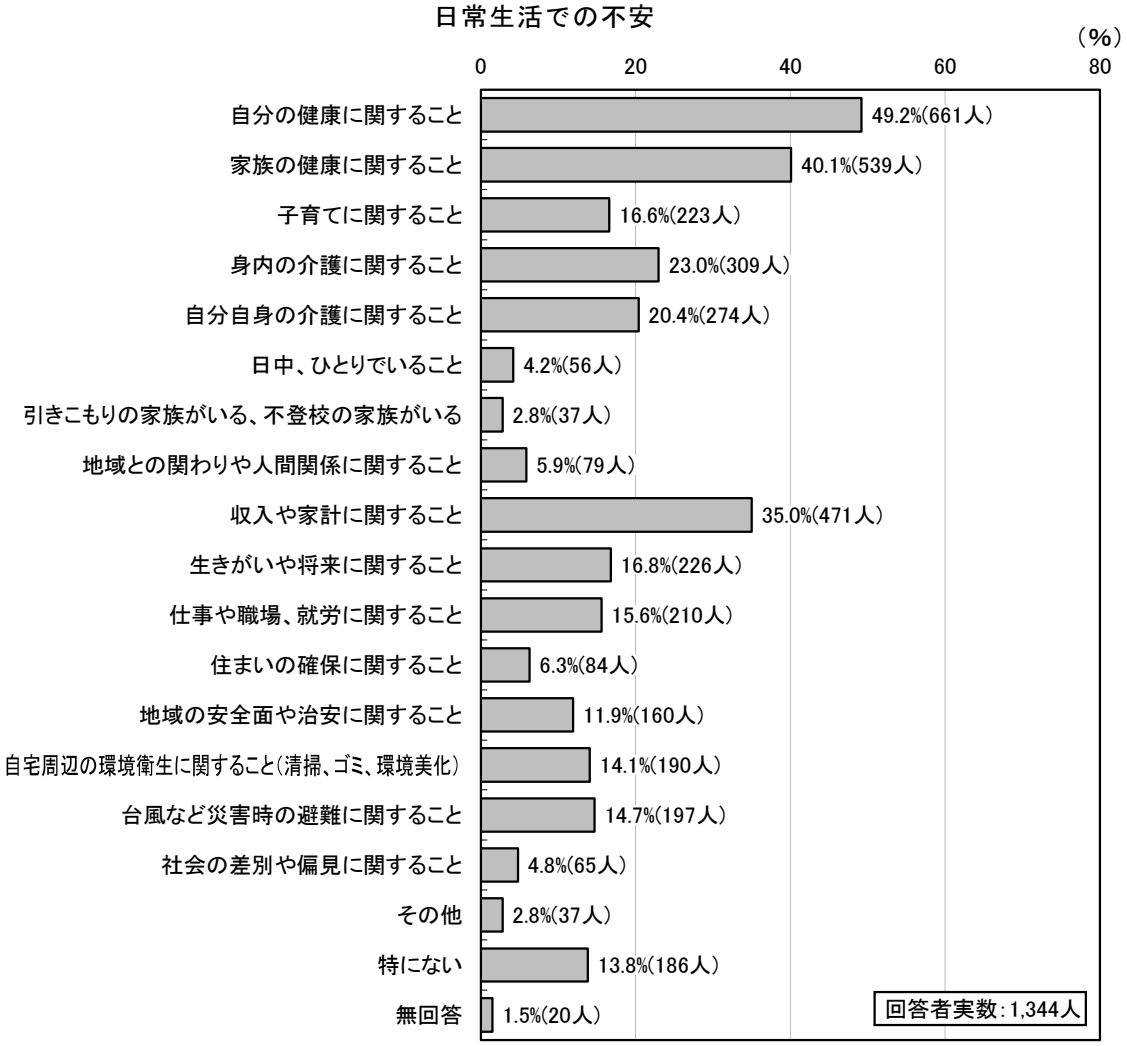


## (7) 日常生活での不安（複数回答）

問16：あなたは日常生活の中でどのようなことに不安を感じたり、困っていますか。（あてはまる番号すべてに○）

日常生活での不安を聞いたところ、「自分の健康に関すること」が最も高く 49.2%、次いで「家族の健康に関すること」が 40.1%で、健康に関する悩みや不安を感じている方が多い状況です。

次いで、「収入や家計に関すること」が 35.0%、「身内の介護に関すること」が 23.0%%、「自分自身の介護に関すること」が 20.4%となっています。



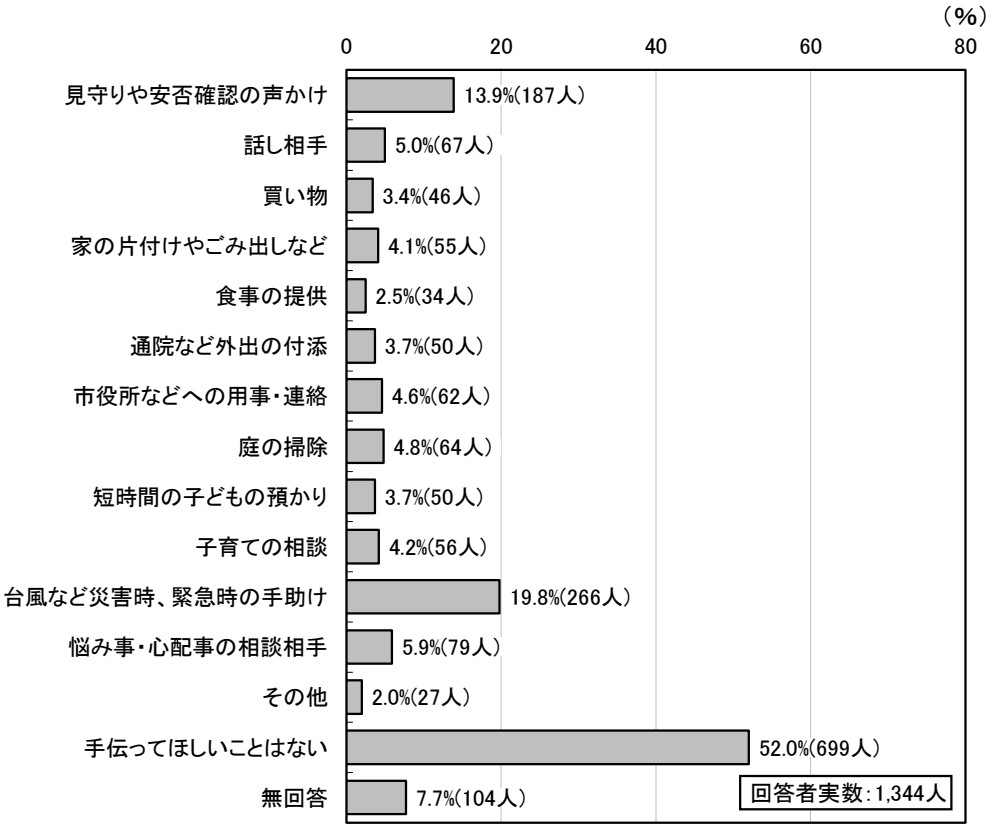
## (8) 日常生活の中で手伝ってほしいと思っていること（複数回答）

問17：あなたは、地域の方に日常生活のなかで「手伝ってほしい」と思っていることがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

地域の方に日常生活の中で手伝ってほしいと思っていることについては、「手伝ってほしいことはない」が 52.0％と約半数を占めています。

具体的に手伝ってほしいこととしては、「台風など災害時、緊急時の手助け」の 19.8％、「見守りや安否確認の声かけ」の 13.9％が比較的高く、そのほかは 10％未満にとどまっています。

日常生活の中で手伝ってほしいと思っていること



同居家族別にみると「台風など災害時、緊急時の手助け」は「介護を必要とする方」、「障がいのある方」のいる世帯が 30%前後と高くなっています。「見守りや安否確認の声かけ」は、「就学前児童」、「介護を必要とする方」のいる世帯が 20%半ばと高くなっています。

日常生活の中で手伝ってほしいと思っていること（同居家族別）

| | 回答者実数 | 見守りや安否確認の声かけ | 話し相手 | 買い物 | 家の片付けやごみ出しなど | 食事の提供 | 通院など外出の付添 | 市役所などへの用事・連絡 | 庭の掃除 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 25.3%<br>(40 人) | 5.1%<br>( 8 人) | 1.9%<br>( 3 人) | 1.9%<br>( 3 人) | 2.5%<br>( 4 人) | 1.9%<br>( 3 人) | 3.8%<br>( 6 人) | 2.5%<br>( 4 人) |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 14.9%<br>(62 人) | 4.3%<br>(18 人) | 2.9%<br>(12 人) | 4.1%<br>(17 人) | 2.2%<br>( 9 人) | 3.4%<br>(14 人) | 3.6%<br>(15 人) | 5.3%<br>(22 人) |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 24.5%<br>(24 人) | 7.1%<br>( 7 人) | 6.1%<br>( 6 人) | 6.1%<br>( 6 人) | 5.1%<br>( 5 人) | 11.2%<br>(11 人) | 11.2%<br>(11 人) | 14.3%<br>(14 人) |
| 障がいのある方 | 137 人 | 20.4%<br>(28 人) | 10.9%<br>(15 人) | 8.0%<br>(11 人) | 7.3%<br>(10 人) | 8.0%<br>(11 人) | 14.6%<br>(20 人) | 11.7%<br>(16 人) | 6.6%<br>( 9 人) |
| 学生（小学生） | 163 人 | 20.2%<br>(33 人) | 4.3%<br>( 7 人) | 1.8%<br>( 3 人) | 3.1%<br>( 5 人) | 3.1%<br>( 5 人) | 1.2%<br>( 2 人) | 1.2%<br>( 2 人) | 2.5%<br>( 4 人) |
| 学生（中学生） | 90 人 | 16.7%<br>(15 人) | 1.1%<br>( 1 人) | 1.1%<br>( 1 人) | 3.3%<br>( 3 人) | 1.1%<br>( 1 人) | 2.2%<br>( 2 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 4.4%<br>( 4 人) |
| 学生（高校生以上） | 153 人 | 12.4%<br>(19 人) | 3.3%<br>( 5 人) | 2.6%<br>( 4 人) | 3.9%<br>( 6 人) | 2.0%<br>( 3 人) | 2.0%<br>( 3 人) | 2.0%<br>( 3 人) | 4.6%<br>( 7 人) |
| いずれもいない | 441 人 | 9.1%<br>(40 人) | 5.0%<br>(22 人) | 3.2%<br>(14 人) | 3.9%<br>(17 人) | 1.8%<br>( 8 人) | 2.5%<br>(11 人) | 3.9%<br>(17 人) | 4.3%<br>(19 人) |

| | 回答者実数 | 短時間の子どもの預かり | 子育ての相談 | 台風など災害時、緊急時の手助け | 悩み事・心配事の相談相手 | その他 | 手伝ってほしいことはない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 22.2%<br>(35 人) | 19.0%<br>(30 人) | 25.3%<br>(40 人) | 5.7%<br>( 9 人) | 2.5%<br>( 4 人) | 39.9%<br>(63 人) | 1.9%<br>( 3 人) |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 0.7%<br>( 3 人) | 1.0%<br>( 4 人) | 21.4%<br>(89 人) | 5.8%<br>(24 人) | 1.9%<br>( 8 人) | 52.9%<br>(220 人) | 7.2%<br>(30 人) |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 1.0%<br>( 1 人) | 1.0%<br>( 1 人) | 32.7%<br>(32 人) | 7.1%<br>( 7 人) | 4.1%<br>( 4 人) | 28.6%<br>(28 人) | 10.2%<br>(10 人) |
| 障がいのある方 | 137 人 | 3.6%<br>( 5 人) | 5.8%<br>( 8 人) | 27.7%<br>(38 人) | 10.2%<br>(14 人) | 4.4%<br>( 6 人) | 38.7%<br>(53 人) | 7.3%<br>(10 人) |
| 学生（小学生） | 163 人 | 10.4%<br>(17 人) | 14.1%<br>(23 人) | 25.2%<br>(41 人) | 7.4%<br>(12 人) | 1.8%<br>( 3 人) | 47.2%<br>(77 人) | 1.8%<br>( 3 人) |
| 学生（中学生） | 90 人 | 2.2%<br>( 2 人) | 7.8%<br>( 7 人) | 22.2%<br>(20 人) | 6.7%<br>( 6 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 57.8%<br>(52 人) | 4.4%<br>( 4 人) |
| 学生（高校生以上） | 153 人 | 2.0%<br>( 3 人) | 2.0%<br>( 3 人) | 19.6%<br>(30 人) | 5.2%<br>( 8 人) | 2.0%<br>( 3 人) | 54.2%<br>(83 人) | 4.6%<br>( 7 人) |
| いずれもいない | 441 人 | 1.1%<br>( 5 人) | 1.4%<br>( 6 人) | 15.4%<br>(68 人) | 4.8%<br>(21 人) | 1.6%<br>( 7 人) | 61.5%<br>(271 人) | 7.3%<br>(32 人) |

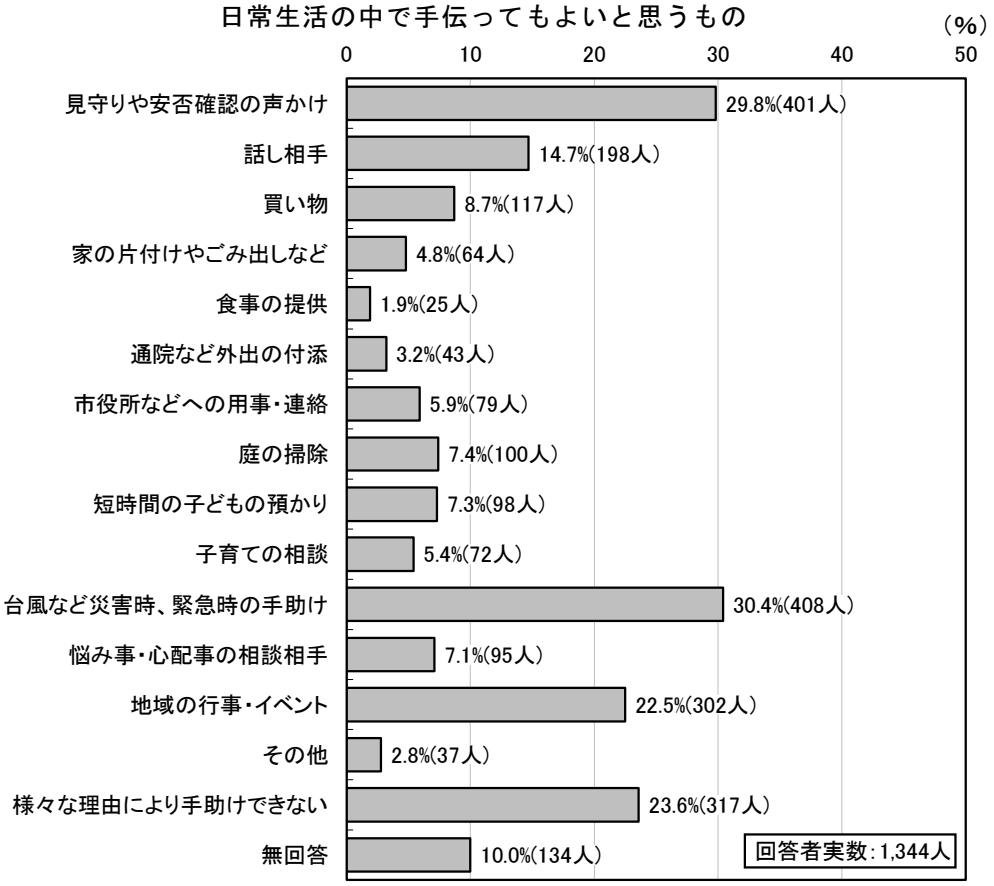
## (9) 日常生活の中で手伝ってもよいと思うもの（複数回答）

問18：あなたは、地域の方へ日常生活のなかで「手伝ってもよい」と思うものは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

地域の方へ日常生活の中で手伝ってもよいと思うものについては、「台風など災害時、緊急時の手助け」が 30.4%、「見守りや安否確認の声かけ」が 29.8%で、この２つが特に高いです。

次いで、「地域の行事・イベント」が 22.5%、「話し相手」が 14.7%となっています。

一方、「様々な理由により手助けできない」が 23.6%あります。



同居家族別にみると、「台風など災害時、緊急時の手助け」は「学生(中学生)」のいる世帯が40.0%と最も高くなっています。

「見守りや安否確認の声かけ」は「学生(小学生)」のいる世帯が 42.9%と最も高く、次いで「就学前児童」のいる世帯が41.8%となっています。

また、「短時間の子どもの預かり」、「子育ての相談」も「就学前児童」及び「学生(小学生)」のいる世帯が高くなっています。「就学前児童」及び「学生(小学生)」のいる世帯では、自分が手伝ってほしいことは、同じ「就学前児童」及び「学生(小学生)」のいる世帯への手伝いもしたいと考える人が多い傾向にあります。

日常生活の中で手伝ってもよいと思うもの（同居家族別）

| | 回答者実数 | 見守りや安否確認の声かけ | 話し相手 | 買い物 | 家の片付けやごみ出しなど | 食事の提供 | 通院など外出の付添 | 市役所などへの用事・連絡 | 庭の掃除 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 41.8%<br>(66 人) | 13.9%<br>(22 人) | 9.5%<br>(15 人) | 4.4%<br>( 7 人) | 1.3%<br>( 2 人) | 3.2%<br>( 5 人) | 4.4%<br>( 7 人) | 3.8%<br>( 6 人) |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 29.8%<br>(124 人) | 14.2%<br>(59 人) | 8.7%<br>(36 人) | 4.3%<br>(18 人) | 1.9%<br>( 8 人) | 3.4%<br>(14 人) | 7.2%<br>(30 人) | 8.4%<br>(35 人) |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 22.4%<br>(22 人) | 13.3%<br>(13 人) | 7.1%<br>( 7 人) | 6.1%<br>( 6 人) | 2.0%<br>( 2 人) | 2.0%<br>( 2 人) | 5.1%<br>( 5 人) | 7.1%<br>( 7 人) |
| 障がいのある方 | 137 人 | 30.7%<br>(42 人) | 15.3%<br>(21 人) | 9.5%<br>(13 人) | 4.4%<br>( 6 人) | 2.9%<br>( 4 人) | 4.4%<br>( 6 人) | 6.6%<br>( 9 人) | 3.6%<br>( 5 人) |
| 学生(小学生) | 163 人 | 42.9%<br>(70 人) | 17.2%<br>(28 人) | 10.4%<br>(17 人) | 5.5%<br>( 9 人) | 1.8%<br>( 3 人) | 4.3%<br>( 7 人) | 4.3%<br>( 7 人) | 8.0%<br>(13 人) |
| 学生(中学生) | 90 人 | 37.8%<br>(34 人) | 10.0%<br>( 9 人) | 11.1%<br>(10 人) | 4.4%<br>( 4 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 2.2%<br>( 2 人) | 2.2%<br>( 2 人) | 11.1%<br>(10 人) |
| 学生(高校生以上) | 153 人 | 30.7%<br>(47 人) | 13.1%<br>(20 人) | 11.1%<br>(17 人) | 6.5%<br>(10 人) | 2.0%<br>( 3 人) | 2.0%<br>( 3 人) | 4.6%<br>( 7 人) | 7.2%<br>(11 人) |
| いずれもいない | 441 人 | 27.2%<br>(120 人) | 15.6%<br>(69 人) | 7.5%<br>(33 人) | 5.2%<br>(23 人) | 1.6%<br>( 7 人) | 2.7%<br>(12 人) | 5.7%<br>(25 人) | 8.4%<br>(37 人) |

| | 回答者実数 | 短時間の子どもの預かり | 子育ての相談 | 台風など災害時、緊急時の手助け | 悩み事・心配事の相談相手 | 地域の行事・イベント | その他 | 様々な理由により手助けできない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 14.6%<br>(23 人) | 18.4%<br>(29 人) | 37.3%<br>(59 人) | 13.9%<br>(22 人) | 31.6%<br>(50 人) | 1.9%<br>( 3 人) | 21.5%<br>(34 人) | 3.8%<br>( 6 人) |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 4.3%<br>(18 人) | 1.9%<br>( 8 人) | 27.9%<br>(116 人) | 4.6%<br>(19 人) | 20.7%<br>(86 人) | 3.1%<br>(13 人) | 25.7%<br>(107 人) | 9.4%<br>(39 人) |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 2.0%<br>( 2 人) | 1.0%<br>( 1 人) | 16.3%<br>(16 人) | 4.1%<br>( 4 人) | 13.3%<br>(13 人) | 6.1%<br>( 6 人) | 37.8%<br>(37 人) | 12.2%<br>(12 人) |
| 障がいのある方 | 137 人 | 10.9%<br>(15 人) | 5.1%<br>( 7 人) | 27.0%<br>(37 人) | 10.2%<br>(14 人) | 23.4%<br>(32 人) | 3.6%<br>( 5 人) | 29.9%<br>(41 人) | 8.8%<br>(12 人) |
| 学生(小学生) | 163 人 | 15.3%<br>(25 人) | 14.7%<br>(24 人) | 38.0%<br>(62 人) | 11.0%<br>(18 人) | 33.7%<br>(55 人) | 1.8%<br>( 3 人) | 21.5%<br>(35 人) | 2.5%<br>( 4 人) |
| 学生(中学生) | 90 人 | 11.1%<br>(10 人) | 6.7%<br>( 6 人) | 40.0%<br>(36 人) | 4.4%<br>( 4 人) | 27.8%<br>(25 人) | 2.2%<br>( 2 人) | 25.6%<br>(23 人) | 3.3%<br>( 3 人) |
| 学生(高校生以上) | 153 人 | 6.5%<br>(10 人) | 7.2%<br>(11 人) | 30.7%<br>(47 人) | 4.6%<br>( 7 人) | 26.1%<br>(40 人) | 3.9%<br>( 6 人) | 28.8%<br>(44 人) | 5.2%<br>( 8 人) |
| いずれもいない | 441 人 | 7.5%<br>(33 人) | 3.6%<br>(16 人) | 32.4%<br>(143 人) | 8.2%<br>(36 人) | 18.1%<br>(80 人) | 2.5%<br>(11 人) | 22.0%<br>(97 人) | 10.7%<br>(47 人) |

## ４．地域活動やボランティア活動についての考え方

### (1) 地域活動やボランティア活動への参加状況

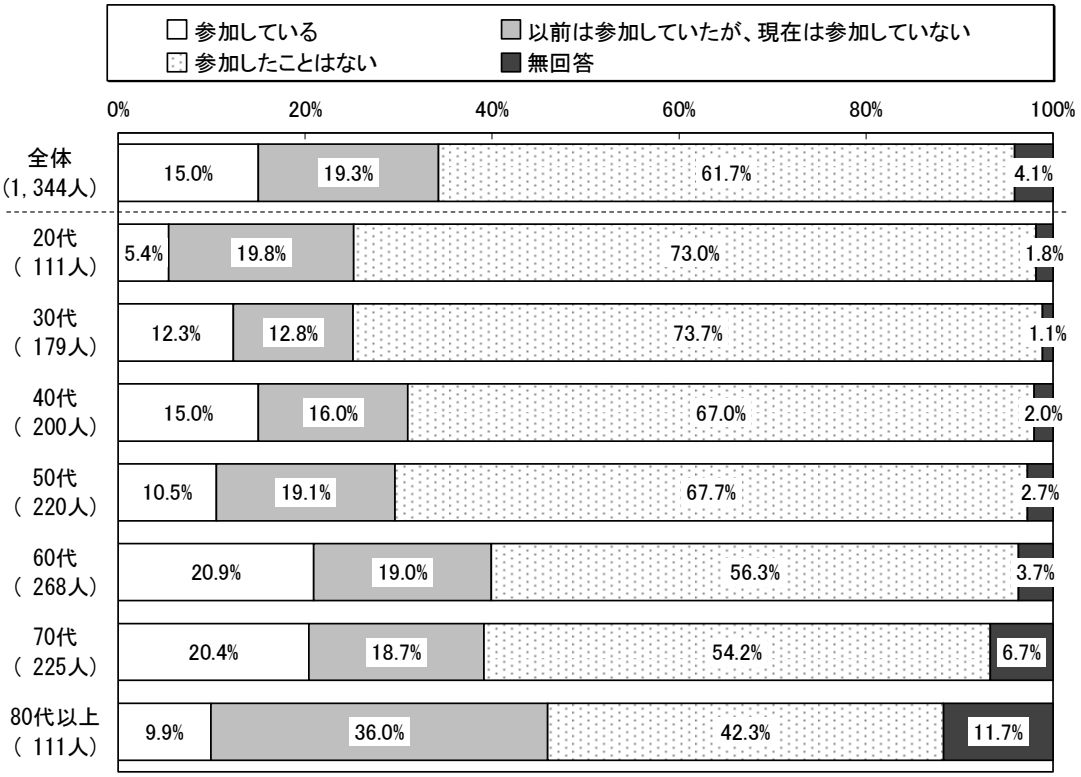
問19：あなたは現在、地域活動やボランティア活動に参加していますか。（１つに○）

地域活動やボランティア活動への参加については、「参加したことはない」が 61.7％で６割を占めています。「以前は参加していたが、現在は参加していない」は 19.3％、「参加している」は 15.0％となっています。

年代別にみると、「参加したことはない」と「以前は参加していたが、現在は参加していない」を合わせた“参加していない”割合は年代があがるとともに割合は低くなる傾向にあり、「20 代」が 93.6％であるのに対し、60 代以上では 70％台となっています。

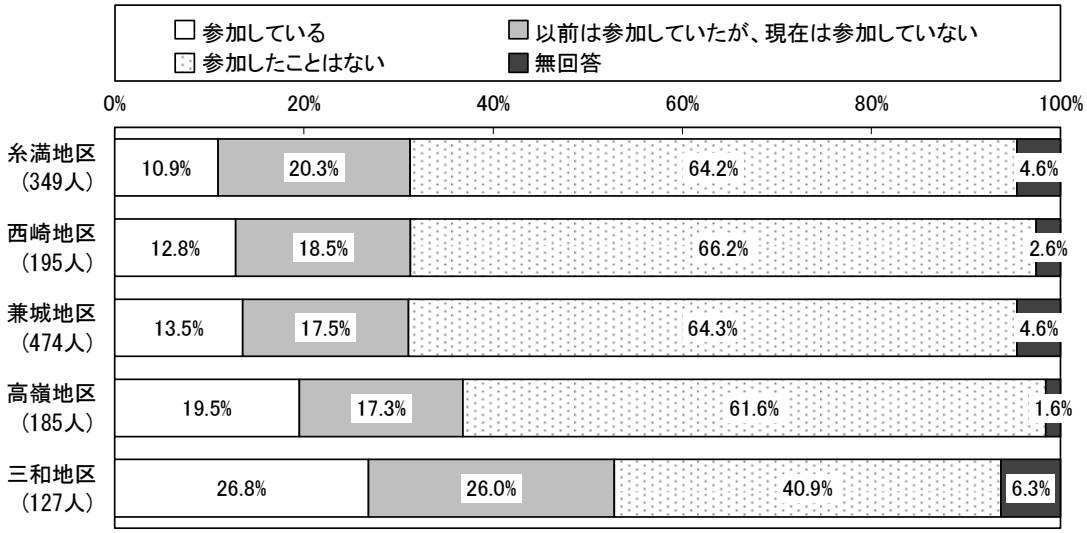
「参加している」は、「20 代」が 5.4％にとどまっているのに対し、「60 代」、「70 代」は 20％台と高くなっています。「80 代以上」では他の年代に比べ「以前は参加していたが、現在は参加していない」が高く 36.0％となっています。

地域活動やボランティア活動への参加状況（全体・年代別）



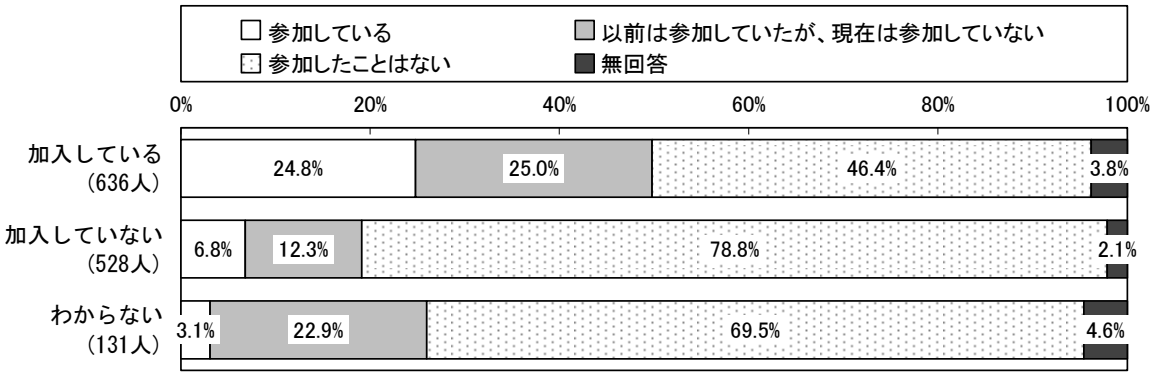
地区別にみると、「参加している」は「三和地区」が 26.8%を占め、その他の地域は 10%台となっています。

地域活動やボランティア活動への参加状況（地区別）




自治会の加入状況別に見ると、「参加している」は自治会に「加入している」で 24.8%あるのに対し、「加入していない」では 6.8%にとどまっています。

地域活動やボランティア活動への参加状況（自治会加入別）

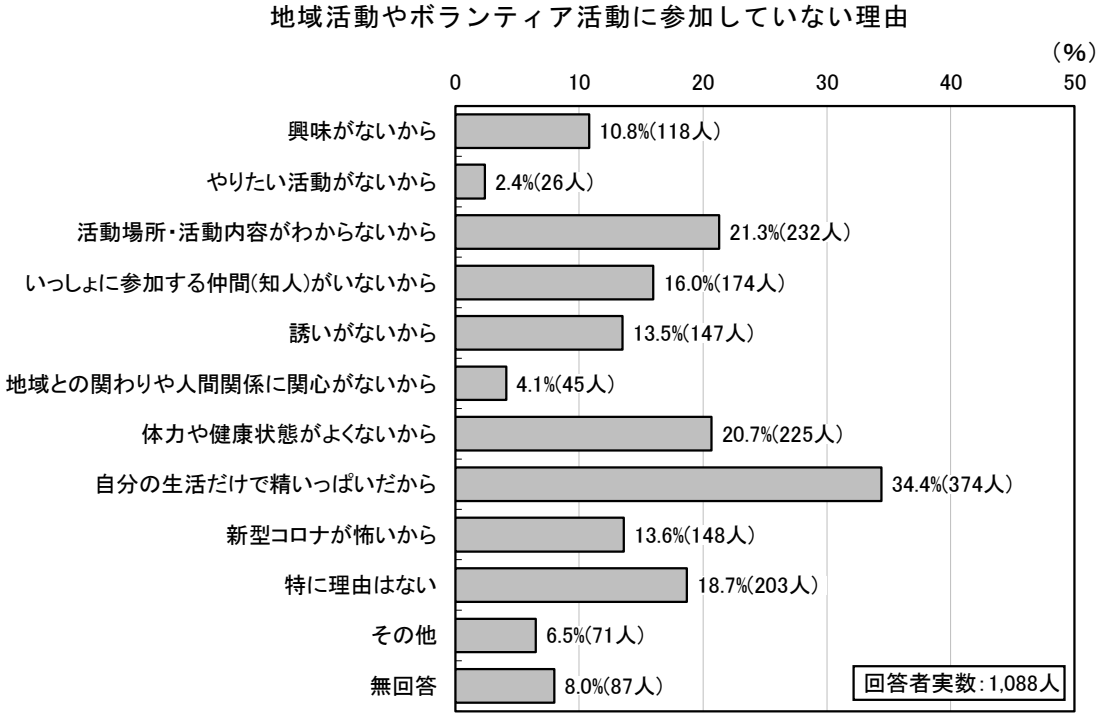


## (1-1)地域活動やボランティア活動に参加していない理由（複数回答）

問19-1：≪問19で「②以前は参加していたが、現在は参加していない」、「③参加したことはない」と回答した方に伺います。≫参加していない主な理由は何ですか。（あなたの考えに最も近い番号３つまで○）

地域活動やボランティア活動に参加していない理由としては、「自分の生活だけで精いっぱいだから」の 34.4%、「活動場所・活動内容がわからないから」の 21.3%、「体力や健康状態がよくないから」の 20.7%が高くなっています。

そのほか、「いっしょに参加する仲間(知人)がいないから」が 16.0%、「誘いがないから」という回答がそれぞれ 13.5%と一定程度あります。




自治会の加入の状況別にみると、「活動場所・活動内容がわからないから」は、「加入していない」が 23.9%であるのに対し、「加入している」では 16.7%と大きな差があります。また、「誘いがないから」も「加入していない」の割合が高くなっています。

地域活動やボランティア活動に参加していない理由（自治会加入別）

| | 回答者実数 | 興味がないから | やりたい活動がないから | 活動場所・活動内容がわからないから | いっしょに参加する仲間(知人)がいないから | 誘いがないから | 地域との関わりや人間関係に関心がないから | 体力や健康状態がよくないから | 自分の生活だけで精いっぱいだから | 新型コロナが怖いから | 特に理由はない | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 加入している | 454 人 | 11.2% (51 人) | 2.6% (12 人) | 16.7% (76 人) | 15.9% (72 人) | 9.0% (41 人) | 3.5% (16 人) | 29.1% (132 人) | 33.9% (154 人) | 14.5% (66 人) | 18.1% (82 人) | 7.5% (34 人) | 6.6% (30 人) |
| 加入していない | 481 人 | 11.4% (55 人) | 2.5% (12 人) | 23.9% (115 人) | 15.4% (74 人) | 18.3% (88 人) | 5.4% (26 人) | 13.7% (66 人) | 35.6% (171 人) | 12.5% (60 人) | 19.8% (95 人) | 5.2% (25 人) | 8.9% (43 人) |
| わからない | 121 人 | 9.1% (11 人) | 0.8% ( 1 人) | 26.4% (32 人) | 18.2% (22 人) | 11.6% (14 人) | 1.7% ( 2 人) | 14.9% (18 人) | 30.6% (37 人) | 14.9% (18 人) | 16.5% (20 人) | 9.1% (11 人) | 9.9% (12 人) |

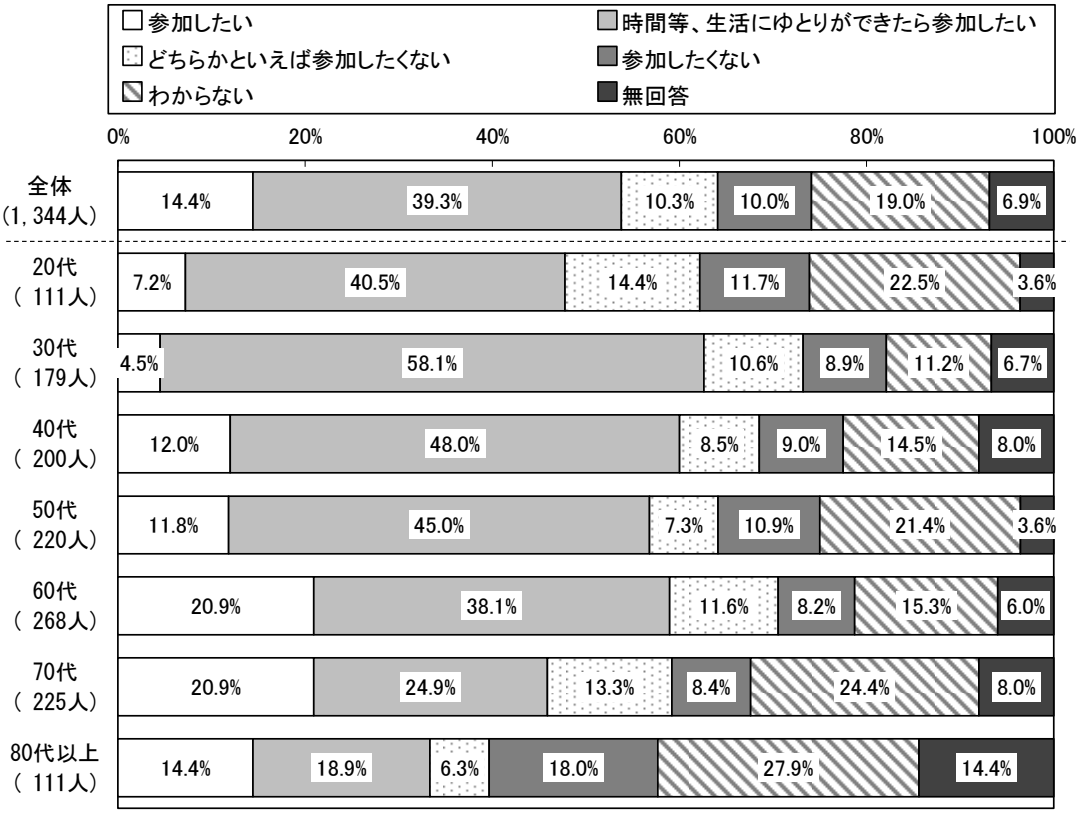
## (2)地域活動やボランティア活動への参加意向

問20：今後は(今後も)、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(１つに○)

地域活動やボランティア活動への参加意向については、「時間等、生活にゆとりができたら参加したい」が最も高く 39.3%で、参加したい割合は「参加したい」(14.4%)と合わせて 53.7%と、半数を超えます。

年代別にみると、「時間等、生活にゆとりができたら参加したい」は 50 代までの年代が 40～50%台と高いです。「参加したい」は「60 代」と「70 代」が最も高く 20.9%となっています。

地域活動やボランティア活動への参加意向（全体・年代別）



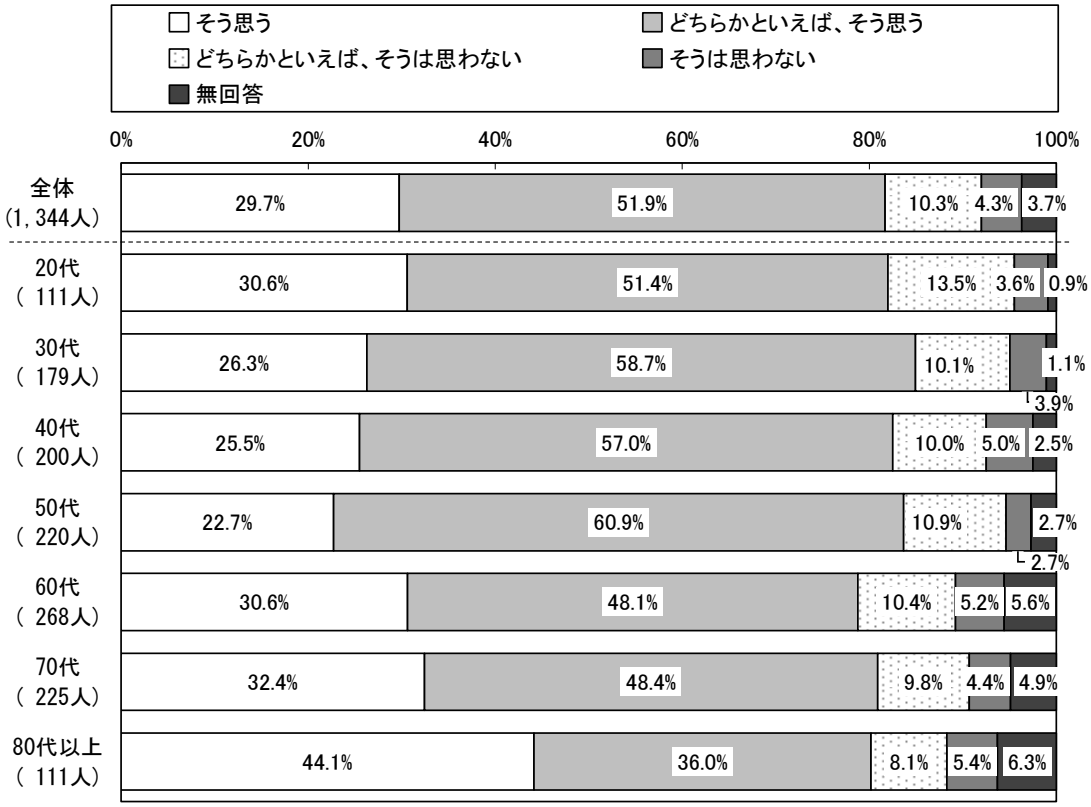
## (3)地域住民の支え合いの必要性

問21：あなたは、地域住民の支え合いが必要だと思いますか。（１つに○）

地域住民の支え合いが必要だと思うかについては、「どちらかといえば、そう思う」が 51.9%と最も高く、次に「そう思う」が 29.7%で、合わせると住民の相互協力の必要性を感じている人が 81.6%と大半を占めます。

年代別にみると、「どちらかといえば、そう思う」は「50 代」が 60.9%と最も高く、60 代以降年代が高いほど割合は低くなり、「80 代以上」では 36.0%となります。一方、「そう思う」は「50 代」が 22.7%と最も低く、60 代以降年代が高いほど割合も高くなり、「80 代以上」では 44.1%となっています。特に 60 代以上の高齢層で、地域住民の支え合いの必要性を認識する人が増えてくることがわかります。

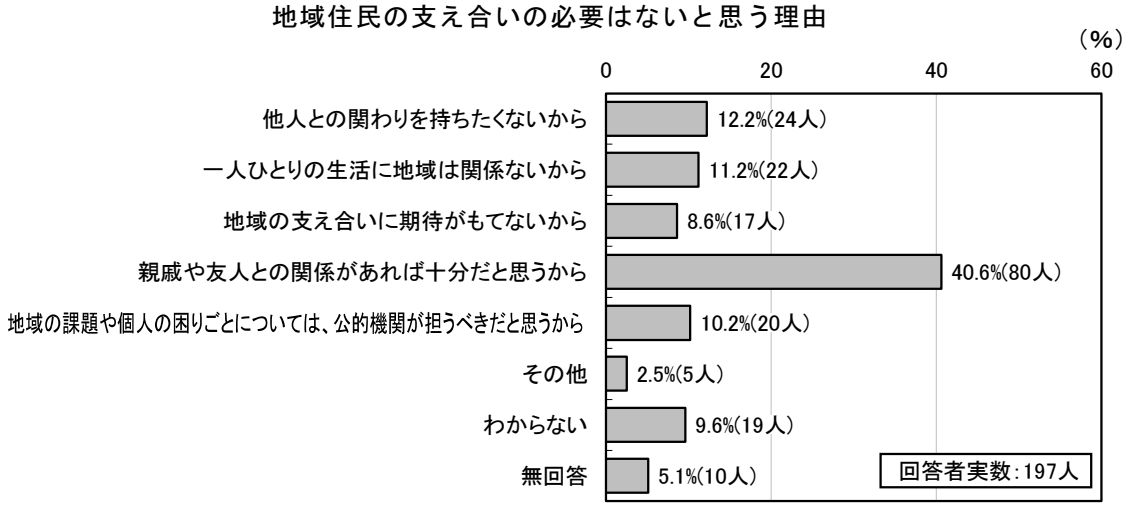
地域住民の支え合いの必要性（全体・年代別）



## (3-1)地域住民の支え合いの必要はないと思う理由

問21-1：≪問21で「③どちらかといえば、そうは思わない」、「④そうは思わない」と回答した方に伺います。≫その主な理由は何ですか。（１つに○）

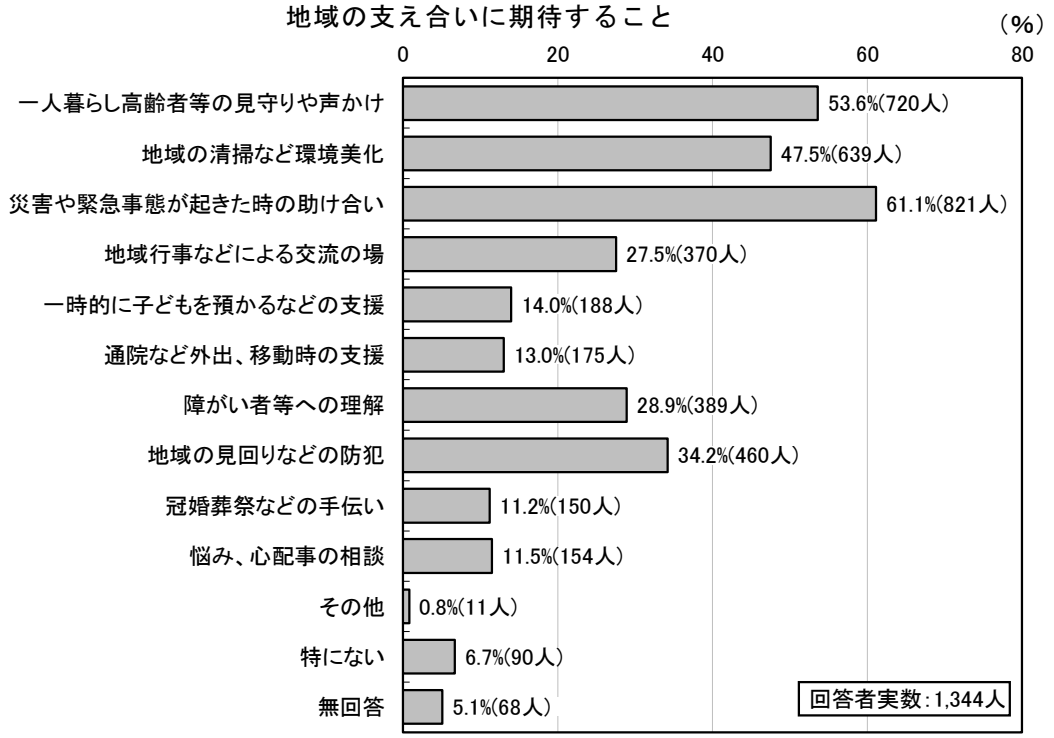
前項で、「どちらかといえば、そうは思わない」、「そうは思わない」と答えた人の、思わない主な理由としては、「親戚や友人との関係があれば十分だと思うから」が 40.6％と最も高くなっています。次いで「他人との関わりを持ちたくないから」が 12.2％、「一人ひとりの生活に地域は関係ないから」が 12.2％となっています。



## (4)地域の支え合いに期待すること（複数回答）

問22：あなたが、地域の支え合いに期待すること(必要に思うこと)は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

地域の支え合いに期待することについては、「災害や緊急事態が起きた時の助け合い」が61.1%と最も高く、次に「一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ」が53.6%となっています。そのほか「地域の清掃など環境美化」、「地域の見回りなどの防犯」、「障がい者等への理解」、「地域行事などによる交流の場」の割合が比較的高くなります。




年代別でみると、「地域の見回りなどの防犯」、「一時的に子どもを預かるなどの支援」は比較的若い世代で高く、年代が上がると割合が低くなっています。

地域の支え合いに期待すること（年代別）

| | 回答者実数 | 一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ | 地域の清掃など環境美化 | 災害や緊急事態が起きた時の助け合い | 地域行事などによる交流の場 | 一時的に子どもを預かるなどの支援 | 通院など外出、移動時の支援 | 障がい者等への理解 | 地域の見回りなどの防犯 | 冠婚葬祭などの手伝い | 悩み、心配事の相談 | その他 | 特にない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20代 | 111人 | 41.4%(46人) | 45.0%(50人) | 52.3%(58人) | 28.8%(32人) | 21.6%(24人) | 11.7%(13人) | 27.0%(30人) | 33.3%(37人) | 8.1%(9人) | 12.6%(14人) | 0.0%(0人) | 12.6%(14人) | 2.7%(3人) |
| 30代 | 179人 | 53.1%(95人) | 45.8%(82人) | 62.0%(111人) | 27.9%(50人) | 26.3%(47人) | 8.4%(15人) | 24.6%(44人) | 44.1%(79人) | 5.6%(10人) | 10.6%(19人) | 2.2%(4人) | 2.8%(5人) | 5.0%(9人) |
| 40代 | 200人 | 53.0%(106人) | 53.0%(106人) | 63.0%(126人) | 30.5%(61人) | 20.5%(41人) | 13.0%(26人) | 29.0%(58人) | 45.0%(90人) | 13.5%(27人) | 11.5%(23人) | 0.5%(1人) | 9.0%(18人) | 2.0%(4人) |
| 50代 | 220人 | 62.7%(138人) | 48.6%(107人) | 68.6%(151人) | 24.1%(53人) | 14.1%(31人) | 13.6%(30人) | 35.0%(77人) | 38.6%(85人) | 11.8%(26人) | 13.2%(29人) | 0.9%(2人) | 2.7%(6人) | 2.7%(6人) |
| 60代 | 268人 | 54.5%(146人) | 48.5%(130人) | 61.6%(165人) | 29.1%(78人) | 10.1%(27人) | 12.3%(33人) | 32.8%(88人) | 28.7%(77人) | 10.4%(28人) | 10.1%(27人) | 1.1%(3人) | 7.8%(21人) | 6.7%(18人) |
| 70代 | 225人 | 45.3%(102人) | 49.8%(112人) | 59.6%(134人) | 26.7%(60人) | 5.8%(13人) | 12.4%(28人) | 24.9%(56人) | 25.8%(58人) | 10.2%(23人) | 7.1%(16人) | 0.0%(0人) | 7.1%(16人) | 7.1%(16人) |
| 80代以上 | 111人 | 64.0%(71人) | 37.8%(42人) | 57.7%(64人) | 26.1%(29人) | 4.5%(5人) | 22.5%(25人) | 27.9%(31人) | 24.3%(27人) | 18.0%(20人) | 18.9%(21人) | 0.9%(1人) | 5.4%(6人) | 8.1%(9人) |

同居家族別にみると、「一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ」、「障がい者等への理解」、「通院など外出、移動時の支援」については、「介護を必要とする方」と「障がいのある方」のいる世帯で割合が高くなっています。

「地域の清掃など環境美化」は「就学前児童」と学生のいる世帯で割合が高くなっています。

「地域の見回りなどの防犯」、「一時的に子どもを預かるなどの支援」、「地域行事などによる交流の場」については「就学前児童」及び「学生(小学生)」のいる世帯の割合が高くなっています。

**地域の支え合いに期待すること（同居家族別）**

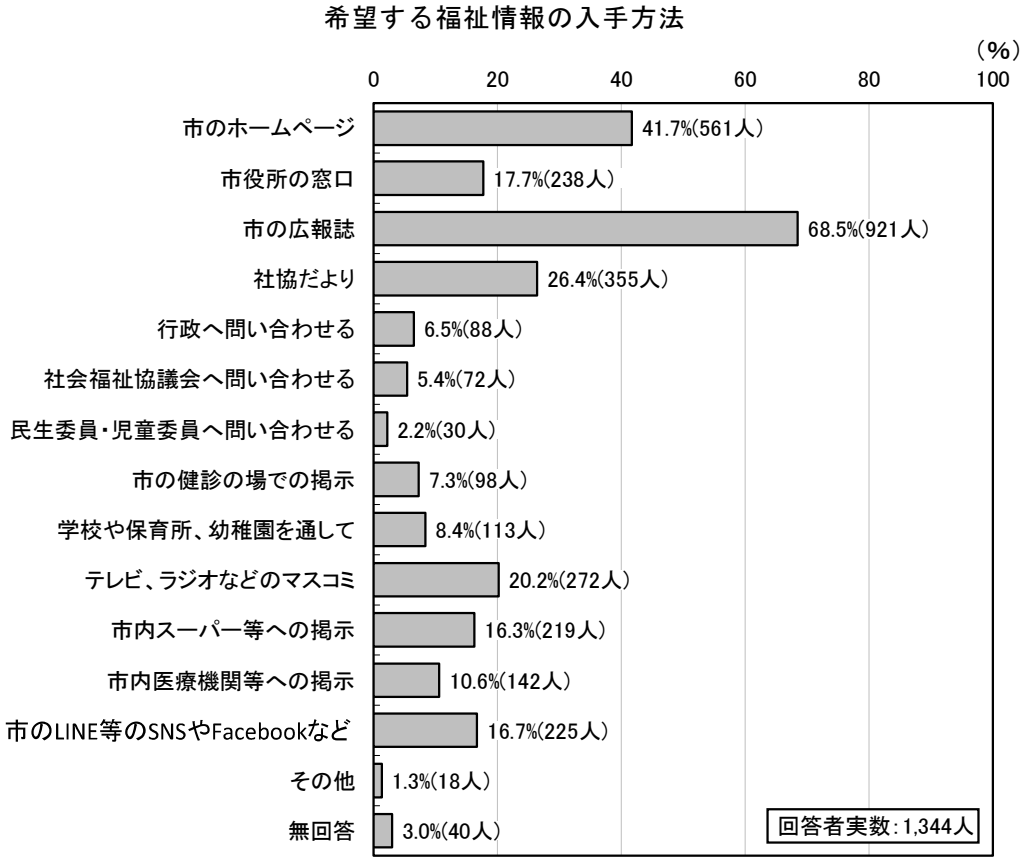
| | 回答者実数 | 一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ | 地域の清掃など環境美化 | 災害や緊急事態が起きた時の助け合い | 地域行事などによる交流の場 | 一時的に子どもを預かるなどの支援 | 通院など外出、移動時の支援 | 障がい者等への理解 | 地域の見回りなどの防犯 | 冠婚葬祭などの手伝い | 悩み、心配事の相談 | その他 | 特にない | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 48.7% (77 人) | 50.0% (79 人) | 59.5% (94 人) | 37.3% (59 人) | 36.1% (57 人) | 12.0% (19 人) | 26.6% (42 人) | 46.8% (74 人) | 7.0% (11 人) | 12.7% (20 人) | 0.6% ( 1 人) | 3.2% ( 5 人) | 3.2% ( 5 人) |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 59.4% (247 人) | 49.5% (206 人) | 63.0% (262 人) | 29.8% (124 人) | 9.1% (38 人) | 13.2% (55 人) | 29.3% (122 人) | 35.1% (146 人) | 12.5% (52 人) | 9.6% (40 人) | 0.5% ( 2 人) | 6.7% (28 人) | 4.3% (18 人) |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 66.3% (65 人) | 42.9% (42 人) | 67.3% (66 人) | 25.5% (25 人) | 9.2% ( 9 人) | 21.4% (21 人) | 35.7% (35 人) | 29.6% (29 人) | 15.3% (15 人) | 12.2% (12 人) | 0.0% ( 0 人) | 5.1% ( 5 人) | 6.1% ( 6 人) |
| 障がいのある方 | 137 人 | 62.0% (85 人) | 46.0% (63 人) | 66.4% (91 人) | 31.4% (43 人) | 17.5% (24 人) | 19.7% (27 人) | 61.3% (84 人) | 38.0% (52 人) | 14.6% (20 人) | 17.5% (24 人) | 1.5% ( 2 人) | 4.4% ( 6 人) | 2.9% ( 4 人) |
| 学生（小学生） | 163 人 | 48.5% (79 人) | 54.0% (88 人) | 60.1% (98 人) | 38.7% (63 人) | 25.2% (41 人) | 8.0% (13 人) | 27.6% (45 人) | 44.8% (73 人) | 11.0% (18 人) | 14.1% (23 人) | 0.6% ( 1 人) | 4.3% ( 7 人) | 4.9% ( 8 人) |
| 学生（中学生） | 90 人 | 52.2% (47 人) | 60.0% (54 人) | 70.0% (63 人) | 32.2% (29 人) | 16.7% (15 人) | 12.2% (11 人) | 20.0% (18 人) | 37.8% (34 人) | 14.4% (13 人) | 8.9% ( 8 人) | 0.0% ( 0 人) | 4.4% ( 4 人) | 2.2% ( 2 人) |
| 学生(高校生以上) | 153 人 | 52.3% (80 人) | 54.9% (84 人) | 64.7% (99 人) | 35.3% (54 人) | 11.8% (18 人) | 11.1% (17 人) | 26.8% (41 人) | 42.5% (65 人) | 13.1% (20 人) | 8.5% (13 人) | 1.3% ( 2 人) | 7.2% (11 人) | 3.3% ( 5 人) |
| いずれもいない | 441 人 | 52.2% (230 人) | 43.5% (192 人) | 61.0% (269 人) | 20.9% (92 人) | 10.7% (47 人) | 11.6% (51 人) | 25.9% (114 人) | 29.3% (129 人) | 11.1% (49 人) | 11.8% (52 人) | 0.7% ( 3 人) | 8.4% (37 人) | 5.7% (25 人) |

## ５．糸満市の福祉のあり方について

### (1)希望する福祉情報の入手方法（複数回答）

問23：あなたは市や社会福祉協議会が発信する福祉の情報について、どのような方法で入手したいですか。
（あてはまる番号すべてに○）

市が発信する福祉の情報について、希望する入手方法は、「市の広報誌」が 68.5%と最も高く、続いて「市のホームページ」が 41.7%となっています。そのほか、「社協だより」が 26.4%、「テレビ、ラジオなどのマスコミ」が 20.2%と、以上の方法が各 20%台となります。



年代別にみると、「市の広報誌」の希望は「20 代」が 36.9%と最も低く、そのほかの年代では60%を超え、「60 代」が 81.8%と最も高くなります。

「市のホームページ」の希望は 40 代以下では半数を超え高く、年代が高くなるほど割合は低くなり「80 代以上」では 13.5%となります。また、「社協だより」の希望は年代が高くなるほど割合は高くなり「20代」では12.6%と低いですが、「80代以上」は41.4%と最も高くなっています。

そのほか、「市の LINE 等のＳＮＳや Facebook など」の希望についても、「市のホームページ」と同じく若い世代で高くなっています。

**希望する福祉情報の入手方法（年代別）**

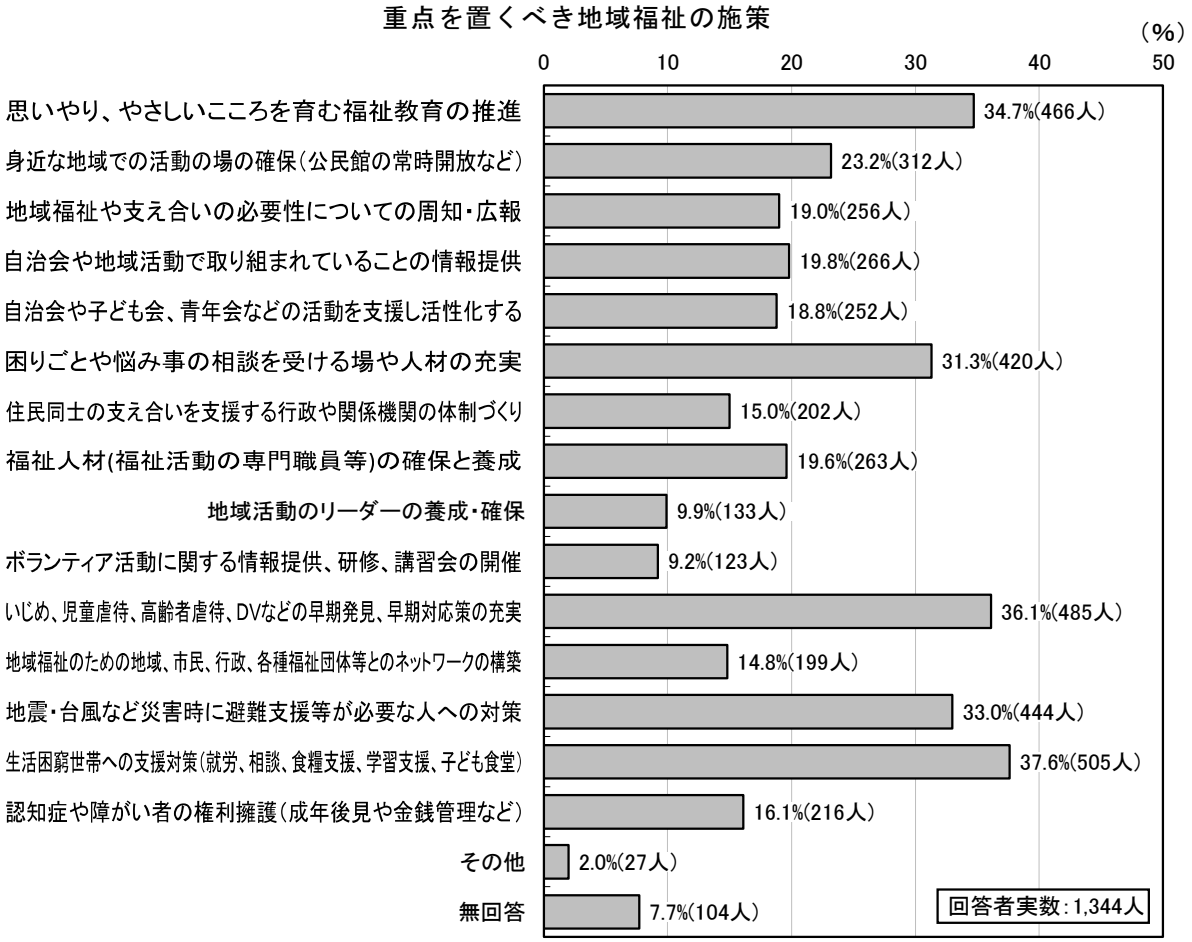
| | 回答者実数 | 市のホームページ | 市役所の窓口 | 市の広報誌 | 社協だより | 行政へ問い合わせる | 社会福祉協議会へ問い合わせる | 民生委員・児童委員へ問い合わせる | 市の健診の場での掲示 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 代 | 111 人 | 61.3%<br>(68 人) | 15.3%<br>(17 人) | 36.9%<br>(41 人) | 12.6%<br>(14 人) | 2.7%<br>( 3 人) | 1.8%<br>( 2 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 6.3%<br>( 7 人) |
| 30 代 | 179 人 | 64.8%<br>(116 人) | 21.2%<br>(38 人) | 61.5%<br>(110 人) | 11.2%<br>(20 人) | 3.9%<br>( 7 人) | 3.4%<br>( 6 人) | 1.7%<br>( 3 人) | 12.3%<br>(22 人) |
| 40 代 | 200 人 | 50.0%<br>(100 人) | 15.5%<br>(31 人) | 64.0%<br>(128 人) | 20.5%<br>(41 人) | 6.0%<br>(12 人) | 5.5%<br>(11 人) | 1.0%<br>( 2 人) | 3.0%<br>( 6 人) |
| 50 代 | 220 人 | 48.6%<br>(107 人) | 21.4%<br>(47 人) | 70.9%<br>(156 人) | 28.6%<br>(63 人) | 10.9%<br>(24 人) | 6.8%<br>(15 人) | 1.8%<br>( 4 人) | 5.0%<br>(11 人) |
| 60 代 | 268 人 | 39.9%<br>(107 人) | 17.9%<br>(48 人) | 75.0%<br>(201 人) | 30.6%<br>(82 人) | 9.0%<br>(24 人) | 6.3%<br>(17 人) | 2.6%<br>( 7 人) | 6.0%<br>(16 人) |
| 70 代 | 225 人 | 17.8%<br>(40 人) | 12.9%<br>(29 人) | 81.8%<br>(184 人) | 35.1%<br>(79 人) | 4.4%<br>(10 人) | 5.3%<br>(12 人) | 2.2%<br>( 5 人) | 8.4%<br>(19 人) |
| 80 代以上 | 111 人 | 13.5%<br>(15 人) | 18.0%<br>(20 人) | 78.4%<br>(87 人) | 41.4%<br>(46 人) | 6.3%<br>( 7 人) | 6.3%<br>( 7 人) | 5.4%<br>( 6 人) | 11.7%<br>(13 人) |

| | 回答者実数 | 学校や保育所、幼稚園を通して | テレビ、ラジオなどのマスコミ | 市内スーパー等への掲示 | 市内医療機関等への掲示 | 市のLINE等のＳＮＳやFacebookなど | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 20 代 | 111 人 | 9.9%<br>(11 人) | 21.6%<br>(24 人) | 23.4%<br>(26 人) | 9.9%<br>(11 人) | 36.0%<br>(40 人) | 1.8%<br>( 2 人) | 0.0%<br>( 0 人) |
| 30 代 | 179 人 | 25.7%<br>(46 人) | 20.1%<br>(36 人) | 23.5%<br>(42 人) | 15.6%<br>(28 人) | 31.8%<br>(57 人) | 0.6%<br>( 1 人) | 0.6%<br>( 1 人) |
| 40 代 | 200 人 | 17.5%<br>(35 人) | 17.5%<br>(35 人) | 19.0%<br>(38 人) | 9.5%<br>(19 人) | 26.5%<br>(53 人) | 0.5%<br>( 1 人) | 2.5%<br>( 5 人) |
| 50 代 | 220 人 | 5.9%<br>(13 人) | 20.9%<br>(46 人) | 19.1%<br>(42 人) | 9.1%<br>(20 人) | 14.5%<br>(32 人) | 1.4%<br>( 3 人) | 1.4%<br>( 3 人) |
| 60 代 | 268 人 | 2.2%<br>( 6 人) | 21.3%<br>(57 人) | 12.3%<br>(33 人) | 9.3%<br>(25 人) | 11.9%<br>(32 人) | 1.9%<br>( 5 人) | 4.1%<br>(11 人) |
| 70 代 | 225 人 | 0.4%<br>( 1 人) | 18.2%<br>(41 人) | 10.7%<br>(24 人) | 12.0%<br>(27 人) | 3.6%<br>( 8 人) | 0.9%<br>( 2 人) | 5.3%<br>(12 人) |
| 80 代以上 | 111 人 | 0.9%<br>( 1 人) | 21.6%<br>(24 人) | 10.8%<br>(12 人) | 9.9%<br>(11 人) | 2.7%<br>( 3 人) | 3.6%<br>( 4 人) | 5.4%<br>( 6 人) |

## (2)重点を置くべき地域福祉の施策（複数回答）

問24：今後、糸満市が重点を置くべき地域福祉の施策はどのようなことだと思いますか。（あなたの考えに最も近い番号５つまで○）

今後重点を置くべき地域福祉の施策については、「生活困窮世帯への支援対策(就労、相談、食糧支援、学習支援、子ども食堂)」が 37.6%で最も高く、また「いじめ、児童虐待、高齢者虐待、ＤＶなどの早期発見、早期対応策の充実」(36.1%)、「思いやり、やさしいこころを育む福祉教育の推進」(34.7%)、「困りごとや悩み事の相談を受ける場や人材の充実」(31.3%)の３つも比較的高いです。



同居家族別にみると、「生活困窮世帯への支援対策(就労、相談、食糧支援、学習支援、子ども食堂)」については、小中学生のいる世帯が 40%半ばと高くなっています。また、「いじめ、児童虐待、高齢者虐待、ＤＶなどの早期発見、早期対応策の充実」については、「就学前児童」のいる世帯が 50.6%と最も高くなっています。

「思いやり、やさしいこころを育む福祉教育の推進」は、「障がいのある方」のいる世帯が 40.9%、「65 歳以上の方」のいる世帯が 37.3%で高くなっています。

「困りごとや悩み事の相談を受ける場や人材の充実」では、「介護を必要とする方」のいる世帯が 39.8%で高くなっています。

**重点を置くべき地域福祉の施策（同居家族別）**

| | 回答者実数 | 思いやり、やさしいこころを育む福祉教育の推進 | 身近な地域での活動の場の確保（公民館の常時開放など） | 地域福祉や支え合いの必要性についての周知・広報 | 自治会や地域活動で取り組まれていることの情報提供 | 自治会や子ども会、青年会などの活動を支援し活性化する | 困りごとや悩み事の相談を受ける場や人材の充実 | 住民同士の支え合いを支援する行政や関係機関の体制づくり | 福祉人材（福祉活動の専門職員等）の確保と養成 | 地域活動のリーダーの養成・確保 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 31.0%<br>(49 人) | 31.6%<br>(50 人) | 9.5%<br>(15 人) | 15.2%<br>(24 人) | 32.3%<br>(51 人) | 22.8%<br>(36 人) | 9.5%<br>(15 人) | 12.7%<br>(20 人) | 6.3%<br>(10 人) |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 37.3%<br>(155 人) | 22.8%<br>(95 人) | 22.1%<br>(92 人) | 23.3%<br>(97 人) | 17.8%<br>(74 人) | 32.9%<br>(137 人) | 16.3%<br>(68 人) | 21.9%<br>(91 人) | 12.3%<br>(51 人) |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 29.6%<br>(29 人) | 21.4%<br>(21 人) | 19.4%<br>(19 人) | 17.3%<br>(17 人) | 14.3%<br>(14 人) | 39.8%<br>(39 人) | 17.3%<br>(17 人) | 27.6%<br>(27 人) | 5.1%<br>( 5 人) |
| 障がいのある方 | 137 人 | 40.9%<br>(56 人) | 17.5%<br>(24 人) | 24.1%<br>(33 人) | 21.2%<br>(29 人) | 13.9%<br>(19 人) | 32.8%<br>(45 人) | 11.7%<br>(16 人) | 19.0%<br>(26 人) | 8.0%<br>(11 人) |
| 学生（小学生） | 163 人 | 29.4%<br>(48 人) | 28.2%<br>(46 人) | 11.7%<br>(19 人) | 16.6%<br>(27 人) | 30.7%<br>(50 人) | 25.8%<br>(42 人) | 15.3%<br>(25 人) | 16.0%<br>(26 人) | 11.7%<br>(19 人) |
| 学生（中学生） | 90 人 | 33.3%<br>(30 人) | 17.8%<br>(16 人) | 12.2%<br>(11 人) | 20.0%<br>(18 人) | 26.7%<br>(24 人) | 27.8%<br>(25 人) | 15.6%<br>(14 人) | 20.0%<br>(18 人) | 7.8%<br>( 7 人) |
| 学生(高校生以上) | 153 人 | 31.4%<br>(48 人) | 20.3%<br>(31 人) | 19.0%<br>(29 人) | 20.3%<br>(31 人) | 23.5%<br>(36 人) | 29.4%<br>(45 人) | 20.3%<br>(31 人) | 17.0%<br>(26 人) | 8.5%<br>(13 人) |
| いずれもいない | 441 人 | 32.4%<br>(143 人) | 21.5%<br>(95 人) | 18.8%<br>(83 人) | 17.7%<br>(78 人) | 15.2%<br>(67 人) | 33.8%<br>(149 人) | 15.0%<br>(66 人) | 23.1%<br>(102 人) | 9.5%<br>(42 人) |

| | 回答者実数 | ボランティア活動に関する情報提供、研修、講習会の開催 | いじめ、児童虐待、高齢者虐待、ＤＶなどの早期発見、早期対応策の充実 | 地域福祉のための地域、市民、行政、各種福祉団体等とのネットワークの構築 | 地震・台風など災害時に避難支援等が必要な人への対策 | 生活困窮世帯への支援対策（就労、相談、食糧支援、学習支援、子ども食堂） | 認知症や障がい者の権利擁護（成年後見や金銭管理など） | その他 | 無回答 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 就学前児童 | 158 人 | 8.2%<br>(13 人) | 50.6%<br>(80 人) | 13.9%<br>(22 人) | 34.8%<br>(55 人) | 36.1%<br>(57 人) | 15.2%<br>(24 人) | 3.2%<br>( 5 人) | 5.1%<br>( 8 人) |
| 65 歳以上の方 | 416 人 | 9.4%<br>(39 人) | 28.6%<br>(119 人) | 15.9%<br>(66 人) | 33.9%<br>(141 人) | 37.3%<br>(155 人) | 16.6%<br>(69 人) | 2.2%<br>( 9 人) | 7.9%<br>(33 人) |
| 介護を必要とする方 | 98 人 | 10.2%<br>(10 人) | 25.5%<br>(25 人) | 20.4%<br>(20 人) | 35.7%<br>(35 人) | 42.9%<br>(42 人) | 16.3%<br>(16 人) | 4.1%<br>( 4 人) | 12.2%<br>(12 人) |
| 障がいのある方 | 137 人 | 8.8%<br>(12 人) | 29.9%<br>(41 人) | 19.7%<br>(27 人) | 38.7%<br>(53 人) | 37.2%<br>(51 人) | 23.4%<br>(32 人) | 1.5%<br>( 2 人) | 10.9%<br>(15 人) |
| 学生（小学生） | 163 人 | 8.6%<br>(14 人) | 47.2%<br>(77 人) | 13.5%<br>(22 人) | 35.6%<br>(58 人) | 45.4%<br>(74 人) | 21.5%<br>(35 人) | 1.8%<br>( 3 人) | 7.4%<br>(12 人) |
| 学生（中学生） | 90 人 | 14.4%<br>(13 人) | 47.8%<br>(43 人) | 14.4%<br>(13 人) | 36.7%<br>(33 人) | 44.4%<br>(40 人) | 20.0%<br>(18 人) | 0.0%<br>( 0 人) | 4.4%<br>( 4 人) |
| 学生(高校生以上) | 153 人 | 7.2%<br>(11 人) | 39.9%<br>(61 人) | 11.8%<br>(18 人) | 33.3%<br>(51 人) | 40.5%<br>(62 人) | 12.4%<br>(19 人) | 2.0%<br>( 3 人) | 6.5%<br>(10 人) |
| いずれもいない | 441 人 | 9.5%<br>(42 人) | 37.4%<br>(165 人) | 14.5%<br>(64 人) | 31.7%<br>(140 人) | 39.9%<br>(176 人) | 14.5%<br>(64 人) | 0.9%<br>( 4 人) | 7.3%<br>(32 人) |

## ６．自治連絡員、糸満市社会福祉協議会、民生委員・児童委員などについて

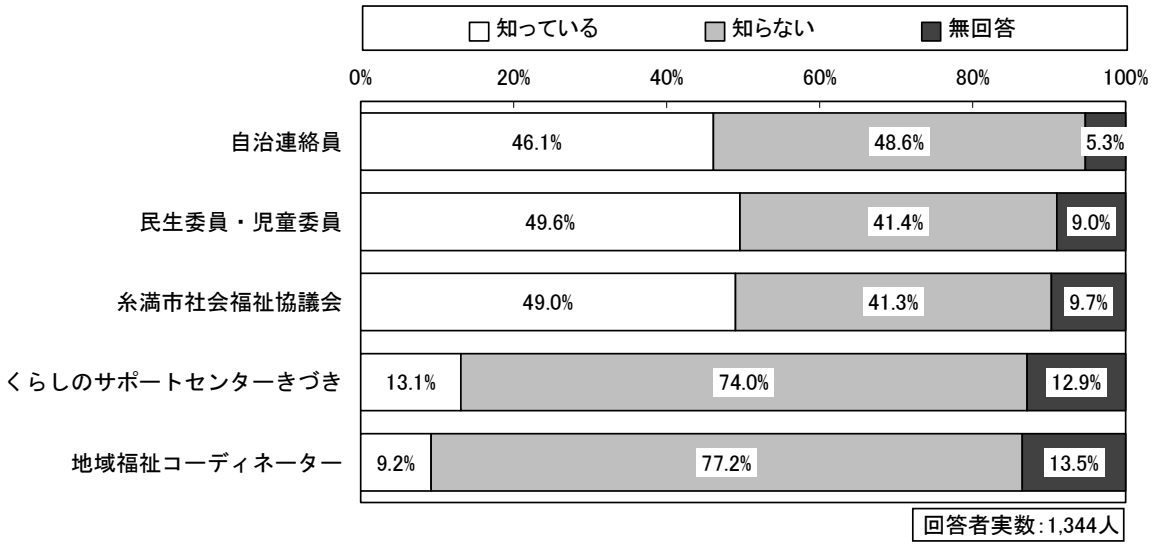
### (1) 自治連絡員、糸満市社会福祉協議会、民生委員・児童委員などの周知度

問25：あなたは自治連絡員、糸満市社会福祉協議会、民生委員・児童委員などについてご存じですか。（各項目あてはまる番号１つに○）

５つの用語について周知状況を聞いたところ、「糸満市社会福祉協議会」と「民生委員・児童委員」については、「知っている」がともに 49%と半数近くで、「知らない」の 41%より高くなっています。また、「自治連絡員」は、「知らない」が 48.6%で「知っている」の 46.1%より少しですが高くなっています。

「くらしのサポートセンターきづき」と「地域福祉コーディネーター」については「知らない」が圧倒的に高く 70%台となっています。

自治連絡員、糸満市社会福祉協議会、民生委員・児童委員などの周知度

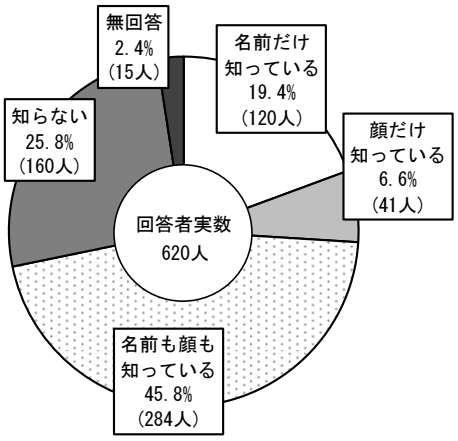


## (2)自治連絡員の把握状況

問25-1：あなたは「自治連絡員」についてご存じですか。（１つに○）

「自治連絡員」をどこまで把握しているか聞いたところ、「名前も顔も知っている」が最も高く 45.8%、次いで「知らない」が 25.8%、「名前だけ知っている」が 19.4%となっています。

自治連絡員の把握状況

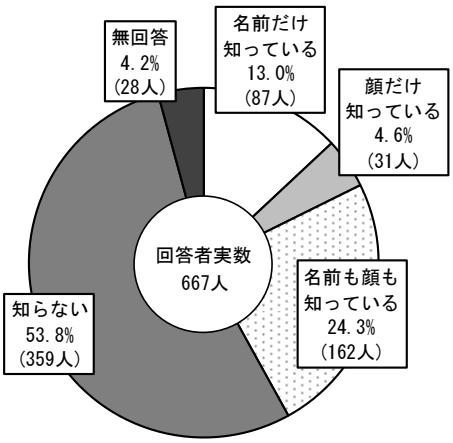



## (3)民生委員・児童委員の把握状況

問25-2：あなたは「民生委員・児童委員」についてご存じですか。（１つに○）

「民生委員・児童委員」をどこまで把握しているか聞いたところ、「知らない」が最も高く 53.8%と半数以上を占め、次いで「名前も顔も知っている」が 24.3%、「名前だけ知っている」が 13.0%となっています。

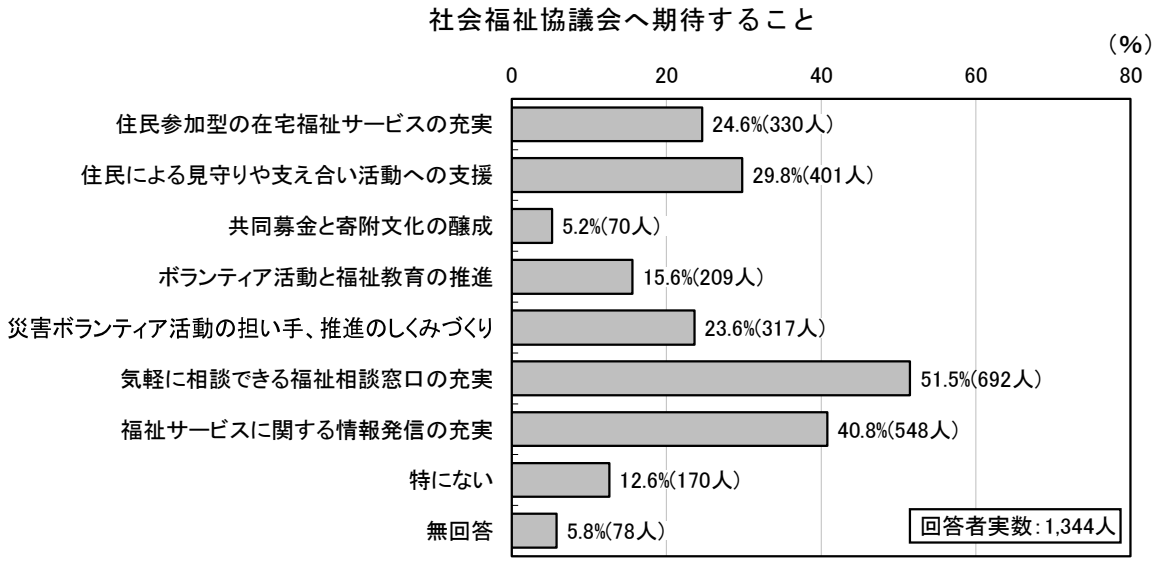
民生委員・児童委員の把握状況



## (4)社会福祉協議会へ期待すること（複数回答）

問26：あなたは、糸満市社会福祉協議会に対して、どのような活動や支援を期待しますか。（あなたの考えに最も近い番号３つまで○）

社会福祉協議会へ期待することを聞いたところ、「気軽に相談できる福祉相談窓口の充実」が最も高く 51.5%、次いで「福祉サービスに関する情報発信の充実」が 40.8%、「住民による見守りや支え合い活動への支援」が 29.8%となっています。



## 7．その他

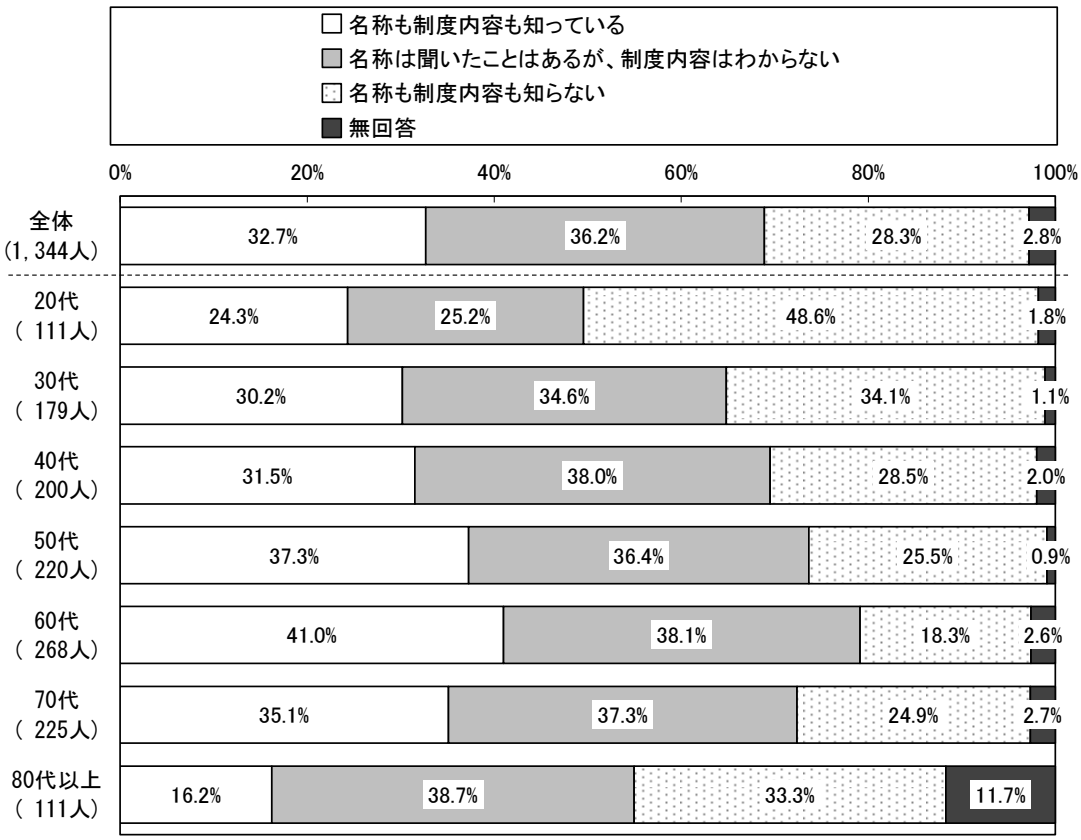
### (1)成年後見制度の周知度

問27：あなたは、成年後見制度を知っていますか。（１つに○）

成年後見制度の周知度を見ると、「名称は聞いたことはあるが、制度内容はわからない」が36.2%、「名称も制度内容も知っている」が32.7%となっています。

年代別に見ると、「名称も制度内容も知っている」は年代が上がっていくと、割合も増えますが「60代」の41.0%をピークに減少し、「80代以上」では16.2%で最も低くなっています。

成年後見制度の周知度（全体・年代別）

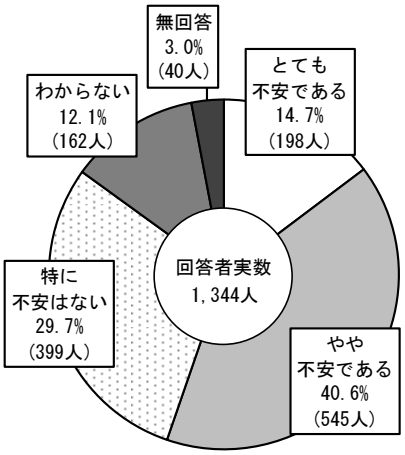


## (2)将来の身の回りの管理への不安

問28：将来、あなた自身や親族が高齢になったときに、福祉サービスなどの身の回りの契約手続や財産の管理を適切に行っていけるか不安がありますか。（１つに○）

将来の身の回りの管理への不安を聞いたところ、「やや不安である」が最も高く 40.6%、次いで「特に不安はない」が 29.7%となっています。また、「とても不安である」が 14.7%となっており、「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた“不安である”は 55.3%と半数を超えています。

将来の身の回りの管理への不安

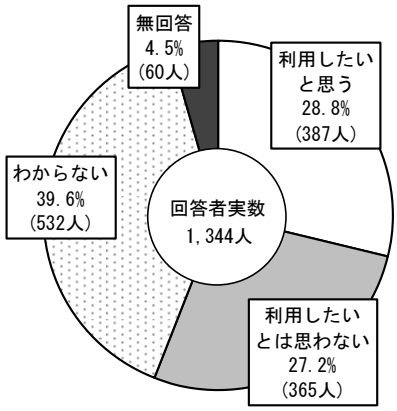



## (3)自身への成年後見制度の利用意向

問29：将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。（１つに○））

自身への成年後見制度の利用意向を聞いたところ、「わからない」が 39.6%と最も高くなっており、次いで「利用したいと思う」が 28.8%、「利用したいとは思わない」が 27.2%と同程度となっています。

自身への成年後見制度の利用意向

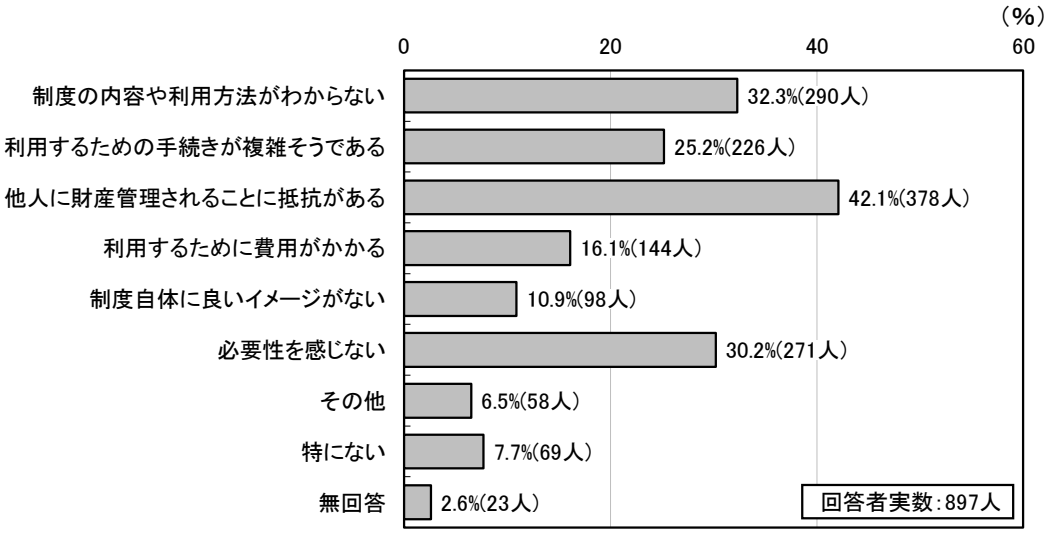


## (3-1)成年後見制度を利用したいと思わない理由（複数回答）

問29-1：≪問29で「②利用したいとは思わない」、「③わからない」と回答した方に伺います。≫
その理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

成年後見制度を利用したいと思わない理由を聞いたところ、「他人に財産管理されることに抵抗がある」が 42.1%と最も高くなっており、次いで「制度の内容や利用方法がわからない」が 32.3%、「必要性を感じない」が 30.2%となっています。

成年後見制度を利用したいと思わない理由



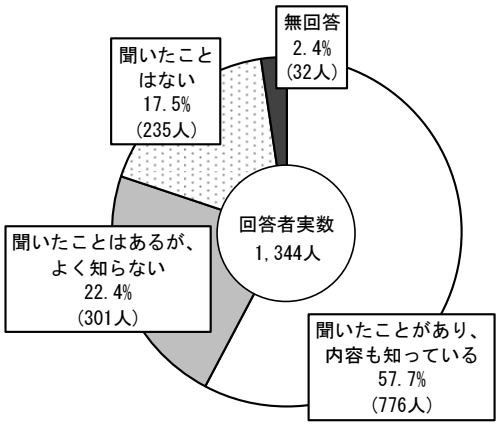

## (4)ヤングケアラーの周知度

問30：あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。（１つに○）

ヤングケアラーの周知度を見ると、「聞いたことがあり、内容も知っている」が最も高く 57.7%と約６割を占めます。

また、「聞いたことはあるが、よく知らない」が 22.4%、「聞いたことはない」は 17.5%と“よく知らない”という回答が 39.9%となっています。

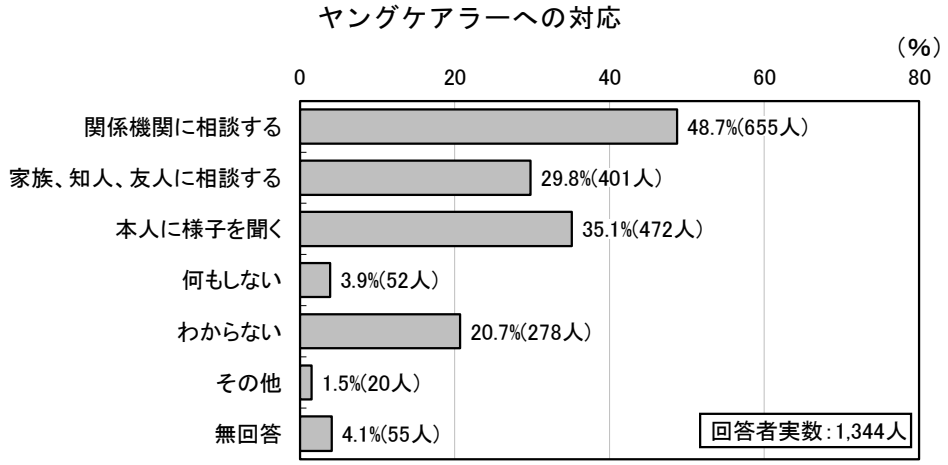
ヤングケアラーの周知度



## (5)ヤングケアラーへの対応（複数回答）

問31：仮に身の回りに「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合、どのような対応をしますか。（あてはまる番号すべてに○）

身の回りにヤングケアラーと思われる子がいた場合、どのような対応をするか聞いたところ、「関係機関に相談する」が 48.7％と最も高くなっており、次いで「本人に様子を聞く」が 35.1％、「家族、知人、友人に相談する」が 29.8％となっています。

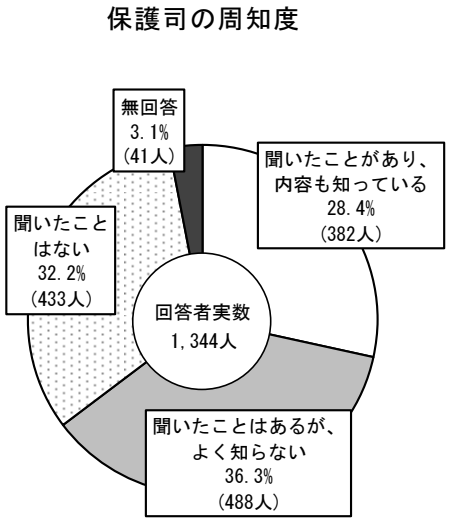



## (6)保護司の周知度

問32：あなたは、「保護司」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。（１つに○）

保護司の周知度を見ると、「聞いたことはあるが、よく知らない」が最も高く 36.3％、「聞いたことはない」は 32.2％と“よく知らない”という回答が 68.5％と約７割となっています。

また、「聞いたことがあり、内容も知っている」は 28.4％となっています。



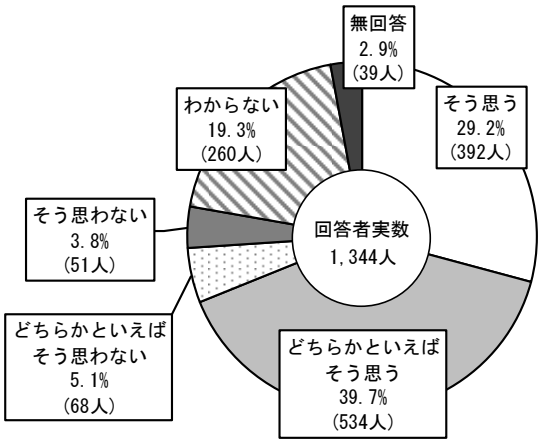
## (7)「誰一人取り残さない(ＳＤＧｓ)社会の実現が大切」という意見について

問33：犯罪をした人の立ち直りのためには、社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない(ＳＤＧｓ)」社会の実現が大切である。という意見について、どう思いますか。(１つに○)

犯罪をした人の立ち直りのためには、「誰一人取り残さない(ＳＤＧｓ)社会の実現が大切」であるという意見についてどう思うかを聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が最も高く 39.7%、さらに、「そう思う」の 29.2%を合わせた、“そう思う”という回答が 68.9%と約７割となっています。

また、「わからない」という回答は 19.3%となっています。

「誰一人取り残さない(ＳＤＧｓ)社会の実現が大切」という意見について

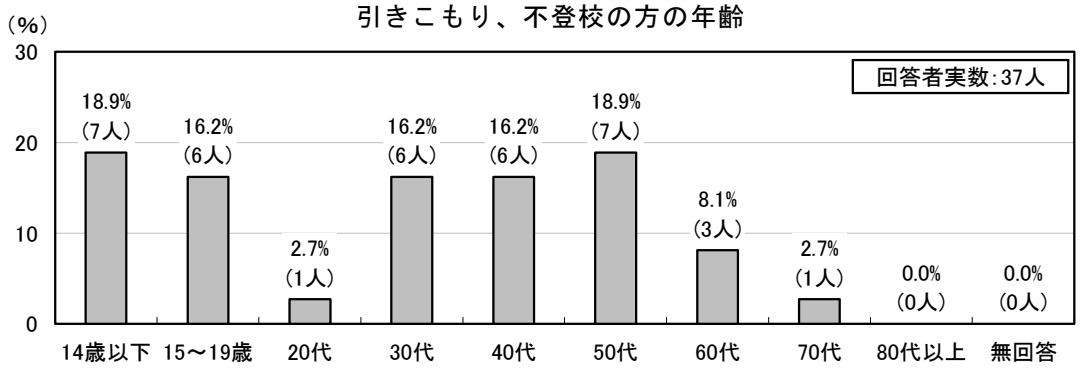



## (8)引きこもり、不登校の方の年齢

問34：≪問16で「⑦引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる」と回答した方に伺います。≫
その方の年齢は次のどれにあたりますか。(１つに○)

引きこもり、不登校の方の年齢は、「14 歳以下」と「15～19 歳」を合わせた“10 代”が最も高く 35.1%となっています。そのほか、30 代～50 代が 10%台となっています。

引きこもり、不登校の方の年齢



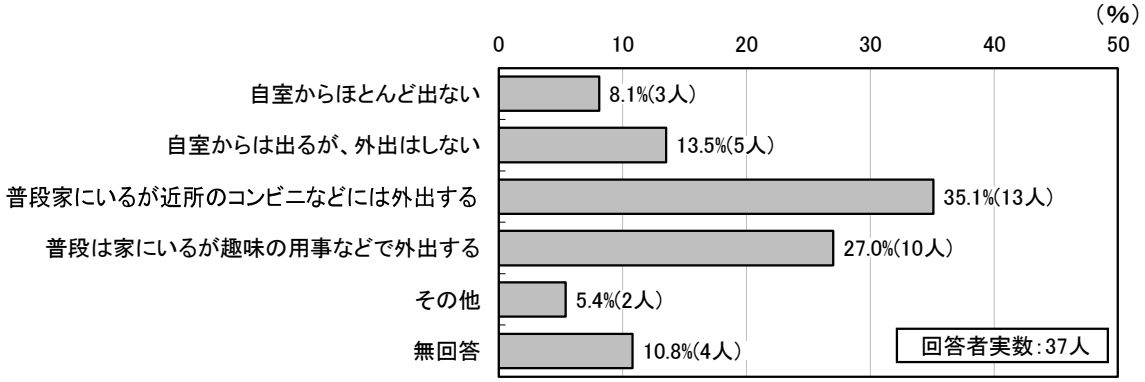
## (9)引きこもっている、不登校の方の外出状況

問35：≪問16で「⑦引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる」と回答した方に伺います。≫
引きこもっている、または不登校の方の外出状況は次のどれにあたりますか。（１つに○）

引きこもっている、不登校の方の外出状況について聞いたところ、「普段家にいるが近所のコンビニなどには外出する」が 35.1%と最も高くなっており、次いで「普段は家にいるが趣味の用事などで外出する」の 27.0%と合わせると、理由があれば外出する方は 62.1%と６割います。

また、「自室からは出るが、外出はしない」が 13.5%、「自室からほとんど出ない」は 8.1%と外出はしない方は 21.6%となっています。

引きこもっている、不登校の方の外出状況

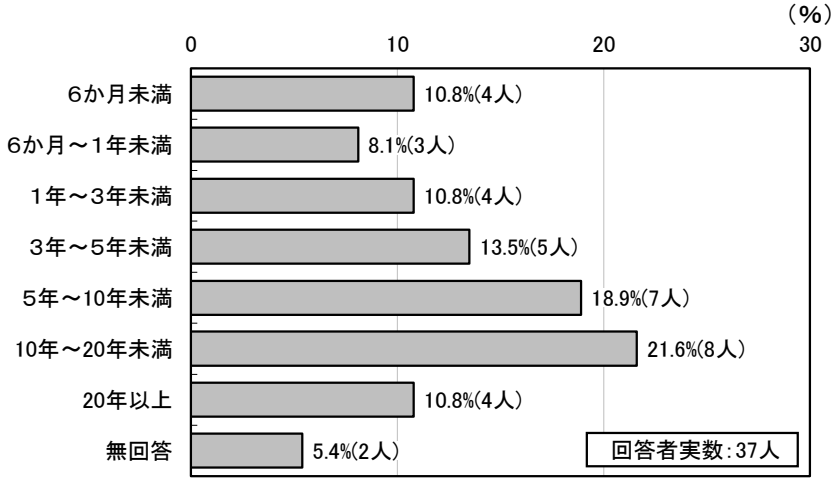



## (10)引きこもり、不登校の期間

問36：≪問16で「⑦引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる」と回答した方に伺います。≫
引きこもり、または不登校になってからどれくらいになりますか。（１つに○）

引きこもっている、不登校の方の期間について聞いたところ、「10 年～20 年未満」が最も高く 21.6%と最も高くなっており、次に高い「５年～10 年未満」の 18.9%と合わせると、５年～20 年未満が 40.5%と４割を占めます。

引きこもり、不登校の期間



# Ⅲ　資料編

## １．単純集計表

問1：あなたの年齢(令和4年11月1日現在)についてお伺いします。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 20 代 | 111 (  8.3) |
| 30 代 | 179 ( 13.3) |
| 40 代 | 200 ( 14.9) |
| 50 代 | 220 ( 16.4) |
| 60 代 | 268 ( 19.9) |
| 70 代 | 225 ( 16.7) |
| 80 代以上 | 111 (  8.3) |
| 無回答 | 30 (  2.2) |

問2：あなたの性別についてお伺いします。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 男性 | 590 ( 43.9) |
| 女性 | 694 ( 51.6) |
| 答えたくない | 8 (  0.6) |
| 無回答 | 52 (  3.9) |

問3：あなたの、お住まいの地域は、どちらになりますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 糸満地区 | 349 ( 26.0) |
| 西崎地区 | 195 ( 14.5) |
| 兼城地区 | 474 ( 35.3) |
| 高嶺地区 | 185 ( 13.8) |
| 三和地区 | 127 (  9.4) |
| 無回答 | 14 (  1.0) |

問4：あなたの、家族構成についてお伺いします。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 一人暮らし | 205 ( 15.3) |
| 夫婦のみ（核家族） | 321 ( 23.9) |
| 夫婦と子（核家族） | 497 ( 37.0) |
| ひとり親と子（核家族） | 109 (  8.1) |
| 三世代家族（親・子・孫） | 87 (  6.5) |
| その他 | 115 (  8.6) |
| 無回答 | 10 (  0.7) |

問5：あなた自身、または同居している家族に、次のような方はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 就学前児童 | 158 ( 11.8) |
| 65 歳以上の方 | 416 ( 31.0) |
| 介護を必要とする方 | 98 ( 7.3) |
| 障がいのある方 | 137 ( 10.2) |
| 学生（小学生） | 163 ( 12.1) |
| 学生（中学生） | 90 ( 6.7) |
| 学生（高校生以上） | 153 ( 11.4) |
| いずれもいない | 441 ( 32.8) |
| 無回答 | 60 ( 4.5) |

問6：あなたが、現在お住まいの住宅の形態はどれに該当しますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 持家（一戸建て） | 764 ( 56.8) |
| 持家（マンション） | 37 ( 2.8) |
| 賃貸の一戸建て | 37 ( 2.8) |
| 賃貸のアパート・マンション | 342 ( 25.4) |
| 公営住宅（団地等） | 88 ( 6.5) |
| 社宅・宿舎 | 37 ( 2.8) |
| その他 | 26 ( 1.9) |
| 無回答 | 13 ( 1.0) |

問7：あなたの世帯は、課税世帯ですか。非課税世帯ですか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 課税世帯 | 909 ( 67.6) |
| 非課税世帯 | 248 ( 18.5) |
| わからない | 144 ( 10.7) |
| 無回答 | 43 ( 3.2) |

問8：あなたは、糸満市に住んで何年になりますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| １年未満 | 45 ( 3.3) |
| １年～３年未満 | 87 ( 6.5) |
| ３年～５年未満 | 81 ( 6.0) |
| ５年～10 年未満 | 100 ( 7.4) |
| 10 年～15 年未満 | 72 ( 5.4) |
| 15 年～20 年未満 | 85 ( 6.3) |
| 20 年以上 | 866 ( 64.4) |
| 無回答 | 8 ( 0.6) |

問8-1：≪問8に関連して伺います。≫あなたの出身地を教えてください。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 市内 | 674 ( 50.1) |
| 市外（県内他市町村） | 449 ( 33.4) |
| 県外 | 190 ( 14.1) |
| 海外 | 14 ( 1.0) |
| 無回答 | 17 ( 1.3) |

問8-2：≪問8に関連して伺います。≫糸満市に今後も住み続けたいですか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 住み続けたい | 1133 ( 84.3) |
| 他市町村に引越したい | 178 ( 13.2) |
| 無回答 | 33 ( 2.5) |

問9-1：あなたは、糸満市の地域環境「安心して妊娠、出産できる環境」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 177 ( 13.2) |
| 普通だと思う | 662 ( 49.3) |
| 悪い方だと思う | 85 ( 6.3) |
| わからない | 345 ( 25.7) |
| 無回答 | 75 ( 5.6) |

問9-2：あなたは、糸満市の地域環境「安心して子どもを育てる環境」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 222 ( 16.5) |
| 普通だと思う | 728 ( 54.2) |
| 悪い方だと思う | 104 ( 7.7) |
| わからない | 225 ( 16.7) |
| 無回答 | 65 ( 4.8) |

問9-3：あなたは、糸満市の地域環境「青少年が健全に育つ環境」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 145 ( 10.8) |
| 普通だと思う | 772 ( 57.4) |
| 悪い方だと思う | 141 ( 10.5) |
| わからない | 224 ( 16.7) |
| 無回答 | 62 ( 4.6) |

問9-4：あなたは、糸満市の地域環境「障がいのある人が自分らしく安心して暮らせる環境」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 104 ( 7.7) |
| 普通だと思う | 569 ( 42.3) |
| 悪い方だと思う | 191 ( 14.2) |
| わからない | 408 ( 30.4) |
| 無回答 | 72 ( 5.4) |

問9-5：あなたは、糸満市の地域環境「高齢者が安心して自分らしくいきいきと暮らせる環境」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 183 ( 13.6) |
| 普通だと思う | 672 ( 50.0) |
| 悪い方だと思う | 187 ( 13.9) |
| わからない | 249 ( 18.5) |
| 無回答 | 53 ( 3.9) |

問9-6：あなたは、糸満市の地域環境「通勤や買い物の利便性」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 434 ( 32.3) |
| 普通だと思う | 592 ( 44.0) |
| 悪い方だと思う | 235 ( 17.5) |
| わからない | 39 ( 2.9) |
| 無回答 | 44 ( 3.3) |

問9-7：あなたは、糸満市の地域環境「困りごとの相談先や情報の入手の利便性」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 86 ( 6.4) |
| 普通だと思う | 609 ( 45.3) |
| 悪い方だと思う | 253 ( 18.8) |
| わからない | 337 ( 25.1) |
| 無回答 | 59 ( 4.4) |

問9-8：あなたは、糸満市の地域環境「市民が利用しやすい公共施設の立地」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 165 ( 12.3) |
| 普通だと思う | 630 ( 46.9) |
| 悪い方だと思う | 327 ( 24.3) |
| わからない | 170 ( 12.6) |
| 無回答 | 52 ( 3.9) |

問9-9：あなたは、糸満市の地域環境「防災体制(避難誘導体制)・組織の体制」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 75 ( 5.6) |
| 普通だと思う | 561 ( 41.7) |
| 悪い方だと思う | 201 ( 15.0) |
| わからない | 454 ( 33.8) |
| 無回答 | 53 ( 3.9) |

問9-10：あなたは、糸満市の地域環境「病院など、医療機関が充実している環境」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 176 ( 13.1) |
| 普通だと思う | 612 ( 45.5) |
| 悪い方だと思う | 423 ( 31.5) |
| わからない | 89 ( 6.6) |
| 無回答 | 44 ( 3.3) |

問9-11：あなたは、糸満市の地域環境「地域の治安」について、どのように感じていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 良い方だと思う | 272 ( 20.2) |
| 普通だと思う | 769 ( 57.2) |
| 悪い方だと思う | 170 ( 12.6) |
| わからない | 96 ( 7.1) |
| 無回答 | 37 ( 2.8) |

問10(現在)：あなたは、日ごろ、隣近所の人とどの程度のつきあいがありますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 困ったときに相談したり、助け合うようなつきあい | 147 ( 10.9) |
| 顔を合わせれば、立ち話をする程度 | 334 ( 24.9) |
| 挨拶をする程度 | 749 ( 55.7) |
| 近所づきあいは、していない、しようと思わない | 89 ( 6.6) |
| 無回答 | 25 ( 1.9) |

問10(今後)：あなたは、今後、隣近所の人とどのようなつきあい方をしたいですか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 困ったときに相談したり、助け合うようなつきあい | 335 ( 24.9) |
| 顔を合わせれば、立ち話をする程度 | 342 ( 25.4) |
| 挨拶をする程度 | 532 ( 39.6) |
| 近所づきあいは、していない、しようと思わない | 83 ( 6.2) |
| 無回答 | 52 ( 3.9) |

問11：あなたは、近所づきあいについて、どのように考えていますか。(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 地域で助け合っていくために必要 | 780 ( 58.0) |
| 伝統行事を守り、継承するために必要 | 439 ( 32.7) |
| 地域の防犯のために必要（あやしい人がいたら注意を払うなど） | 899 ( 66.9) |
| 台風など災害が起こった時の助け合いのために必要 | 764 ( 56.8) |
| 地域のまとまりのために必要 | 435 ( 32.4) |
| 県外移住者との関わりが必要 | 181 ( 13.5) |
| 近所づきあいは必要と感じるが、わずらわしい | 351 ( 26.1) |
| 近所とは関わりを持ちたくない | 46 ( 3.4) |
| 近所づきあいの必要性を感じない | 101 ( 7.5) |
| その他 | 19 ( 1.4) |
| 無回答 | 27 ( 2.0) |

問12：日常生活をしていて、孤独感がありますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| よく感じる | 62 ( 4.6) |
| ときどき感じる | 212 ( 15.8) |
| あまり感じない | 574 ( 42.7) |
| ほとんど感じない | 482 ( 35.9) |
| 無回答 | 14 ( 1.0) |

問13：あなたは、現在自治会に加入していますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 加入している | 636 ( 47.3) |
| 加入していない | 528 ( 39.3) |
| わからない | 131 ( 9.7) |
| 無回答 | 49 ( 3.6) |

問13-1：≪問13で「②加入していない」と回答した方に伺います。≫
自治会に加入していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 528 (100.0) |
|---|---|
| 必要を感じない | 201 ( 38.1) |
| わずらわしい | 92 ( 17.4) |
| 時間的なゆとりがない | 164 ( 31.1) |
| 永住する気がない | 54 ( 10.2) |
| 加入の勧誘がない | 132 ( 25.0) |
| 加入の仕方が分からない | 74 ( 14.0) |
| 会費など出費がかかる | 105 ( 19.9) |
| その他 | 68 ( 12.9) |
| 無回答 | 14 ( 2.7) |

問14：あなたは、悩んだり不安になった時など、誰に(どこに)相談したいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 家族・親族 | 1164 ( 86.6) |
| 友人・知人 | 818 ( 60.9) |
| 隣近所の人 | 101 ( 7.5) |
| 職場の人 | 291 ( 21.7) |
| 保育所、幼稚園、学校など | 41 ( 3.1) |
| 自治会の役員 | 49 ( 3.6) |
| 社会福祉協議会の相談窓口 | 79 ( 5.9) |
| 市役所の相談窓口 | 275 ( 20.5) |
| 民生委員・児童委員 | 43 ( 3.2) |
| 高齢者・障害者支援施設・事業所等 | 65 ( 4.8) |
| 医療機関 | 171 ( 12.7) |
| 地域の警察署 | 84 ( 6.3) |
| その他 | 27 ( 2.0) |
| 誰にも相談できない | 24 ( 1.8) |
| 無回答 | 15 ( 1.1) |

問14-1：≪問14で「⑭誰にも相談できない」と回答した方に伺います。≫
相談しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 24 (100.0) |
|---|---|
| 他人に頼らず、自分自身で解決したい | 9 ( 37.5) |
| 家族、親族が身近にいない | 2 ( 8.3) |
| 信頼できる人がいない | 6 ( 25.0) |
| 他人と関わりを持ちたくない | 2 ( 8.3) |
| 地域の方には相談しづらい | 2 ( 8.3) |
| 相談先がわからない | 7 ( 29.2) |
| その他 | 2 ( 8.3) |
| 無回答 | 0 ( 0.0) |

問15：生活や福祉に関する相談のために、どんな窓口があるといいと思いますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口 | 265 ( 19.7) |
| 必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口 | 293 ( 21.8) |
| どんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口 | 665 ( 49.5) |
| その他 | 34 ( 2.5) |
| 無回答 | 87 ( 6.5) |

問15-1：オンラインで相談できる窓口を市が設置したら利用したいと思いますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 利用したい | 470 ( 35.0) |
| どちらとも言えない | 601 ( 44.7) |
| 利用しない | 220 ( 16.4) |
| 無回答 | 53 ( 3.9) |

問16：あなたは、日常生活のなかでどのようなことに不安を感じたり、困っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 自分の健康に関すること | 661 ( 49.2) |
| 家族の健康に関すること | 539 ( 40.1) |
| 子育てに関すること | 223 ( 16.6) |
| 身内の介護に関すること | 309 ( 23.0) |
| 自分自身の介護に関すること | 274 ( 20.4) |
| 日中、ひとりでいること | 56 ( 4.2) |
| 引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる | 37 ( 2.8) |
| 地域との関わりや人間関係に関すること | 79 ( 5.9) |
| 収入や家計に関すること | 471 ( 35.0) |
| 生きがいや将来に関すること | 226 ( 16.8) |
| 仕事や職場、就労に関すること | 210 ( 15.6) |
| 住まいの確保に関すること | 84 ( 6.3) |
| 地域の安全面や治安に関すること | 160 ( 11.9) |
| 自宅周辺の環境衛生に関すること（清掃、ゴミ、環境美化） | 190 ( 14.1) |
| 台風など災害時の避難に関すること | 197 ( 14.7) |
| 社会の差別や偏見に関すること | 65 ( 4.8) |
| その他 | 37 ( 2.8) |
| 特にない | 186 ( 13.8) |
| 無回答 | 20 ( 1.5) |

問17：あなたは、地域の方に日常生活のなかで「手伝ってほしい」と思っていることがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 見守りや安否確認の声かけ | 187 ( 13.9) |
| 話し相手 | 67 ( 5.0) |
| 買い物 | 46 ( 3.4) |
| 家の片付けやごみ出しなど | 55 ( 4.1) |
| 食事の提供 | 34 ( 2.5) |
| 通院など外出の付添 | 50 ( 3.7) |
| 市役所などへの用事・連絡 | 62 ( 4.6) |
| 庭の掃除 | 64 ( 4.8) |
| 短時間の子どもの預かり | 50 ( 3.7) |
| 子育ての相談 | 56 ( 4.2) |
| 台風など災害時、緊急時の手助け | 266 ( 19.8) |
| 悩み事・心配事の相談相手 | 79 ( 5.9) |
| その他 | 27 ( 2.0) |
| 手伝ってほしいことはない | 699 ( 52.0) |
| 無回答 | 104 ( 7.7) |

問18：あなたは、地域の方へ日常生活のなかで「手伝ってもよい」と思うものは何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 見守りや安否確認の声かけ | 401 ( 29.8) |
| 話し相手 | 198 ( 14.7) |
| 買い物 | 117 ( 8.7) |
| 家の片付けやごみ出しなど | 64 ( 4.8) |
| 食事の提供 | 25 ( 1.9) |
| 通院など外出の付添 | 43 ( 3.2) |
| 市役所などへの用事・連絡 | 79 ( 5.9) |
| 庭の掃除 | 100 ( 7.4) |
| 短時間の子どもの預かり | 98 ( 7.3) |
| 子育ての相談 | 72 ( 5.4) |
| 台風など災害時、緊急時の手助け | 408 ( 30.4) |
| 悩み事・心配事の相談相手 | 95 ( 7.1) |
| 地域の行事・イベント | 302 ( 22.5) |
| その他 | 37 ( 2.8) |
| 様々な理由により手助けできない | 317 ( 23.6) |
| 無回答 | 134 ( 10.0) |

問19：あなたは現在、地域活動やボランティア活動に参加していますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 参加している | 201 ( 15.0) |
| 以前は参加していたが、現在は参加していない | 259 ( 19.3) |
| 参加したことはない | 829 ( 61.7) |
| 無回答 | 55 ( 4.1) |

問19-1：≪問19で「②以前は参加していたが、現在は参加していない」、「③参加したことはない」と回答した方に伺います。≫
参加していない主な理由は何ですか。(あなたの考えに最も近い番号3つまで○)

| 回答者実数 | 1088 (100.0) |
|---|---|
| 興味がないから | 118 ( 10.8) |
| やりたい活動がないから | 26 ( 2.4) |
| 活動場所・活動内容がわからないから | 232 ( 21.3) |
| いっしょに参加する仲間(知人)がいないから | 174 ( 16.0) |
| 誘いがないから | 147 ( 13.5) |
| 地域との関わりや人間関係に関心がないから | 45 ( 4.1) |
| 体力や健康状態がよくないから | 225 ( 20.7) |
| 自分の生活だけで精いっぱいだから | 374 ( 34.4) |
| 新型コロナが怖いから | 148 ( 13.6) |
| 特に理由はない | 203 ( 18.7) |
| その他 | 71 ( 6.5) |
| 無回答 | 87 ( 8.0) |

問20：今後は(今後も)、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 参加したい | 194 ( 14.4) |
| 時間等、生活にゆとりができたら参加したい | 528 ( 39.3) |
| どちらかといえば参加したくない | 139 ( 10.3) |
| 参加したくない | 134 ( 10.0) |
| わからない | 256 ( 19.0) |
| 無回答 | 93 ( 6.9) |

問21：あなたは、地域住民の支え合いが必要だと思いますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| そう思う | 399 ( 29.7) |
| どちらかといえば、そう思う | 698 ( 51.9) |
| どちらかといえば、そうは思わない | 139 ( 10.3) |
| そうは思わない | 58 ( 4.3) |
| 無回答 | 50 ( 3.7) |

問21-1：≪問21で「③どちらかといえば、そうは思わない」、「④そうは思わない」と回答した方に伺います。≫
その主な理由は何ですか。(1つに○)

| 回答者実数 | 197 (100.0) |
|---|---|
| 他人との関わりを持ちたくないから | 24 ( 12.2) |
| 一人ひとりの生活に地域は関係ないから | 22 ( 11.2) |
| 地域の支え合いに期待がもてないから | 17 ( 8.6) |
| 親戚や友人との関係があれば十分だと思うから | 80 ( 40.6) |
| 地域の課題や個人の困りごとについては、公的機関が担うべきだと思うから | 20 ( 10.2) |
| その他 | 5 ( 2.5) |
| わからない | 19 ( 9.6) |
| 無回答 | 10 ( 5.1) |

問22：あなたが、地域の支え合いに期待すること(必要に思うこと)は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ | 720 ( 53.6) |
| 地域の清掃など環境美化 | 639 ( 47.5) |
| 災害や緊急事態が起きた時の助け合い | 821 ( 61.1) |
| 地域行事などによる交流の場 | 370 ( 27.5) |
| 一時的に子どもを預かるなどの支援 | 188 ( 14.0) |
| 通院など外出、移動時の支援 | 175 ( 13.0) |
| 障がい者等への理解 | 389 ( 28.9) |
| 地域の見回りなどの防犯 | 460 ( 34.2) |
| 冠婚葬祭などの手伝い | 150 ( 11.2) |
| 悩み、心配事の相談 | 154 ( 11.5) |
| その他 | 11 ( 0.8) |
| 特にない | 90 ( 6.7) |
| 無回答 | 68 ( 5.1) |

問23：あなたは市や社会福祉協議会が発信する福祉の情報について、どのような方法で入手したいですか。
(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 市のホームページ | 561 ( 41.7) |
| 市役所の窓口 | 238 ( 17.7) |
| 市の広報誌 | 921 ( 68.5) |
| 社協だより | 355 ( 26.4) |
| 行政へ問い合わせる | 88 ( 6.5) |
| 社会福祉協議会へ問い合わせる | 72 ( 5.4) |
| 民生委員・児童委員へ問い合わせる | 30 ( 2.2) |
| 市の健診の場での掲示 | 98 ( 7.3) |
| 学校や保育所、幼稚園を通して | 113 ( 8.4) |
| テレビ、ラジオなどのマスコミ | 272 ( 20.2) |
| 市内スーパー等への掲示 | 219 ( 16.3) |
| 市内医療機関等への掲示 | 142 ( 10.6) |
| 市の LINE 等の SNS や Facebook など | 225 ( 16.7) |
| その他 | 18 ( 1.3) |
| 無回答 | 40 ( 3.0) |

問24：今後、糸満市が重点を置くべき地域福祉の施策はどのようなことだと思いますか。
（あなたの考えに最も近い番号5つまで○）

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 思いやり、やさしいこころを育む福祉教育の推進 | 466 ( 34.7) |
| 身近な地域での活動の場の確保（公民館の常時開放など） | 312 ( 23.2) |
| 地域福祉や支え合いの必要性についての周知・広報 | 256 ( 19.0) |
| 自治会や地域活動で取り組まれていることの情報提供 | 266 ( 19.8) |
| 自治会や子ども会、青年会などの活動を支援し活性化する | 252 ( 18.8) |
| 困りごとや悩み事の相談を受ける場や人材の充実 | 420 ( 31.3) |
| 住民同士の支え合いを支援する行政や関係機関の体制づくり | 202 ( 15.0) |
| 福祉人材(福祉活動の専門職員等)の確保と養成 | 263 ( 19.6) |
| 地域活動のリーダーの養成・確保 | 133 ( 9.9) |
| ボランティア活動に関する情報提供、研修、講習会の開催 | 123 ( 9.2) |
| いじめ、児童虐待、高齢者虐待、ＤＶなどの早期発見、早期対応策の充実 | 485 ( 36.1) |
| 地域福祉のための地域、市民、行政、各種福祉団体等とのネットワークの構築 | 199 ( 14.8) |
| 地震・台風など災害時に避難支援等が必要な人への対策 | 444 ( 33.0) |
| 生活困窮世帯への支援対策（就労、相談、食糧支援、学習支援、子ども食堂） | 505 ( 37.6) |
| 認知症や障がい者の権利擁護（成年後見や金銭管理など） | 216 ( 16.1) |
| その他 | 27 ( 2.0) |
| 無回答 | 104 ( 7.7) |

問25①：あなたは「自治連絡員」についてご存じですか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 知っている | 620 ( 46.1) |
| 知らない | 653 ( 48.6) |
| 無回答 | 71 ( 5.3) |

問25②：あなたは「民生委員・児童委員」についてご存じですか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 知っている | 667 ( 49.6) |
| 知らない | 556 ( 41.4) |
| 無回答 | 121 ( 9.0) |

問25③：あなたは「糸満市社会福祉協議会」についてご存じですか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 知っている | 659 ( 49.0) |
| 知らない | 555 ( 41.3) |
| 無回答 | 130 ( 9.7) |

問25④：あなたは「くらしのサポートセンターきづき」についてご存じですか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 知っている | 176 ( 13.1) |
| 知らない | 994 ( 74.0) |
| 無回答 | 174 ( 12.9) |

問25⑤：あなたは「地域福祉コーディネーター」についてご存じですか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 知っている | 124 ( 9.2) |
| 知らない | 1038 ( 77.2) |
| 無回答 | 182 ( 13.5) |

問25-1：≪問25の「自治連絡員」で「知っている」と回答した方に伺います。≫
あなたの地域を担当している自治連絡員を知っていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 620 (100.0) |
|---|---|
| 名前だけ知っている | 120 ( 19.4) |
| 顔だけ知っている | 41 ( 6.6) |
| 名前も顔も知っている | 284 ( 45.8) |
| 知らない | 160 ( 25.8) |
| 無回答 | 15 ( 2.4) |

問25-2：≪問25の「民生委員・児童委員」で「知っている」と回答した方に伺います。≫
あなたの地域を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 667 (100.0) |
|---|---|
| 名前だけ知っている | 87 ( 13.0) |
| 顔だけ知っている | 31 ( 4.6) |
| 名前も顔も知っている | 162 ( 24.3) |
| 知らない | 359 ( 53.8) |
| 無回答 | 28 ( 4.2) |

問26：あなたは、糸満市社会福祉協議会に対して、どのような活動や支援を期待しますか。
(あなたの考えに最も近い番号3つまで○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 住民参加型の在宅福祉サービスの充実 | 330 ( 24.6) |
| 住民による見守りや支え合い活動への支援 | 401 ( 29.8) |
| 共同募金と寄附文化の醸成 | 70 ( 5.2) |
| ボランティア活動と福祉教育の推進 | 209 ( 15.6) |
| 災害ボランティア活動の担い手、推進のしくみづくり | 317 ( 23.6) |
| 気軽に相談できる福祉相談窓口の充実 | 692 ( 51.5) |
| 福祉サービスに関する情報発信の充実 | 548 ( 40.8) |
| 特にない | 170 ( 12.6) |
| 無回答 | 78 ( 5.8) |

問27：あなたは、成年後見制度を知っていますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 名称も制度内容も知っている | 440 ( 32.7) |
| 名称は聞いたことはあるが、制度内容はわからない | 487 ( 36.2) |
| 名称も制度内容も知らない | 380 ( 28.3) |
| 無回答 | 37 ( 2.8) |

問28：将来、あなた自身や親族が高齢になったときに、福祉サービスなどの身の回りの契約手続や財産の管理を適切に行っていけるか不安がありますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| とても不安である | 198 ( 14.7) |
| やや不安である | 545 ( 40.6) |
| 特に不安はない | 399 ( 29.7) |
| わからない | 162 ( 12.1) |
| 無回答 | 40 ( 3.0) |

問29：将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 利用したいと思う | 387 ( 28.8) |
| 利用したいとは思わない | 365 ( 27.2) |
| わからない | 532 ( 39.6) |
| 無回答 | 60 ( 4.5) |

問29-1：≪問29で「②利用したいとは思わない」、「③わからない」と回答した方に伺います。≫
その理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 897 (100.0) |
|---|---|
| 制度の内容や利用方法がわからない | 290 ( 32.3) |
| 利用するための手続きが複雑そうである | 226 ( 25.2) |
| 他人に財産管理されることに抵抗がある | 378 ( 42.1) |
| 利用するために費用がかかる | 144 ( 16.1) |
| 制度自体に良いイメージがない | 98 ( 10.9) |
| 必要性を感じない | 271 ( 30.2) |
| その他 | 58 ( 6.5) |
| 特にない | 69 ( 7.7) |
| 無回答 | 23 ( 2.6) |

問30：あなたは、「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 聞いたことがあり、内容も知っている | 776 ( 57.7) |
| 聞いたことはあるが、よく知らない | 301 ( 22.4) |
| 聞いたことはない | 235 ( 17.5) |
| 無回答 | 32 ( 2.4) |

問31：仮に身の回りに「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合、どのような対応をしますか。
(あてはまる番号すべてに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 関係機関に相談する | 655 ( 48.7) |
| 家族、知人、友人に相談する | 401 ( 29.8) |
| 本人に様子を聞く | 472 ( 35.1) |
| 何もしない | 52 ( 3.9) |
| わからない | 278 ( 20.7) |
| その他 | 20 ( 1.5) |
| 無回答 | 55 ( 4.1) |

問32：あなたは、「保護司」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| 聞いたことがあり、内容も知っている | 382 ( 28.4) |
| 聞いたことはあるが、よく知らない | 488 ( 36.3) |
| 聞いたことはない | 433 ( 32.2) |
| 無回答 | 41 ( 3.1) |

問33：犯罪をした人の立ち直りのためには、社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない(SDGs)」社会の実現が大切である。という意見について、どう思いますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 1344 (100.0) |
|---|---|
| そう思う | 392 ( 29.2) |
| どちらかといえばそう思う | 534 ( 39.7) |
| どちらかといえばそう思わない | 68 ( 5.1) |
| そう思わない | 51 ( 3.8) |
| わからない | 260 ( 19.3) |
| 無回答 | 39 ( 2.9) |

問34：≪問16で「⑦引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる」と回答した方に伺います。≫
その方の年齢は次のどれにあたりますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 37 (100.0) |
|---|---|
| 14 歳以下 | 7 ( 18.9) |
| 15 歳～19 歳 | 6 ( 16.2) |
| 20 代 | 1 ( 2.7) |
| 30 代 | 6 ( 16.2) |
| 40 代 | 6 ( 16.2) |
| 50 代 | 7 ( 18.9) |
| 60 代 | 3 ( 8.1) |
| 70 代 | 1 ( 2.7) |
| 80 代以上 | 0 ( 0.0) |
| 無回答 | 0 ( 0.0) |

問35：≪問16で「⑦引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる」と回答した方に伺います。≫
引きこもっている、または不登校の方の外出状況は次のどれにあたりますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 37 (100.0) |
|---|---|
| 自室からほとんど出ない | 3 ( 8.1) |
| 自室からは出るが、外出はしない | 5 ( 13.5) |
| 普段家にいるが近所のコンビニなどには外出する | 13 ( 35.1) |
| 普段は家にいるが趣味の用事などで外出する | 10 ( 27.0) |
| その他 | 2 ( 5.4) |
| 無回答 | 4 ( 10.8) |

問36：≪問16で「⑦引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる」と回答した方に伺います。≫
引きこもり、または不登校になってからどれくらいになりますか。(1つに○)

| 回答者実数 | 37 (100.0) |
|---|---|
| 6 か月未満 | 4 ( 10.8) |
| 6 か月～1 年未満 | 3 ( 8.1) |
| 1 年～3 年未満 | 4 ( 10.8) |
| 3 年～5 年未満 | 5 ( 13.5) |
| 5 年～10 年未満 | 7 ( 18.9) |
| 10 年～20 年未満 | 8 ( 21.6) |
| 20 年以上 | 4 ( 10.8) |
| 無回答 | 2 ( 5.4) |

## ２．糸満市 地域福祉に関する市民意識調査　調査票

# 糸満市　地域福祉にかかわる市民意識調査

## ～ご記入にあたってのお願い～

①回答は、原則として宛名のご本人がご回答ください(ご家族と相談していただいても結構です)。また、本人が記入できない場合は、ご家族等が本人のお考えを聞きながらご記入ください。

②設問に対する回答は、令和４年11月１日現在の状況についてご記入ください。

③回答は、設問の指示にしたがって、該当する番号に○をつけてください。但し、設問によっては、数値や具体的内容を記述していただく場合があります。

④本調査は無記名です。住所、氏名等を記入する必要はありません。

**⑤調査票は、同封の返信用封筒に入れ、令和4年 12 月２日(金)までに、郵便ポストへ投函して頂きますようお願いします。**

**※返信用封筒への切手はいりません。**

◎また、郵送のほか、市役所(社会福祉課)に直接持参いただいても結構です。

本調査は、下記URLにアクセスするか、QRコードを読み込むことで、

**インターネットからもご回答頂けます。**

https://forms.gle/UQjnDEgUKFaz4VY9A

【問い合わせ先】

糸満市福祉部　社会福祉課　福祉総務係

ＴＥＬ：０９８－８４０－８１３２　　ＦＡＸ：０９８－８４０－８１５２

地域福祉とは・・・

「地域福祉」とは、住み慣れた地域の中で、子どもからお年寄りまで、障がいのある人もない人も、すべての人が自分らしく安心した生活を送るために、地域に暮らす住民の皆さんがそれぞれの役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティをつくることです。

地域の福祉施設･事業所、専門職や専門機関、ボランティア団体、商店や企業、行政等と互いに協力し合い、福祉課題の解決に向け、地域全体で支えあっていく地域共生社会を目指します。

## １．属　性（あなた自身のことについてお伺いします。）

問１　あなたの年齢（令和４年１１月１日現在）についてお伺いします。（１つに〇）

① 20代　② 30代　③ 40代　④ 50代　⑤ 60代　⑥ 70代　⑦ 80代以上

問２　あなたの性別についてお伺いします。（１つに〇）

① 男性　② 女性　③ 答えたくない

問３　あなたの、お住まいの地域は、どちらになりますか。（１つに〇）

| | | |
|---|---|---|
| 1. 糸満 | 2. 西川町 | 3. 西崎 |
| 4. 西崎町 | 5. 阿波根 | 6. 賀数 |
| 7. 兼城 | 8. 北波平 | 9. 座波 |
| 10. 潮平 | 11. 武富 | 12. 照屋 |
| 13. 大里 | 14. 国吉 | 15. 豊原 |
| 16. 真栄里 | 17. 与座 | 18. 潮崎町 |
| 19. 新垣 | 20. 伊敷 | 21. 糸洲 |
| 22. 伊原 | 23. 宇江城 | 24. 大度 |
| 25. 喜屋武 | 26. 小波蔵 | 27. 米須 |
| 28. 束里 | 29. 名城 | 30. 福地 |
| 31. 真栄平 | 32. 真壁 | 33. 摩文仁 |
| 34. 南波平 | 35. 山城 | |

問４　あなたの、家族構成についてお伺いします。（１つに〇）

① 一人暮らし
② 夫婦のみ（核家族）
③ 夫婦と子（核家族）
④ ひとり親と子（核家族）
⑤ 三世代家族（親・子・孫）
⑥ その他（　　）

問５　あなた自身、または同居している家族に、次のような方はいますか。（あてはまる番号すべてに〇）

① 就学前児童
② 65歳以上の方
③ 介護を必要とする方
④ 障がいのある方
⑤ 学生（ 小学生 ）
⑥ 学生（ 中学生 ）
⑦ 学生（ 高校生以上 ）
⑧ いずれもいない

問 6　あなたが、現在お住まいの住宅の形態はどれに該当しますか。（１つに○）

| | |
|---|---|
| ① 持家（一戸建て） | ⑤ 公営住宅（団地等） |
| ② 持家（マンション） | ⑥ 社宅・宿舎 |
| ③ 賃貸の一戸建て | ⑦ その他（　　） |
| ④ 賃貸のアパート・マンション | |

問 7　あなたの世帯は、課税世帯ですか。非課税世帯ですか。（１つに○）

| | | |
|---|---|---|
| ① 課税世帯 | ② 非課税世帯 | ③ わからない |

問 8 あなたは、糸満市に住んで何年になりますか。（１つに○）

| | |
|---|---|
| ① １年未満 | ⑤ 10年～15年未満 |
| ② １年～３年未満 | ⑥ 15年～20年未満 |
| ③ ３年～５年未満 | ⑦ 20年以上 |
| ④ ５年～10年未満 | |

問 8-1 ≪問 8 に関連して伺います。≫ あなたの出身地を教えてください。（１つに○）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ① 市内 | ② 市外（県内他市町村） | ③ 県外 | ④ 海外 |

問 8-2 ≪問 8 に関連して伺います。≫ 糸満市に今後も住み続けたいですか。（１つに○）

| | |
|---|---|
| ① 住み続けたい | ② 他市町村に引越したい |

## ２．糸満市の住みやすさについて

問９　あなたは、糸満市の地域環境について、どのように感じていますか。
（各項目あてはまる番号１つに○）

| 地域環境の項目 | 良い方だと思う | 普通だと思う | 悪い方だと思う | わからない |
|---|---|---|---|---|
| 1. 安心して妊娠、出産できる環境 | ① | ② | ③ | ④ |
| 2. 安心して子どもを育てる環境 | ① | ② | ③ | ④ |
| 3. 青少年が健全に育つ環境 | ① | ② | ③ | ④ |
| 4. 障がいのある人が自分らしく安心して暮らせる環境 | ① | ② | ③ | ④ |
| 5. 高齢者が安心して自分らしくいきいきと暮らせる環境 | ① | ② | ③ | ④ |
| 6. 通勤や買い物の利便性について | ① | ② | ③ | ④ |
| 7. 困りごとの相談先や情報の入手の利便性について | ① | ② | ③ | ④ |
| 8. 市民が利用しやすい公共施設の立地について | ① | ② | ③ | ④ |
| 9. 防災体制（避難誘導体制）・組織の体制について | ① | ② | ③ | ④ |
| 10. 病院など、医療機関が充実している環境 | ① | ② | ③ | ④ |
| 11. 地域の治安について | ① | ② | ③ | ④ |

## ３．日常生活における地域との関わりについて

問 10 あなたは、日ごろ、隣近所の人とどの程度のつきあいがありますか。また、今後どのようなつきあい方をしたいですか。
（あなたの考えに最も近い番号を１つ選んで、下記の欄にそれぞれ記入）

① 困ったときに相談したり、助け合うようなつきあい
② 顔を合わせれば、立ち話をする程度
③ 挨拶をする程度
④ 近所づきあいは、していない、しようと思わない

| 現在のつきあいの状況 | 今後のつきあいの意向 |
|---|---|
| | |

問 11 あなたは、近所づきあいについて、どのように考えていますか。
（あてはまる番号すべてに○）

① 地域で助け合っていくために必要
② 伝統行事を守り、継承するために必要
③ 地域の防犯のために必要（あやしい人がいたら注意を払うなど）
④ 台風など災害が起こった時の助け合いのために必要
⑤ 地域のまとまりのために必要
⑥ 県外移住者との関わりが必要
⑦ 近所づきあいは必要と感じるが、わずらわしい
⑧ 近所とは関わりを持ちたくない
⑨ 近所づきあいの必要性を感じない
⑩ その他（　　）

問 12 日常生活をしていて、孤独感がありますか。（１つに○）

① よく感じる
② ときどき感じる
③ あまり感じない
④ ほとんど感じない

問 13 あなたは、現在自治会に加入していますか。（１つに○）

① 加入している → **問 14 へ**　② 加入していない　③ わからない → **問 14 へ**

問 13-1 ≪問 13 で「②加入していない」と回答した方に伺います。≫
自治会に加入していない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

① 必要を感じない
② わずらわしい
③ 時間的なゆとりがない
④ 永住する気がない
⑤ 加入の勧誘がない
⑥ 加入の仕方が分からない
⑦ 会費など出費がかかる
⑧ その他（　　）

問 14 あなたは、悩んだり不安になった時など、誰に（どこに）相談したいと思いますか。
（あてはまる番号すべてに○）

① 家族・親族
② 友人・知人
③ 隣近所の人
④ 職場の人
⑤ 保育所、幼稚園、学校など
⑥ 自治会の役員
⑦ 社会福祉協議会の相談窓口
⑧ 市役所の相談窓口
⑨ 民生委員・児童委員
⑩ 高齢者・障害者支援施設・事業所等
⑪ 医療機関
⑫ 地域の警察署
⑬ その他（　　）
⑭ 誰にも相談できない → **問 14-1 へ**

問 14-1 ≪問 14 で「⑭誰にも相談できない」と回答した方に伺います。≫
相談しない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

① 他人に頼らず、自分自身で解決したい
② 家族、親族が身近にいない
③ 信頼できる人がいない
④ 他人と関わりを持ちたくない
⑤ 地域の方には相談しづらい
⑥ 相談先がわからない
⑦ その他（　　）

**問 15 生活や福祉に関する相談のために、どんな窓口があるといいと思いますか。**
**（１つに○）**

① 中学校区程度の身近な地域で相談を受けることができ、適切な機関に繋いでくれる窓口
② 必要に応じて困っている人の所まで訪問して相談事に対応してくれる窓口
③ どんな相談でも断らず対応してくれる相談窓口
④ その他（　　）

**問 15-1 オンラインで相談できる窓口を市が設置したら利用したいと思いますか。**
**（１つに○）**

① 利用したい　② どちらとも言えない　③ 利用しない

**問 16 あなたは、日常生活のなかでどのようなことに不安を感じたり、困っていますか。**
**（あてはまる番号すべてに○）**

① 自分の健康に関すること
② 家族の健康に関すること
③ 子育てに関すること
④ 身内の介護に関すること
⑤ 自分自身の介護に関すること
⑥ 日中、ひとりでいること
⑦ 引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる
⑧ 地域との関わりや人間関係に関すること
⑨ 収入や家計に関すること
⑩ 生きがいや将来に関すること
⑪ 仕事や職場、就労に関すること
⑫ 住まいの確保に関すること
⑬ 地域の安全面や治安に関すること
⑭ 自宅周辺の環境衛生に関すること（清掃、ゴミ、環境美化）
⑮ 台風など災害時の避難に関すること
⑯ 社会の差別や偏見に関すること
⑰ その他（　　）
⑱ 特にない

問 17 あなたは、地域の方に日常生活のなかで**手伝ってほしい**と思っていることがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|---|---|
| ① 見守りや安否確認の声かけ | ⑧ 庭の掃除 |
| ② 話し相手 | ⑨ 短時間の子どもの預かり |
| ③ 買い物 | ⑩ 子育ての相談 |
| ④ 家の片付けやごみ出しなど | ⑪ 台風など災害時、緊急時の手助け |
| ⑤ 食事の提供 | ⑫ 悩み事・心配事の相談相手 |
| ⑥ 通院など外出の付添 | ⑬ その他（　　） |
| ⑦ 市役所などへの用事・連絡 | ⑭ 手伝ってほしいことはない |

問 18 あなたは、地域の方へ日常生活のなかで**手伝ってもよい**と思うものは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

| | |
|---|---|
| ① 見守りや安否確認の声かけ | ⑨ 短時間の子どもの預かり |
| ② 話し相手 | ⑩ 子育ての相談 |
| ③ 買い物 | ⑪ 台風など災害時、緊急時の手助け |
| ④ 家の片付けやごみ出しなど | ⑫ 悩み事・心配事の相談相手 |
| ⑤ 食事の提供 | ⑬ 地域の行事・イベント |
| ⑥ 通院など外出の付添 | ⑭ その他（　　） |
| ⑦ 市役所などへの用事・連絡 | ⑮ 様々な理由により手助けできない |
| ⑧ 庭の掃除 | |

## ４．地域活動やボランティア活動についての考え方

問 19 あなたは現在、地域活動やボランティア活動に参加していますか。（１つに○）

① 参加している → **問 20 へ**
② 以前は参加していたが、現在は参加していない
③ 参加したことはない → **問 19-1 へ**

問 19-1 ≪問 19 で「②以前は参加していたが、現在は参加していない」、「③参加したことはない」と回答した方に伺います。≫
参加していない主な理由は何ですか。（あなたの考えに最も近い番号３つまで○）

① 興味がないから
② やりたい活動がないから
（具体的には：　　）
③ 活動場所・活動内容がわからないから
④ いっしょに参加する仲間(知人)がいないから
⑤ 誘いがないから
⑥ 地域との関わりや人間関係に関心がないから
⑦ 体力や健康状態がよくないから
⑧ 自分の生活だけで精いっぱいだから
⑨ 新型コロナが怖いから
⑩ 特に理由はない
⑪ その他（　　）

問 20 今後は(今後も)、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか。
（１つに○）

① 参加したい
② 時間等、生活にゆとりができたら参加したい
③ どちらかといえば参加したくない
④ 参加したくない
⑤ わからない

問 21 あなたは、地域住民の支え合いが必要だと思いますか。（１つに○）

① そう思う
② どちらかといえば、そう思う → **問 22 へ**
③ どちらかといえば、そうは思わない
④ そうは思わない → **問 21-1 へ**

問 21-1 ≪問 21 で「③どちらかといえば、そうは思わない」、「④そうは思わない」と回答した方に伺います。≫ その主な理由は何ですか。（１つに○）

① 他人との関わりを持ちたくないから
② 一人ひとりの生活に地域は関係ないから
③ 地域の支え合いに期待がもてないから
④ 親戚や友人との関係があれば十分だと思うから
⑤ 地域の課題や個人の困りごとについては、公的機関が担うべきだと思うから
⑥ その他（　　）
⑦ わからない

問 22 あなたが、地域の支え合いに期待すること（必要に思うこと）は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

① 一人暮らし高齢者等の見守りや声かけ
② 地域の清掃など環境美化
③ 災害や緊急事態が起きた時の助け合い
④ 地域行事などによる交流の場
⑤ 一時的に子どもを預かるなどの支援
⑥ 通院など外出、移動時の支援
⑦ 障がい者等への理解
⑧ 地域の見回りなどの防犯
⑨ 冠婚葬祭などの手伝い
⑩ 悩み、心配事の相談
⑪ その他（　　）
⑫ 特にない

## ５．糸満市の福祉のあり方について

**問 23　あなたは市や社会福祉協議会が発信する福祉の情報について、どのような方法で入手したいですか。（あてはまる番号すべてに○）**

① 市のホームページ
② 市役所の窓口
③ 市の広報誌
④ 社協だより
⑤ 行政へ問い合わせる
⑥ 社会福祉協議会へ問い合わせる
⑦ 民生委員・児童委員へ問い合わせる
⑧ 市の健診の場での掲示
⑨ 学校や保育所、幼稚園を通して
⑩ テレビ、ラジオなどのマスコミ
⑪ 市内スーパー等への掲示
⑫ 市内医療機関等への掲示
⑬ 市の LINE 等の SNS や Facebook など
⑭ その他（　　）

**問 24　今後、糸満市が重点を置くべき地域福祉の施策はどのようなことだと思いますか。（あなたの考えに最も近い番号５つまで○）**

① 思いやり、やさしいこころを育む福祉教育の推進
② 身近な地域での活動の場の確保（公民館の常時開放など）
③ 地域福祉や支え合いの必要性についての周知・広報
④ 自治会や地域活動で取り組まれていることの情報提供
⑤ 自治会や子ども会、青年会などの活動を支援し活性化する
⑥ 困りごとや悩み事の相談を受ける場や人材の充実
⑦ 住民同士の支え合いを支援する行政や関係機関の体制づくり
⑧ 福祉人材(福祉活動の専門職員等)の確保と養成
⑨ 地域活動のリーダーの養成・確保
⑩ ボランティア活動に関する情報提供、研修、講習会の開催
⑪ いじめ、児童虐待、高齢者虐待、ＤＶなどの早期発見、早期対応策の充実
⑫ 地域福祉のための地域、市民、行政、各種福祉団体等とのネットワークの構築
⑬ 地震・台風など災害時に避難支援等が必要な人への対策
⑭ 生活困窮世帯への支援対策（就労、相談、食糧支援、学習支援、子ども食堂）
⑮ 認知症や障がい者の権利擁護（成年後見や金銭管理など）
⑯ その他（　　）

## ６．自治連絡員、糸満市社会福祉協議会、民生委員・児童委員などについて

問 25 あなたは自治連絡員、糸満市社会福祉協議会、民生委員・児童委員などについてご存じですか。（各項目にあてはまる番号１つに○）

| | 知っている | 知らない | 主な役割・機能 |
|---|---|---|---|
| 自治連絡員 | ① | ② | 各区域と行政をつなぐ役割を担い、広報誌の配布等も行っています。 |
| 民生委員・児童委員 | ① | ② | 地域福祉をサポートする地域の身近な相談相手です。支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐ役割を務めます。 |
| 糸満市社会福祉協議会 | ① | ② | 市や関係機関と連携し、社会福祉活動を推進する民間組織です。 |
| くらしのサポートセンターきづき | ① | ② | 生活困窮者自立支援制度に基づき、生活の相談、就労支援を行い、経済的・社会的な自立に向けて支援をしています。 |
| 地域福祉コーディネーター | ① | ② | 個別の生活課題と地域の課題に対して、色々な資源を活用し地域の福祉活動への解決に向けて活動します。 |

問 25-1 ≪問 25 の「自治連絡員」で「知っている」と回答した方に伺います。≫
あなたの地域を担当している自治連絡員を知っていますか。（１つに○）

① 名前だけ知っている
② 顔だけ知っている
③ 名前も顔も知っている
④ 知らない

問 25-2 ≪問 25 の「民生委員・児童委員」で「知っている」と回答した方に伺います。≫
あなたの地域を担当している民生委員・児童委員を知っていますか。（１つに○）

① 名前だけ知っている
② 顔だけ知っている
③ 名前も顔も知っている
④ 知らない

**問 26 あなたは、糸満市社会福祉協議会に対して、どのような活動や支援を期待しますか。**
**（あなたの考えに最も近い番号３つまで○）**

① 住民参加型の在宅福祉サービスの充実
② 住民による見守りや支え合い活動への支援
③ 共同募金と寄附文化の醸成
④ ボランティア活動と福祉教育の推進
⑤ 災害ボランティア活動の担い手、推進のしくみづくり
⑥ 気軽に相談できる福祉相談窓口の充実
⑦ 福祉サービスに関する情報発信の充実
⑧ 特にない

## ７．その他

**問 27 あなたは、成年後見制度※を知っていますか。（１つに○）**

① 名称も制度内容も知っている
② 名称は聞いたことはあるが、制度内容はわからない
③ 名称も制度内容も知らない

※ 認知症や知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が不十分なため契約等の法律行為を行えない人を後見人等が代理し、必要な契約等を締結したり財産を管理したりして本人の保護を図る制度

**問 28 将来、あなた自身や親族が高齢になったときに、福祉サービスなどの身の回りの契約手続や財産の管理を適切に行っていけるか不安がありますか。（１つに○）**

① とても不安である　② やや不安である　③ 特に不安はない　④ わからない

**問 29 将来的にあなた自身の判断能力が不十分となった場合、成年後見制度を利用したいと思いますか。（１つに○）**

① 利用したいと思う　② 利用したいとは思わない　③ わからない

→ 問 29-1 へ

**問 29-1 ≪問 29 で「②利用したいとは思わない」、「③わからない」と回答した方に伺います。≫ その理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）**

① 制度の内容や利用方法がわからない
② 利用するための手続きが複雑そうである
③ 他人に財産管理されることに抵抗がある
④ 利用するために費用がかかる
⑤ 制度自体に良いイメージがない
⑥ 必要性を感じない
⑦ その他（　　）
⑧ 特にない

問 30　あなたは、「ヤングケアラー※」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。（１つに○）

① 聞いたことがあり、内容も知っている　　③ 聞いたことはない
② 聞いたことはあるが、よく知らない

※ ヤングケアラーとは、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている 18 歳未満の子どものことを言います。

問 31　仮に身の回りに「ヤングケアラー」と思われる子どもがいた場合、どのような対応をしますか。（あてはまる番号すべてに○）

① 関係機関に相談する　　④ 何もしない
② 家族、知人、友人に相談する　　⑤ わからない
③ 本人に様子を聞く　　⑥ その他（　　）

問 32　あなたは、「保護司※」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。（１つに○）

① 聞いたことがあり、内容も知っている　　③ 聞いたことはない
② 聞いたことはあるが、よく知らない

※ 保護司とは、犯罪や非行に陥った人の更生を任務とする、保護司法・更生保護法に基づき、法務大臣から委嘱を受けた非常勤の国家公務員のことを言います。

問 33　犯罪をした人の立ち直りのためには、社会から排除・孤立させるのではなく、再び受け入れることが自然にできる「誰一人取り残さない(SDGs)」社会の実現が大切である。という意見について、どう思いますか。（１つに○）

① そう思う　　④ そう思わない
② どちらかといえばそう思う　　⑤ わからない
③ どちらかといえばそう思わない

問 34 ≪問 16 で「⑦ 引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる」と回答した方に伺います。≫その方の年齢は次のどれにあたりますか。（１つに○）

| | | |
|---|---|---|
| ① 14歳以下 | ② 15歳～19歳 | ③ 20代 |
| ④ 30代 | ⑤ 40代 | ⑥ 50代 |
| ⑦ 60代 | ⑧ 70代 | ⑨ 80代以上 |

問 35 ≪問 16 で「⑦ 引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる」と回答した方に伺います。≫引きこもっている、または不登校の方の外出状況は次のどれにあたりますか。（１つに○）

① 自室からほとんど出ない
② 自室からは出るが、外出はしない
③ 普段家にいるが近所のコンビニなどには外出する
④ 普段は家にいるが趣味の用事などで外出する
⑤ その他（　　）

問 36 ≪問 16 で「⑦ 引きこもりの家族がいる、不登校の家族がいる」と回答した方に伺います。≫引きこもり、または不登校になってからどれくらいになりますか。（１つに○）

| | | |
|---|---|---|
| ① 6か月未満 | ② 6か月～1年未満 | ③ 1年～3年未満 |
| ④ 3年～5年未満 | ⑤ 5年～10年未満 | ⑥ 10年～20年未満 |
| ⑦ 20年以上 | | |

最後に、糸満市の福祉についてご意見やご要望をご自由にお書きください。

**アンケートへご協力いただき、ありがとうございました。**